

アジア歴史資料センター

0246
0247

大亞官房

丁結

領受

大正

大正

年

八月廿六日

寬

後。

决

長

局

長

課

陣戰決

大臣

५३

件

番 受

名

號領

要塞可爲郡、新設及廢止ニ关スル件

卷之二

廳名

軍事課

連帶課名

步工 缺畧 主建

決行後回覽課名

省軍隧
152
午前
時
主計課

16. 9. 92
午後 8 時
6 時 15 分

9120
2720

大正	大正
八月廿六日	八月廿六日
了結	了結
大正	大正
房官臣大	房官臣大

執行後回

局長	局長
課長	課長

官	高級 副官	主務 副官	主務 副官
主務 課長	主務 課員	主務 課員	主務 課員
局長	局長	局長	局長

審案筆記者

件番受

名額

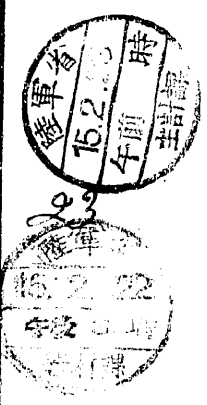
密發第一二一號

軍事課

新設及廃止ニ関スル件

連帶
署名
歩兵、銃器、主是

執行後回
覽課名



0248

1150

1150

次男海軍次官（通暎案）（陸海）

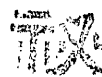
要案築設工事ノ進捗、俾々大正十五年八月
豫及臺政要案ノ全部ヲ新設シ其ノ結果
不、要トナル中、廣島海軍要案ノ全部ヲ廢止
スルニト、内定セリ在案及内報アリ

陸海軍省

陸密第五七

三月廿四日

0249



本部

第二四六番第一

豊豫、壹岐要塞司令部新設、廣島灣

要塞司令部廢止ノ件照會

大正十五年二月二十日

參謀總長河合

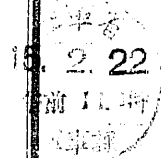
探

陸軍大臣宇垣一成殿

要塞再整理ニ基ク築設工事ノ進捗ニ伴ヒ要塞ニ關スル業務開設ノ必要ヲ生スヘキニ依リ大正十五年八月豊豫、壹岐要塞司令部ヲ新設シ其結果不要ト爲ルヘキ廣島灣要塞司令部ヲ廢止セラレ度候也



密
カ
リ
號



陸軍

理由

一、豊豫要塞ノ建設作業ハ再末著シク進捗シ今ヤ廣島湾要塞ニ代リ再他要塞ト相俟テ確實ニ瀬戸内海確保ノ目的ヲ達成シ得ルモノト認メラル然ルニ之カ戦備ハ目下廣島湾要塞司令部ヲシテ計画セシメアリ不便甚ナカラサル状況ナルヲ以テ速ニ廣島湾要塞司令部ヲ廢止シ豊豫要塞司令部ヲ新設スルヲ要ス

前記新設並廢止ノ時期ハ築城部豊豫支部ノ移轉及大正十六年戦備計画策定等ノ關係上概ネ八月ヲ適當トス

二、壹岐要塞ノ建設工事ハ經費繰延ノ結果漸次遷延ヲ来シ大正十六年三月末ニ到リ初メテ一部備砲工事ノ完了ヲ見ルハキ豫定

ナルヲ以テ此時期ニ於テ略戰備計畫ヲ終了シ得ル如ク大正十
五年八月要塞司令部ヲ新設スルヲ適當トス

三而シテ海軍ニ於テハ廣島灣要塞司令部廢止ニ伴ヒ呉
軍港直接防衛ノ爲メ竹要ヲ施設ヲ行フノ必要ナルヲ以テ
要塞司令部ノ新設廢止ヲ通告スルヲ要ス

成奇卓

附表第五

要塞整理予算積算ノ件

大正十一年七月七日

軍事課

要塞司令部新設廃止一覽表

備考	新		設		廃		止		名	備考
	朝鮮海峡系	壹岐	豊後	津輕	大連	室蘭	函館	廣島	藝予	
	特	三	二	二	一	三	三	二	三	
	甲万里	郷浦	佐賀岡	函館	大連	室蘭	函館	廣島	忠海	
	大正十八年四月	大正十五年四月	大正十六年四月	大正十六年四月	大正十八年四月	大正十九年四月	大正十六年四月	大正十六年四月	大正十六年四月	
		大正十五年八月ニ繰下ケ 新設ス	大正十五年八月ニ繰下ケ 新設ス					大正十五年八月ニ繰下ケ 新設ス	大正十五年八月ニ繰下ケ 新設ス	

備考
本表中新設(廃止)ノ時期ハ予算積算上ノ基礎ヲ與フルタメニ定メタ
ルモノナリ

8920

決裁指定

関

永

房官臣大		課局務主		證認濟裁決		大臣		件番受		連帶 課名	
了結	領受	出提	領受	號番				名	號領		工
大正	大正	大正	大正	空あり				廣島湾要港廢止関係件	密文第二一七		
年	年	年	年	日							
月	月	月	月	日							
日	日	日	日								
覽後決		帶連		局長主務		次官		廳名		決行後同 覽課名	
長	局	長	局	局長主務代		高級副官		多摩市部		主統	
長課		長課		課員主務		副官主務					
				者記筆案審							

0254

高麗書

0525

<p>人 參議總長、回各案 陸表</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>	<p>陸表一五二號 六月二日</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>	<p>大正十五年五月二十八日付参事第百五十五号(附一)り以テ 平定ル、首題ノ件、異ナシ</p>
------------------------------	---	------------------------	---	---	---	---	---

第一二五七

參謀本部 參密第六五五號第一

電報第五號

五月廿九日 省軍 15. 5. 29 午前 8. 時 軍事課

廣島灣要塞廢止ニ關スル件照會

大正十五年五月廿八日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 宇垣一成 殿

廣島灣要塞ハ左記ノ如ク廢止シ異存無キニ於テハ 允裁ヲ仰キ
度シ

左記

廣島灣要塞ハ大正十五年八月一日之ヲ廢止シ廢止管理官ハ第五師
團長トス

理由

廣島灣要塞ハ吳軍港及宇品港ヲ掩護スル目的ヲ以テ建設セラレタ

15. 5. 29 午前 8. 時 軍事課

ルモノナルモ豊豫要塞建設セラレテ防備ヲ擔當シ内海ノ領有確保
セラル、至レルヲ以テ廣島灣要塞ハ之ヲ廢止スルヲ適當ト認ム

閑

[illegible]

連帶課名

卷之四






覽課名


步

陸軍

8520

告永

軍	 	員 務	計 房	官 務	兵 課 関 件
		 	審 案 筆 記 者		
8920					

即
 告 示 番 號 二 付 予 八 更 海 軍 省
 上 部 官 署 決 定 元 々 以 下 官 報
 場 合 決 意 有 力 多 ン


次官ヨリ海軍次官へ照會

廣島灣要塞地帯別紙告示案ノ通本
年八月一日附ヲ以テ之ヲ廢止スルコトニ致度
右協議ス

右案存テキ同答アリト上

告示案別紙通

次案
海軍省
七月三十一日
決り
右

0920

育七音

通本
致度

次第、其書憲紀新教二國女
梅平有子、本報後了先上
七月三日、右非三金裁元如
来り也、
古、
五、

陸軍省告示第^{第五}號

八月三日 官報

明治三十二年八月 陸軍省告示中左ノ通改正シ大正
十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

官報照合済

大正十五年七月三十一日

海軍大臣

陸軍大臣

東京灣、廣島灣、佐世保、東京灣、佐世保
ニ改メ左圖中廣島灣要塞地ノ圖ヲ削ル

参照

表二

四

2980

生

大月多日	通改正シ大正	官報用合済	東洋佐世保	圖天削ル	2980
------	--------	-------	-------	------	------

告

明治三十三年八月十日陸軍省告示、要塞地帯法第三
 條及第六條ニ依リ東京灣、廣島灣、佐世保、舞鶴
 及對馬ニ於ケル陸軍防禦要物ノ地帯ヲ左
 圖實線以内同法第七條第二項ノ區域ヲ實
 線以内トシ各區域ハ實地ニ標識ヲ設ケテ之
 ヲ表示ス

左圖ハ略ス

陸軍省告示第

陸軍省告示第14

第

七月三日官報掲載

明治三十四年陸軍省告示第九號中左ノ通改
正シ大正十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年七月三十一日

官報照合

陸軍大臣

禁止制限解除ノ事項及其區域ニ関スル左表
中廣島灣要塞ノ部ヲ削ル

陸軍

決行後回覽課名

副官ヲ第五師團參謀長、通譯索

(電報)

編第五師團參謀ノ件議決トシテハ會議ニ參加
セシメラルモ 事務方合ノ為事務方少佐椎君大尉ヲ
派遣セラル

陸二〇三

六月九日



1920

秘

密第一二二號

編五

陸軍省 15. 6. 7
中務 15. 6. 8
陸軍省 15. 6. 7

軍事機密 一二二號

15. 6. 7
午 2. 5. 時

整理會議参列、件照會

大正十五年六月廿一日 第五師團參謀長 松井榮雄

陸軍省高級副官 中村孝太郎殿

別紙要領依り廣島灣要塞廢止並豐豫要塞新設ニ関ル業務ニ就テ主任者會同打合致度付貴部ヨリ主任者参列セシムレ度照會ス

日次

場

所

大正十五年六月十日

六月十一日 午前
六月十二日 午前

廣島市比留實所(比治山南麓)
廣島灣要塞司令部

追テ打合ニ要ル所要經費貴部ノ全運豫算内ヨリ支拂スルモノト取知セシレ度(目下當部ヨリ各關係部隊増額申請中レ度貴交渉中ナルヲ豫念)尚會議参列者ノ官欠名ヲ通報セラレ度

大正七年七月七日

陸軍省副官殿

海軍省副官

内地帯概見草圖、用済後返却
以度下

工



豫要塞新設關を會議要領

豫要塞新設關を會議要領

諸般打合を行つた該會議於て決

8920

6920

議レタル事項中重要ナルもの陸軍大臣認可ヲ経テ其他八直ニ實

行ナル爲ニ行フモノニシテ廢止並新設業務ヲ圓滑ニ促進スル目的トス

(別表)

廣島灣要塞廢止並新設關元會議要領

一 會議目的

本會議、廣島灣要塞廢止並新設關元業務關レ

關係諸官衙主任者廣島、集リ諸般打合ヲ行ヒ該會議於テ決

議シタル事項中重要ナルモノ陸軍大臣認可ヲ經テ其他公道ニ實

行スル爲ニ行フモノシテ廢止並新設業務ヲ圓滑促進スル目的トス



三 會議期日

六月十日
十日
十一日
三日間、會議は毎午前九時より行フ

三 會議場所

廣島市皆實町
廣島海要塞司令部

四 會議参列者

別表、予定但シ多少變更をコトアルヘシ

五 會議項目

第一日	午前	兵谷、處置	午後	防禦營造物及土地建物、處置
第二日		防禦營造物土地建物、處置		圖書及廳中備品等、處置
第三日		人事及其他		豫備

(別表)

會議參列者(予定シテ多少変更アルハシ)

議長
幹事
議員

人 人 人 人 人 人 人 人

第五師團參謀長及廣島海軍要塞司令官
廣島海軍要塞司令部職員全部(司令官ヲ除ク)
陸軍省主任者一又二名
築城本部主任者一名
兵器本部主任者一名
第六師團主任者一又二名
豐後築城部支部主任一名
吳鎮守府主任者若干名
第五師團司令部主任者若干名
廣島陸軍兵器支廠主任者一又二名

0273

合

陸軍運輸部主佐者

一名

0274 0275



島 第一一三號 六月十日

參謀本部 參密第六五五號第四

廣島灣要塞廢止御裁可ノ件通牒

大正十五年六月十日 參謀總長 鈴木 六

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

廣島灣要塞廢止ノ件六月九日御裁可被爲在

原書類ハ左記回覽中



陸軍

0274 0275



参謀本部
参謀第六五五號

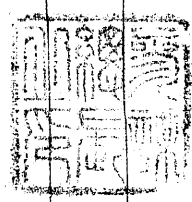
中務省文書課

廣島灣要塞廢止御裁可被爲在

大正十五年六月十日 参謀總長 鈴木 六

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

廣島灣要塞廢止ノ件六月九日御裁可被爲在



陸軍



現品ハ高島藩要塞
司令官ハ新橋入
一和杉新
早平
澤

0278

陸軍省



廣島海軍要港司令部發給海軍要港司令部新設業務關係規定決議錄



御一覽

大正十五年六月廿七日
廣島海軍要港司令部印

配布區分	
陸軍省	一三
參謀本部	二
第五師司令部	七
第一師司令部	七
陸軍運輸部	三
広島海軍司令部	二六
兵器本部	三
築城本部	三
廣島兵器支隊	五
豐後築城部支隊	一
吳鎮守府	五
計	七十五部

目次

第一 打合之ヲ行フニ至ルシ動機

第二 打合ニ要領

第三 決議事項並參列者、主ル意見

其一 兵器 (砲兵科)

其二 兵器 (工兵科)

其三 國境土地及防衛施設造物船舶

其四 廳中備品及圖書

其五 廳舎及字品倉庫

其六 地帶業務及庶務

其七 經費

其八 其他

廣島海要塞司令部發止陸豊豫要塞司令部新設業務関係打合せ決議録

第一 打合せの行つてゐるシ動機

大正十一年六月初より愈々大正十五年八月日ヨリテ廣島海要塞司令部ヲ廢止

シ豊豫要塞司令部ヲ新設スルニ決セラレタリ廢止並新設要領及今細則發

布機熟スルヤ大正十三年末藝豫要塞廢止實績鑑關係主任者一堂會

シ打合せ行フテ業務進捗上最モ必要ナル痛感シ關係者内諾ヲ得

又第六師團長ト之協議ノ上第五師團長ノ命依リ廣島海要塞

司令部官憲、大正十五年六月十日、日開閣係者廣島集令打
合セ行フコトナレリ

附記

豊後要塞司令部新設致廣島海軍要塞司令

部廢止要領及全細則、大正十五年六月九日軍令陸上

免九部及陸軍第一五部ヲ以テ發布セラル

第二 打令之要領

大正十五年六月十日、日開閣係者廣島海軍要塞司令部ニ集合シテ

議題之就々打合せヲ行ハリ

備考	六月十日		六月十日		六月十日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
一打合せは毎日午前九時ヨリ午後一時ヨリ五時迄行ハレ概 ネ予定ノ如ク終ラセヨ	全議八 其他	全議七 經費増額及金銭事項整理案	全議六 地籍業務及庶務整理案	全議五 廳舎及字品倉庫整理案	全議四 廳中備品及圖書整理案	全議三 物産船舶整理案
	議題第一 兵器(砲兵科)整理案 兵器(工兵科)整理案	兵器(工兵科)整理案	國防用土地及防禦營造			

各議題ノ原案ハ廣島博覧會委員部ニ豫メ研究ヲ審議シ最
可アリト信スルモノヲ打合ヒ前ニ各参列者ニ印刷配布シ該原案
ニ就キ起案者説明ヲ行ヒ次ニ各自意見ヲ交換シ所要ノ増
補訂正ヲ加ヘ以テ決議トスリ

本打合ヒニ参列セシ者別紙ノ如シ

(別紙)

打合之参列者人名表

大正十五年六月十日
順序不同

廣島海要塞司令官

陸軍少將

弘中 曉

陸軍省軍務局課員

陸軍兵少佐

桑原 四郎

全

築城部本部員

陸軍砲兵少佐

椎名 正健

築城部豐豫支部長

陸軍兵少佐

藤澤 一孝

陸軍兵務本廠員

陸軍砲兵少佐

船橋 定吉

廣島陸軍兵器廠長

陸軍砲兵中佐

高橋 政藏

全

廠員

陸軍兵少尉

見島 信士

全

陸軍砲兵大尉

横尾 達三

全

陸軍兵大尉

佐々木 博

陸軍運輸部員

陸軍兵中佐

高野 逸士

第五師團參謀

陸軍兵中佐

矢崎 博之

第五師團副官

陸軍兵少佐

岩永 注

第五師團兵器部員

陸軍輕重兵大尉

池田 一

第五師團經理部員

陸軍會計正

越智 昇平

電信第三聯隊副官

陸軍兵少佐

上嶋 政一

吳鎮守府參謀

海軍中佐

大田 幸太郎

吳海軍建築部

海軍技師

永戸 春造

廣島海要塞參謀

陸軍砲兵少佐

由比 周吉

全

陸軍砲兵少佐

渡邊 正夫

全

陸軍砲兵少尉

小林 秋夫

全

陸軍砲兵少佐

松尾 喜助

全

陸軍兵大尉

大築 安之助

全

陸軍兵大尉

坂本 森樹

全

陸軍兵大尉

塩田 鼎

部附

備考の印は關係事項協議、之を参列せしめしる

其一 兵器（砲兵科）

一 處理方針

豐豫要塞携行兵器及兵器用物品、發送ハ廣島總要塞司令部砲兵部員之ヲ實施シ空濱、鷹ノ巣、岸根、大君、休石諸砲臺（輕砲）、撤去、送並ニ一般兵器、集積格納ハ廣島陸軍兵器支廠ニ於テ之ヲ担任シ、豐豫要塞現存兵器、受領ハ佐賀關到着後實施シ

又現ニ廣島灣要塞司令官ニ保管ヲ依託セラル

軍保轉兵器ハ現狀ノ儘大正十五年八月一日廣島陸軍

兵器支廠長ニ引継クモノトス

但シ兵器廠依託豐豫要塞戰備用兵器大部ハ移轉

ノ際佐賀關ニ携行タルモノトス

主ナル意見

移轉ノ際戰備用兵器ヲ携行ス

夕シ（兵器本廠員）

二 處理方法及期日

一 成ルベク速ニ室濱及岸根、礮臺、早瀬彈丸庫、水
 君礮臺、警固屋、彈藥本庫、休石礮臺、順序ニ返
 納兵器ヲ、廣島陸軍兵器支廠ニ返納ス

二 次ニ豐豫要塞ニ携行スヘキ動員用兵器及兵器廠依

托戰備用兵器並兵器用物品、荷造條送準備ヲ完

了ルモノトス其細部ニ関シハ別ニ計畫ス

前項兵器ノ輸送ハ廣島灣要塞司令部之ヲ擔任シ

陸軍運輸部ノ船舶ニ依ル其發送時期ハ遅クモ大

正十五年八月十日迄ニ佐賀關ニ到着セシムルモノトス

主ナル意見 輸送ハ廣島灣要塞司令部ノ擔任カ或

ハ運輸部ノ擔任カラ明セラル也(陸軍運輸部員)

又、豐豫要塞携行兵器、同物品ノ祭送準備完了セハ、六那三

美鶴、宗山、鷹、巢高、低諸砲臺及包ヲ、浦、三ノ浦等品

要塞司令部構内所在兵器並ニ兵器用物品ヲ、廣島

陸軍兵器支廠ニ返納及引續ク

返納兵器ハ返納証票ニ依リ、現品ハ現状ノ儘兵器表及

兵器細目名称表ニ依リ、一々照合、上返納シ兵器用物品

ハ送証ニ依リ、現品ハ兵器ニ準シ引継クモノトス

六、豊稜要塞現存ノ兵器ハ大正十五年八月一日佐賀關ニ於テ

書類上ノ受授ヲ行ヒ現品ノ受授ハ要塞司令部砲兵

部員佐賀關到着後主任者立會ニ上現品示礼ニ實施

ス其期日ハ概同年九月上旬トス

六、及納兵器引継業務完了ハ概大正十五年八月廿番トス

三、品目、員數表

品目員數附表第一其一二及別表

四特ニ注意スル件

兵器材料、船舶搭載、爲ス陸軍運輸部構内物
揚場ヲ使用スルコトヲ得

(附記陸軍運輸部員兼諾)

二師團長管理ニ属スル官衙用兵器(將校乘馬具ニテ)

ハ第五師團ヨリ借用形式ニ依リ豊豫要塞ニ携行スル

モノトス

(附記 兵器本廠意見 備用形式ヲ携行後兵器廠ニ於テ救護ス)

3. 豊豫要塞備砲ニ関スル圖書ハ陸軍省ヨリ交付セラル

(附記 陸軍省銃砲課員承諾)

4. 豊豫要塞司令部平時業務上必要ナル砲床検査表等

ハ之ヲ豊豫要塞ニ携行スルヲ得

(附記陸軍兵器本廠員意見 推考行差支ナシ)

今戦用兵器中不足モノ(將校乗馬具七脊ハ此際充實セ
欠數、儘携行スルモノトス

(附記陸軍兵器本廠員意見 當今充實シ難シ不足、儘

携行戦時支給セラルモノト承知セラレタシ)

又、込納兵器、格納替及ビ手入ニ要スル經費ハ廣島陸軍兵

器支廠ヨリ増額申請スルモノトス

附表第三其一

師團長管理 動員用兵器數量表 (豐豫(横河))							備考
品目	員數	相數	斤數	才數	荷造箱	檢要	
三三式軍刀乙	五一	二	二六〇	六〇	軍刀運搬箱 二		
三〇年式銃劍	一三八	三	二五〇	一八	銃劍運搬箱 三		
三八式騎銃	六	一	一〇〇	一	騎銃運搬箱 一		
三八式騎銃 携帶予備品	一	一	二〇	一			
三〇年式拳銃	八	一	一〇	一			
刀劍附刃器	五	一	一〇	一			
三〇年式乘馬具	四	一	三二〇	三〇	三〇年式乘馬具 運搬箱 一		
三〇年式乘馬具		一	三二〇	三〇			
三〇年式乘馬具 檢査子	一八〇	一	三二〇	一			
三〇年式乘馬具 檢査子	二五六	一	三二〇	一			
計		九六	九六〇	一三二			

河造箱八本
器支廠ヨリ
受クモトス

兵器用物品携行員數表

[illegible]

[illegible]

其二 兵器 (二 兵科)

一 處理方針

守城工兵器具、定数外兵器、輕便鐵道材料ハ現在格納
 ノ儘廣島陸軍兵器工廠ニ返納スルモノトス、其格納區分

ハ附表第一ノ如シ

ニ處理ノ方法及期日

返納ノ手續 返納ハ兵器取扱規則第三十條ニ依リ兵器

返納證票ヲ調製シ授受ノ手續ヲナス

現品各主任者立會ノ上大正十五年七月中旬迄ニ其引

渡シヲ完了スルモノトス之ニ要スル日数左ノ如シ

司令部及守品一日 倉ヶ浦二日

手品目員数

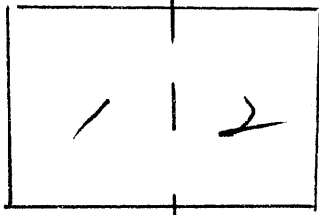

品目員数ハ附表第一ノ如シ

四 其他特ニ注意スル件

一 兵器ニ関シ引継ヲナスヘキ諸書類附表第二ノ如シ

二 兵器手入計畫並手入方法等ニ就テハ現場ニ於テ示ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基</p> 	

兵器格納區分表

[illegible]

附表第二

兵器ニ關スル引継書類目錄

品	目	員	数	摘	要
守城ニ兵器具材料原簿			壹冊		
輕便鐵道材料受拂簿			壹冊		
兵器報 告 綴			壹冊		
兵器格 納 圖			壹冊		
兵器手入豫定實施表			壹冊		
兵器ニ關スル發來翰綴			壹冊		
兵器移動通達票綴			壹冊		
考 備					

其三國防用土地防禦營造物並船舶

一處理方針

國防用土地並防禦營造物ハ概ネ左ノ區分ニ依リ移管スルモノトス

一 大那沙美島砲臺及同交通路敷地並豪頭鼻電燈及同交通

路敷地及其以東ノ敷地(三島補助建設物敷地並大君
低砲臺同交通路敷地一部ヲ除)ハ海軍少自ニ

但シ以上地區ハ凡テ現在兵器ノ存置間陸軍ニ於テ其使用權ヲ

保留又將來陸軍ニ於テ防備ヲ行フニ必要ト認メタル場合亦同
 シ尚ホ大君低砲臺及同交通路敷地中海軍電燈所敷地西
 南側田地ヲ工兵第五大隊架橋演習場ニシテ使用權ヲ保留ス

主ナル意見

(1) 岸根鼻砲臺鶴原山堡壘壕頭鼻電燈所ハ敷
 地殊ニ鶴原山堡壘敷地ハ那沙美水道ヲ俯瞰シ重要ナ

此地吳ニシテ民間ニ渡ルヲ好マス又將來吳要塞地帯

設定ノ為メ該地域ハ地帯内ニ含マシムル豫定ナルニ依リ

一括ニテ移管ヲ希望ス（吳鎮守府參謀）

(四) 兵器並備砲撤去期曰ハ不明ナルモ當分使用権ヲ有シ

且軍路ヲ残置シテ將來ノ撤去ニ支障ナカラシムルヲ依

然陸軍ニ存置スルコトヲ望ム

但シ全兵器撤去ノ後ハ移管スルモ可ナリ(三島本廠員)

(ハ)海軍トシテハ如何ナル條件ヲ附メルモ苦シカラス又軍路モ

破壊マルノ意圖ナシ(呉鎮守府参謀)

(ニ)大那沙美島砲臺及同交通路敷地ハ海軍省ニ移管スル

コトトシテ手續ヲナスコト但シ條件ヲ附スルコトハ海軍

ニ移管スル他ノモノト同シ(大正十五年六月十六日
陸軍省森原少佐電報)

(ホ) 大君將東第五師團兵演習地トシタキ土地ニシテ既ニ第

五師團へ管理換トナリ居ル大君兵舎敷地ノ附近一部ヲ

第五師團經理部へ移管ヲ望ム(第五師團經理部員)

太君低死臺及全交通路敷地ハ附近ニ海軍電燈所アリ

戦時ニ必要ナル以テ一括シテ海軍ニ移管スルコトヲ希望

ス(吳鎮守府参謀)

之、宝墳砲臺及全交通路敷地並包ヶ浦補助建設物及全交通路敷地一部ハ内務省ニ

主ナル意見

(1) 包ヶ浦ニ火薬庫ヲ有スルヲ以テ最近火薬庫ヨリニ

五間以上ノ所迄ハ依然陸軍ノ土地トシテ管理セラレ

タシ(兵器本廠々員)

3 前項以外ノ敷地大河宇呂間軍用
鐵道敷地ヲ含ムハ第五師團經理部ニ

4 以上國防用土地ノ慶分ハ附表第一ノ如シ

5 防禦營造物(通信網ヲ除ク)ハ前各項ノ敷地ト同時ニ各移管

官衙ニ移管スルヲ本旨トス

但シ特別ノモノヲ除ク其詳細ハ附表第三ニ依ル

主ナル意見

(1) 大君地区ハ一部ノ兵舎既ニ第五師團經理部ニ移管

セラレシモ稍々狭キヲ以テ大君ノ砲臺ノ建物ヲ移築不

シタキ希望ヲ有ス(第五師團經理部々員)

大君砲臺ノ建物ハ第五師團經理部ニ譲リ鷹巣砲臺

臺監守衛舎及空演砲臺ノ監守衛舎並彈廠ト交換

ス(築城部本部々員)

6. 通信線、當分要地防衛、兵器格納所、海運材料格納所、
 間連絡並電信第二聯隊演習用等トシテ依然大部ハ陸
 軍ニ於テ保有ニ部ハ放棄ス又保有スルモノト雖モ万止ヲ得
 サルニ至ラハ放棄ス

但シ元廣島灣要塞司令部似島、三島、包ヶ浦間ハ永久ニ
 保有ス其處分附表第四ノ如シ

主ナル意見

(1) 廣島―兵―早瀬―高田間全部ヲ海軍ニ移管テ受

クルコトハ其保續費ノタメ多額ノ經費ヲ要スルヲ以

テ研究ヲ要ス爲シ得ル全部ヲ陸軍ニ移管シ其

一線ヲ海軍ニ使用セシメラレタキ希望ナリ(兵部府参謀)

(4) 第五師團經理部トシテ通信線全部ノ移管ハ必要ナ

シ中間線(司令部―宇品―似島―三高線)一線、
 タシ(第五師團經理部員)

ハ要塞司令部―吳間及要塞司令部―大野間ノ電

話線ハ電信第二聯隊演習用線路トシテ保管轉換

ヲ受ケテ差支ナシ然ル上ハ廣島―吳間ノ一條ヲ海軍ニ

提供スルモ差支ナシ

右線路ハ當聯隊ニ於テ保續ニカムヘキモ止ムヲ得サル

ニ至ラハ放棄スヘキフトアルヘキヲ以テ永久海軍ニ提供

スルフトハ斷言シ難シ(電信第二聯隊長)

(一) 釜淵ト巨ヶ浦間及高田ト早瀬ト吳間ノ電話線ハ廢

棄スルカ又ハ敬告察用トシテ移管シテ如何研究

セラレタシ(陸軍省軍務局課員)

々地帶標石標札並區域標石ハ大正十五年十月末日迄ニ埋場ニ

於テ破壊シ又ハ引倒シタル後海中又ハ谷地ニ投棄スルカ埋

填スルモノトス其撤去計畫附表第五ノ如シ

又雜船ハ一隻ヲ豐祿要塞司令部ニ他ヲ第五師團經理部

ニ移管スルモノトス其區分附表第六ノ如シ

ニ處理方法及期曰

三 其他注意スヘキ件

完了スルモノトス引継計畫ハ附表第七ノ如シ
各關係者立會、上大正十五年八月末日迄ニ現場ニ於テ引渡シ

引継ニ要スル書類ハ附表第八ノ如シ

前項處理方針ニ基キ被移管部隊ニ在リテハ附表第一ノ

至第四及第六ノ區分ニ依リ所定ノ手續ヲ行ヒ指令ヲ受ケレハ

其防禦營造物附屬物件ノ處理ハ附表第九ノ如シ

3. 内務省ヘノ土地ノ移管ハ廣島縣廳ト打合マサスモノトス

其土地及防禦營造物ノ移管手續ハ左ノ如クス

(1) 土地

(a) 第五師團(吳鎮守府)ヨリ協議書類ヲ築城部本部

長ニ土地調書ニ通添ヘ提出ス

(ハ)第五師團(吳鎮守府)ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省

(海軍省)ニ規定ノ圖書ヲ添テ上申ス

但シ築城部本部長ノ同意書、築城部本部ヨリ陸

軍省(海軍省)ニ出スモノ

(イ)陸軍省(海軍省)大藏省ニ交渉ノ上第五師團(吳鎮

守府)ニ指令ス

(四) 防禦營造物

(a) 築城部本部長ヨリ廣島灣要塞工兵部員ニ引渡指令
ヲ受ケ相互調印ノ上引渡ヲ完了ス

(a) 被移管部隊ハ廣島灣要塞司令官ニ協議書類

(營造物調書三通ヲ添ヘ)ヲ出ス

(a) 要塞司令官ハ更ニ築城部本部長ニ意見ヲ添ヘ協議ス

(營造物調書ニ通テ添テ)

(c) 被移管部隊ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省(海軍省)
ニ規定ノ書類ヲ添ヘ上申ス

但シ築城部本部長ノ意見書ハ築城部本部ヨリ陸軍
省(海軍省)ニ出スヤ否

(d) 陸軍省(海軍省)ハ大藏省ニ交渉スル上被移管部隊ニ

指令スルト同時ニ廣島灣要塞司令官ニ移管ノ件通

牒ス要塞司令官ハ夫々被移管部隊ニ引渡スモノトス

ハ其他ノモノ

陸軍省所管國有財産取扱規定第四十一條ノ通り各

管轄者ヨリ正式ノ手續ヲナス

ハ其他ノモノ

指令スルト同時ニ廣島灣要塞司令官ニ移管ノ件通牒ス
要塞司令官ハ夫々被移管部隊ニ引渡スモノトス

陸軍省所管國有財産取扱規定第四十一條ノ通り各

管轄者ヨリ正式ノ手續ヲナス

國防用土地處分一覽表

大正十五年六月十日調

所用名	移管先	敷地面積	坪	立	木竹	東	境界標	摘	要
室濱砲台及同交通路敷地	内務省	三四、六三五	二、一八				二五九		
包浦補助建設物敷地	第五師團	一、三二四	一、九九五				一三三	包浦補助建設物敷地	
舊集高砲台及同交通路敷地	第五師團	四九、二六〇	二、六一〇				七三	包浦補助建設物敷地	
三高補助建設物敷地	第五師團	二〇七、一一九	四、五九八				九五		
大那沙美島砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、八四八	二、二五						
蒙嶺集砲台及同交通路敷地	第五師團	一一〇、二七五	一四、二八三				一三		
鶴原集砲台及同交通路敷地	第五師團	六四、〇〇	五、〇七				一		
岸根集砲台及同交通路敷地	第五師團	一七、五六一	一、四六三				一九		
三高山砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、八四八	六八				七三		
大君低砲台及同交通路敷地	第五師團	六三、七九三	六、五六二				二八九		
早瀬集砲台及同交通路敷地	第五師團	一、八八七	二八				二〇		
高島集砲台及同交通路敷地	第五師團	一五、二六九	四、八三				一六六		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	二六、五〇四	一、一七〇				二四三		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、九五五	九二五				一八六		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	八、八六五	二一〇				一一四		
大空山砲台及同交通路敷地	第五師團	四四、一一八	五、一四				三三		
阿賀町物場敷地	第五師團	四、一八	三、三一四				二七八		
阿賀町補助建設物敷地	第五師團	五〇					四		
阿賀町砲台豫定地	第五師團	四、六四〇	四四九				二二		
長谷海底線陸揚場敷地	第五師團	二九、一九二	三九				六二		
大迫海底線陸揚場敷地	第五師團	三							
明神海底線陸揚場敷地	第五師團	七							
明神海底線陸揚場敷地	第五師團	一〇、〇五四	三				二三		
備三各敷地中二目下貸下中モアリ	第五師團								
三、室濱海底線室及那沙美海底線室敷地ハ永久借用スルモノトス	第五師團								

大正十五年六月十日調

[illegible]

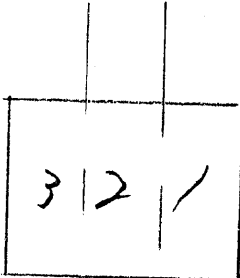

大正十五年六月十日 謝

摘要

附表第四

防禦營造物(通信線)處分(覽表) 大正五年六月十日調			
線路(海底線及支線等)	移管部隊	使用区	分保線担任部隊
司令部——大野間	電信第二聯隊	電信第二聯隊	電信第二聯隊
大野——津波——包浦間	第五師團經理部	陸軍運輸部	第五師團經理部
司令部——似島	電信第二聯隊	電信第二聯隊	電信第二聯隊
三高——包浦間	電信第二聯隊	電信第二聯隊	電信第二聯隊
司令部——吳間	電信第二聯隊	電信第二聯隊	電信第二聯隊
吳——警備屋	第五師團經理部	陸軍運輸部	第五師團經理部
大君——高田間	電信第二聯隊	電信第二聯隊	電信第二聯隊
備考	一、廢棄スル線路、廣島縣廳ニ交渉上必要アレハ警備隊用電話線トシテ移管ス	二、若シ何レモ不用ナルハ廣島海軍要塞司令部ニ於テ賣却處分ス	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 / 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦 基</p> 	

アジア歴史資料センター

附錄六

船舶處分一覽表

大正十五年六月十日

備考	雜船			經別		
	員數	長サ	幅	深サ	所在	移管區分
ニ本表ノ員數ハ國有財立性ノモノヲ示ス ニ物呂トシテ外ニ雜船一隻ヲ有ス	一	一	一	一	一	一
	二五〇	二六二	二六二	二四	大君	豐豫要塞
	五三	五〇	五〇	二三	大那沙美	第五師團經理部
	一文	字	品			

大正十五年六月十一日

所用名稱	移管先	日次	出張者	引渡日次	摘	要
室津砲台及同交通路敷地	内務省	一 准官 日帰	色ヶ浦迄官船陸行室津ニ至リ 嚴島ヨリ汽車坂廣			
包ヶ浦補助建設物敷地	第五師團	二 准官 一泊	往復官船包ヶ浦泊			
鷹ノ巣高砲台及同交通路敷地	第五師團	二 准官 一泊				
三高補助建設物敷地	第五師團					
大那沙美砲台及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊	往復官船三高泊			
康敷軍港燈台及同交通路敷地	海軍省					
鶴原山堡壘及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊	往復官船早瀬泊			
岩根軍砲台及同交通路敷地	海軍省					
三高山堡壘及同交通路敷地	海軍省					
大君低砲台及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊	往復官船早瀬泊			
高島堡壘及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊	往復官船休石泊			
休石砲台及同交通路敷地	海軍省					
休石燈台及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊	往復汽車陸行阿賀泊			
大空山堡壘及同交通路敷地	海軍省					
阿賀町物場敷地	海軍省	一 准官 日帰	往復官船			
和左町補助建設物敷地	海軍省	一 准官 日帰				
阿賀町砲臺敷地	海軍省	一 准官 日帰	官船日帰 三高地区引渡帰路引越クレト 又通信線中三高一似島一司令部兼毛 同シ			
長谷海底線陸揚場敷地	第五師團	一 准官 日帰	陸行			
大迫海底線陸揚場敷地	第五師團	半日				
明神海底線陸揚場敷地	第五師團	半日				
大河間軍用鉄道敷地	第五師團	半日				
通信 大司令部野間	第五師團	二 准官 一泊	大野迄陸行地前泊汽車帰廣			
信 吳司令部野間	第五師團	二 准官 一泊	吳迄陸行吉浦泊音有地官船帰廣			
網 高田大君兵衛 内務省	第五師團	二 准官 一泊	高田官船 吳陸行 早瀬泊 吳ヨリ汽車坂廣			
合 計		一九五				

備考
一 各陸軍用地ノ境界標石位置ヲ巡ス
二 建物及工作物其位置ニ至リ引越ヲナスモノトス又同時ニ雜船及物品ヲ引越ヲナス
三 通信網ハ砲臺附近モニテリテ用地並ニ建物ト同時其他ノモノニテリテ陸行
シ線路圖ト照シ引渡シスルモノトス
四 引渡日次ハ協議決定ス

附表第八

土地移管に伴う引継書類

大正十五年六月十日

名

稱

廣島品間軍用鐵道敷地収用及管理換書類

土地収用買収書類

地所=関スル承諾書

電柱敷地請書類

土地登記簿謄本綴

土地登記沿革収用土地明細圖

土地登記明細簿

土地登記済證綴

國有財産土地明細調書

各堡塁、砲臺敷地外不用土地利用計畫圖
同敷地内所在貸下地ノ圖合綴備
一、本表書類、築城部本部ト協議済モノトス

二、各書類、合冊シテ以下移管区分困難ナルモノアリ

考
三、本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス

二、（一） 使用上ノ通セ

[illegible]

[illegible]

0387

品	目	單位	保管數	備付シ テ敷 在現 在取 得シ 敷	整 理 換 敷	摘 要
テ ル ビ ン 機	器	個	二	二	一	
裁	箱	個	三	一	二	
枝	箱	個	一	一	一	
器	箱	個	二	二	七	
主	機	個	一	一	二	
針	機	個	二	二	一	
縫 同 時 通 信 機	機	個	五	五	五	
片	機	個	二	二	二	
差	機	個	二	二	一	
同	機	個	一	一		
新	機	個	一	一		
曲	機	個	一	一		
量	機	個	一	一		
天	機	個	一	一		
斗	機	個	一	一		
鋸	機	個	一	一		
斧	機	個	一	一		
手	機	個	一	一		

0338

同	電	テ	バ	現	雨	磁	操	作	電	換	田	現	保	鶴	バ	玄	釘	砲
汽機	汽機	スチン	バ	字機	石	録	業	機	温	温	機	機	機	機	機	機	機	機
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	三	一	三	八	二	二	四	一	二	一	一	二	五	二	五	一	一
		二	一		一							一	二					
		一	三	八		二	四	一	二	一	四	一		五	二	五	一	一
												一	二					
		二	一					一				一	二					
					八	二			二	一	五	二	一	五	二	三		一
												一	一					
												二	三					
				三														
運	運																	
一	一																	
三	三							四								二	一	
汽機部付モラ合ム																		

アジア歴史資料センター

其四 廳中備品及圖書

一 處理方針

廳中備品及圖書可成豐豫要案司令部ニ引継キ相當

修理ヲ如ク後同廳ニ使フニ充當スヘシト雖モ陸軍兵器

廠送納兵器管理上必要物品ハ廣島陸軍兵器廠ニ引継キ

其他不用品ハ廢品トシテ處分ス

主ナル意見

第五師團經理部ニ引継クヘキ物品ハ概ネ不用品ニ屬スヘキヲ以

テ此際廢棄口照處分手續ヲ行セテレタシ(第五師團經理部ニ屬)

廢理方法及期日

豐饒要塞司令部ニ引継ク物品ハ大正十五年八月十日頃ニ兵器其他

ト同時ニ第一次輸送ヲ實施シ速カニ加修ノ上供用ス

殘品殘務整理終了後第二次輸送ヲナシ前項ニ準シ廢理ス

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ク物品ハ豫メ送証ヲ送附シ兵器引

継時期ニ於テ各現在位置ニ就テ対照引継ヲ實施ス

不用品ニ低級品ハ大正十五年七月末廃品如慶分ラナシ

主ナル意見

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ク物品ハ管理上必要ナル諸品

ナルヲ以テ良好品不足セサル様保管換方配慮アリタシ

尚ホ品種員数決定上可成送ニ通報アリタシ(廣島陸軍兵器支廠長)

三品目員数

別紙引継書及送託、如シ（別紙省略）

四所要経費

別紙諸書、如シ

尚豊隆陽要塞不足物品、新調費、可成同時ニ増額申請ヲナ

シ、其ニ令達セラル如ク考へ慮ル

五、其他

引継物品、修理、運搬上、便条、契約上、利ヲ考慮シ一部廣島
ニ於テ如修スルヲ可トス

其五、廳舎及宇品倉庫

一、處理方針

廳舎及宇品倉庫ハ大正十五年八月一日閉鎖スヘキニ廣島灣

要塞司令部ニ於テ殘務整理、為メ引續キ使用スヘキヲ以テ殘

務終了後第五師團經理部ニ返還ス

六 處理ノ方法及期日

殘務整理委員ハ業務終了後廳舎及字品倉庫ノ引継書

ト共第五師團經理部主任者立會返還ノ手續ヲナス

但シ字品倉庫ハ兵器引継ハ狀況ヲ顧慮シ殘務終了以前ニ關

係圖書ト共ニ返還スルコトアルヘシ

主ナル意見

1. 宇品倉庫ハ後、使用ニ限シテハ陸軍運輸部ニ於テ

使用方々相違ス（陸軍運輸部員）

2. 引継ぎ管理為メ宇品倉庫ハ後引継ぎ廣島

陸軍兵器支店ニ使用セシメラレタシ（兵器本廠員、廣島

陸軍兵器支店員）

三、関係図書

別冊管轄關係圖書如左

四、廳舎及守口倉庫ハ引継後其使用ヲ希望スル部隊アルヲ以テ大要ヲ左ニ附記ス

一、廳舎及守口倉庫ハ共ニ引継兵器ノ管理業ニ平素素業

務爲メ引継後使用シタルモ止ムヲ得スハ廳舎ヲ他ニ使用セ

シメイル場合ハ前記守口倉庫ハ特ニ廣島兵器支廠ニ使

用セシメラタシ(兵器承廠員廣島陸軍兵器支隊長)

2. 宇品倉庫の運輸部ニ使用セシメラタシ(陸軍運輸部員)

3. 廣舎の電信第二聯隊ニ使用セシメラタシ(電信第二聯

隊副官)

其六 地帯業務及廢務

(一) 要塞地帯業務

一 處理方針

陸軍ニ於テ大正十五年八月一日以後ニ生リ許可又ハ承認シタル
事項ニシテ新ニ設定スル海軍要塞地帯ニ屬スルモノハ其終止及鎮
守府ニ於テ之ヲ繼承シ然ラサルモノハ陸軍省告示ニ布ト共ニ其
効力ヲ失フモノトス

二 處理方法

一 吳鎮守府ニ於テ繼承ヲ要スル陸軍省並廣島海軍要塞司令
部ヨリ交付セル許可證及承認證ノ控ハ願書ト共ニ吳鎮守府
ニ引継フモノトス之ヲ爲メ吳鎮守府ハ成ルヘリ連テ海軍要塞地
帶區域圖ヲ廣島海軍要塞司令部ニ送付スルモノトス

二 前項以外ノ許可證及承認證ノ控並寫真帳ハ地帶法違反
ニ關スル綴ト共ニ目錄一通ヲ添ヘ大正十五年八月上旬陸軍省ニ

送附スルモノトス

3. 廣島海軍要塞地帯撤廢並海軍要塞地帯設定ノ告示公布

其ハ三吳鎮守府ハ廣島海軍要塞司令部ヨリ繼承スヘキ事項

ニ関スル廣島海軍要塞司令部ハ不申トナルハキ許可證承認證

及返納ニ関スル各関係地方官衙及市町村役場ニ通知シ尚同

時ニ廣島海軍要塞司令部ヨリ廣島海軍要塞地帯撤廢並海

軍要塞地帯設定ノ旨関係憲兵隊警務署ニ通報スルモノ

陸軍省

(二) 御真影及勅語勅諭寫

御真影及陸軍省ヨリ交付ヲ受ケタル勅語勅諭寫ハ目錄三通ヲ

添ヘ又第五師軍司令部ヨリ交付ヲ受ケタル勅語勅諭寫ハ目錄

一通ヲ添ヘ共ニ大正十五年七月二十七日第五師軍司令部ニ返還ス

ルヒノトス

(三) 下士以下ノ人事

(下士)

八、壹岐及豊豫要塞司令部新設並廣島湾要塞司令部廢

一、重要領細則附表第一ニ依ル轉属人名決定次第成ルヘク連

ニ第五師團長ニ報告スルモノトス

又、兵器本廠ト豊豫要塞司令部ト相互ニ交換スヘキ下士一名大

正十五年八月一日附兵器本廠ヨリ廣島湾要塞司令部へ及廣

島湾要塞司令部ヨリ兵器本廠へ各轉属スル如ク予メ廣島

海軍要塞司令部ヨリ第五師団長ニ命課換テ此申スルモ御意

(2) 傭人

馬丁ニハ其終々豊豫要塞司令部ニ繼續雇傭シテハ佐賀團ニ於テ
新ニ傭入スルモノトス

(3) 職工

大正十五年八月一日左ノ如ク處理スルモノトス

ノ普通職工ニハ豊豫要塞司令部ニ繼續キ雇傭シ定期職工ニ

普通職工一並海軍保衛兵器業務ニ属スル職工五(臨時職工一

ヲ含ム)ハ現給ノ俸ヲ高島陸軍兵器支廠ニ轉属セシメ其他ハ大

正十五年八月一日解僱スルモノトス

又、豐後要塞司令部所要職工ニハ陸軍兵器支廠ヨリ現給ノ俸

轉属セシムモノトス

(四) 勤員用陣中事務用品

第五師中規定第四條ニ依リ所要数ヲ第五師中ニ整備シ大正

十五年八月十日迄ニ佐賀県ニ到着スル如ク廣島海軍要塞司令部ニ
残存整理者ニ於テ發送シ又不用品ハ大正十五年七月二十日迄ニ
廣島海軍要塞司令部ヨリ第五師団經理部ニ列送スモノトス

(五) 機密書類

(1) 豊後要塞司令部ニ必要ナルモノ

機密書類(重要ナル機密書類ヲ含ム)ニシテ第五師団司令部ヲ

經由シテ配布ヲ受ケタルモノ及廣島海軍要塞司令部調製ニ係ル

二十八年正月十五年中ニ其ノ五師ノ長ニ保管轉換ノ上申ヲ
 為シ各部隊ヨリ直接廣島湾要塞司令部ニ配布ヲ受ケタルモ
 ノハ今年八月中ニ廣島湾要塞司令部ヨリ豊豫要塞司令部
 ニ保管轉換ヲナスモノトス但シ大鎮守府ヨリ配布ヲ受ケタル機密
 書類ハ今年八月中ニ且込納シ更ニ豊豫要塞司令部ニ受
 領ノ手續ヲナスモノトス
 又前項以外ノ秘密書類ハ大正十五年八月中ニ豊豫要塞司令

部ニ列継ヲナスモノトス

3. 廣島湾要塞司令部調製機密書類ヲ他部隊ニ配布シテ

ルモノハ残務整理終了迄ニ一旦廣島湾要塞司令部ニ返納

シ更ニ豊祿要塞司令部ヨリ配布ノ手續ヲナスモノトス

(2) 廣島陸軍兵器支廠ニ必要ナルモノ

1. 機密書類(重要ナル機密書類ヲ令旨ハ大正十五年七月中ニ第

六師團長ニ保管轉換ノ上申ヲ為スモノトス

2. 前項以外、秘密書類ハ今年七月中ニ目錄ヲ附シテ引継ヲナスモ

ノトス

(3) 不用ニ属スルモノ

1. 機密書類(重用ナル秘密書類ヲ含ム)ハ今年七月中ニ配布ヲ受

ケタル長官ニ返納スルモノトス

2. 前項以外、秘密書類ハ今年七月中ニ焼棄スルモノトス

(4) 京簿其他

ノ機密書類(重要ナル機密書類ヲ入ル)保管原簿機密書類

類受領證綴並機密書類送証綴ハ目錄ト共ニ大正十五

年七月今日迄ニ第五師司令部ニ引継クモノトス

又、前項以外ノ機密書類保管原簿及機密(密書類諸)製原

簿ハ豊稔要塞司令部ニ引継クモノトス

(5) 秘密地圖謄写ニ關スル書類

地方官公衙其他ニ於テ秘密地圖ヲ謄写シタル原圖及謄写ニ

関入一件書類ハ大正十五年七月中ニ第五師司令部ニ引
継ぐモノトス

(六) 一般書類

豊隆要塞司令部ニ必要ナルモノハ該司令部ニ引継キ其他ノモノ
ニシテ軍隊内務書ニ保存期限ノ定メアルモノハ残務整理終了迄ニ
第五師司令部及第五師司令部經理部ニ引継ぐモノトス但し同
司令部歴史要塞記録及陣中日誌ハ大正十五年八月一日以後陸

0362

軍省(第五師系司令部經由)ニ送附スルモノトス

其ノ經費増額并金錢事項

一 處理方針

新設及廢止ニ要スル臨時費ハ要塞整理費及其他ノ經常費

如當科員支那トシ輸送費等ノ如ク合算支拂ヲ為ス經費

ハ適合仕請ヲナシ増額申請ス

廣島海要塞司令部馬匹積立金ハ豊後要塞司令部ニ移

算スル如ク申請ス其資金廣島陸軍司令部官廳宜慶分ス

二、處理方法及期日

經費、租額申請ハ大正十五年六月廿二日續ラフコトニ着意

シ其以前ニアリテハ取急モナルモノアルヲ以テ契約打合終了後第一

ノ由ニ註明サナス

兵器其他物品苗書ノ輸送ハ陸軍運輸部ニ契約又ハ業務依

托ナスモ經費支拂ハ廣島港要塞司令部ニ付付シ増額申

請ニ此書ヲ

馬込積立金、移算ハ大正十五年八月一日以後トシ共有金ハ廢廳ノ

際司令官ノ定ムル方決ニ據リ處分ス

三金額

別紙調書ノ如シ

尚ホ申請ニ際シテハ明細書必要ナル金額ニ内訳書ヲ添付ス

經 常 部 軍					科 目		令 達 額		所 要 額		增 (減) 額		接 要	
第二項	彈藥費	二三四六〇〇〇	六四六〇〇〇	一、九〇〇〇〇〇	第二項	廳費及修繕費	一二八〇〇〇〇	三二四七〇〇〇	一九六七〇〇〇					
第一項	武 器 費	五六五三〇〇〇	一、七二一〇〇〇	三、九三二〇〇〇	第四項	自衛禦營造物修補	六二〇〇〇〇	一八〇七〇〇〇	一、一八七〇〇〇					
第五項	兵器及馬匹費	八六五七〇〇〇	二、八三五〇〇〇	五、八三二〇〇〇	其他	流用制限費	六六〇〇〇〇	一四四〇〇〇〇	七八〇〇〇〇					
其他	流用制限費	一九〇〇〇〇〇	四三八〇〇〇〇	二、四六〇〇〇〇	第三項	雜給及雜費	二四〇〇〇〇〇	六、〇〇三〇〇〇	四、三〇三〇〇〇					
第二十五目	接待費		六〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	第二目	出張旅費	五〇〇〇〇〇	一、七四三〇〇〇	一、二四三〇〇〇					
第二目	出張旅費		六〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	第一目	出 張 費								
第一目	武 器 費	五六五三〇〇〇	一、七二一〇〇〇	三、九三二〇〇〇	第一目	武 器 費	五六五三〇〇〇	一、七二一〇〇〇	三、九三二〇〇〇					
第二目	彈藥費	二三四六〇〇〇	六四六〇〇〇	一、九〇〇〇〇〇	第二目	彈藥費	二三四六〇〇〇	六四六〇〇〇	一、九〇〇〇〇〇					

經費增減額調書 (第五師團關係)

大正十五年六月十一日

廣島海軍要塞司令部

總計	事				費			
	第三目工兵器具費	第十目運搬費(兵器)	第六項演習費	第七項輸送費	計	第三項要塞整理費	第二目事務費	第六目兵器費
一二七八七	三四四〇〇	一一四〇〇	一五〇〇〇	三〇〇〇〇	一二七八七	五二二六	二二一七	一〇六六
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
一八、四六一	四二四〇〇	四四〇〇〇	一五〇〇〇	三〇〇〇〇	一三、二三五	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	五二二六	二二一七	一〇六六
(五、八二二)	(一、二〇〇)	(七、〇〇〇)			(五、八二二)	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
一二、四九六					六三、三〇〇			
〇〇〇					〇〇〇			
(五、八二二)					(五、八二二)			

經					
常					
費					
臨時費					
合計					
金額					
摘要					
廳費及修繕費					
給與雜費					
演習費					
兵器及馬匹費					
輸送費					
計(軍事費)					
合計					
內訳照細書省別各					
兵器費ニシテ明細ハ關係書類ニ依ル					
團中一艇ニ、小舟一二。其他經常費					
八〇〇圓					
一六八八六〇〇〇					
四、〇〇〇〇〇〇					
二二八九〇〇〇					
五〇〇〇〇〇					
七二五九〇〇〇					
二八三八〇〇〇					
一六、七二〇〇〇〇					
三四六〇六〇〇〇					

其八 其他

一、廣島湾要塞司令部ニ奉戴シアル御眞影ハ大正十五年中ニ
第五師より陸軍省ニ奉還スルコト

二、廣島湾要塞地帯撤廢ノ告示アルヤ直チニ其旨陸軍省ヨリ

電報スルコト

6980

三、廣島湾要塞残務期間ハ大正十五年十月三十一日迄トシ其
人員ハ部員一下士以下四又ハ五ト概定シアルモ之ヲ決定ハ廣

0370

島湾要塞司令官ヨリ大正十五年七月一日迄ニ第五師系長
ニ上申シ第五師系長ハ第六師系長ト協議決定シ陸軍大
臣ニ報告スルコト

陸軍省 十三部
 官一
 人事局
 軍事
 工兵
 建築
 主計
 監査
 銃砲
 兵器

一
 一
 三
 二
 一
 二
 一
 二
 一

陸軍省 十三部

大正六年四月

0372

以
上
各
日
記
本

0323



決裁指定

関

房官白大		課局務主		證認濟裁決		大臣委		件番受		連帶 署名 書記官	決行後回 覽課名 台長
了結 大正 年 月 日	領受 大正 年 六月 廿九日	出提 大正 年 月 日	領受 大正 五年 六月 廿九日	號番 第 七 〇		次官	高級 副官	名額	密第二二號其五		
覽後回 長局		帶長		局長 主務 課長 主務 課員		參事官		廳名			
長課		長課		主務 課員		高級 副官 主務 副官 官房 主計		海軍省			
中 長 課		中 長 課		主務 課員		主務 副官 官房 主計		廣島灣要塞地帯廢止 關スル件			
				審案筆記者							

次官ヨリ海軍次官へ回答

六月二十八日附官房機密第五四八號、四ツ以テ内協議セラルル呉軍港及附近海軍防禦營造物ニ對スル直接取締ノ爲、呉要塞地帯設定ノ件異存ナキ付回答ス

説明

一 呉要塞地帯法第一條第五條依リ海軍防禦營造物ニ對シ要塞地帯ヲ設クルモノナリ
例 大湊要塞地

一八七

七月五日

二、要塞地ハ海軍防禦營造物、爲メ設
 ケラル、又、ナルハ要塞地帯法第三條ニ依リ
 陸軍用地ニ関聯スルモノナルヲ以テ兩大臣
 連署ヲ示シ要スルモノナリ

陸軍

第 一 一 號 其 五

五 月 八 日



海 軍

大正十五年六月二十八日

海軍次官 大 角 岑

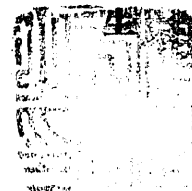
陸軍次官 津 野 一 輔 殿

廣島灣要塞地帶廢止ニ關スル件

本件ニ關シ本月十七日附陸密第一七一號御照會ノ趣異存無之尙吳軍港
及附近海軍防禦營造物ニ對スル直接取締ノ必要上右廢止ト同時ニ別紙
告示案ノ通吳要塞地帶設定致度

右回答旁内協議ス

追テ地帶圖等ノ詳細ハ目下準備中ニ有之候條本協議ノ際送付可致候

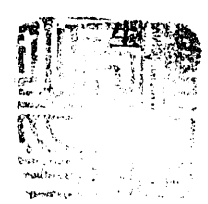


手
意
見
米
27/6
海軍部



海
軍

〆
岑



件

照會ノ趣異存無之尙吳軍港

必要上右廢止ト同時ニ別紙

候條本協議ノ際送付可致候

0322

印意見承知附々

總理部中

ス島課

0378

別紙添付

海軍

終

海軍省

陸軍省 告示（案）

要塞地帯法第三條及第六條ニ依リ吳ニ於ケル海軍防禦營造物ノ地帯ヲ
左圖實線以內、同法第七條第二項ノ區域ヲ實線以外點線以內トシ各區
域ハ實地ニ標識ヲ設ケテ之ヲ表示ス

附 則

本告示ハ大正十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年七月三十一日

海 軍 大 臣

陸 軍 大 臣

海軍省
用印
連署者
長
官

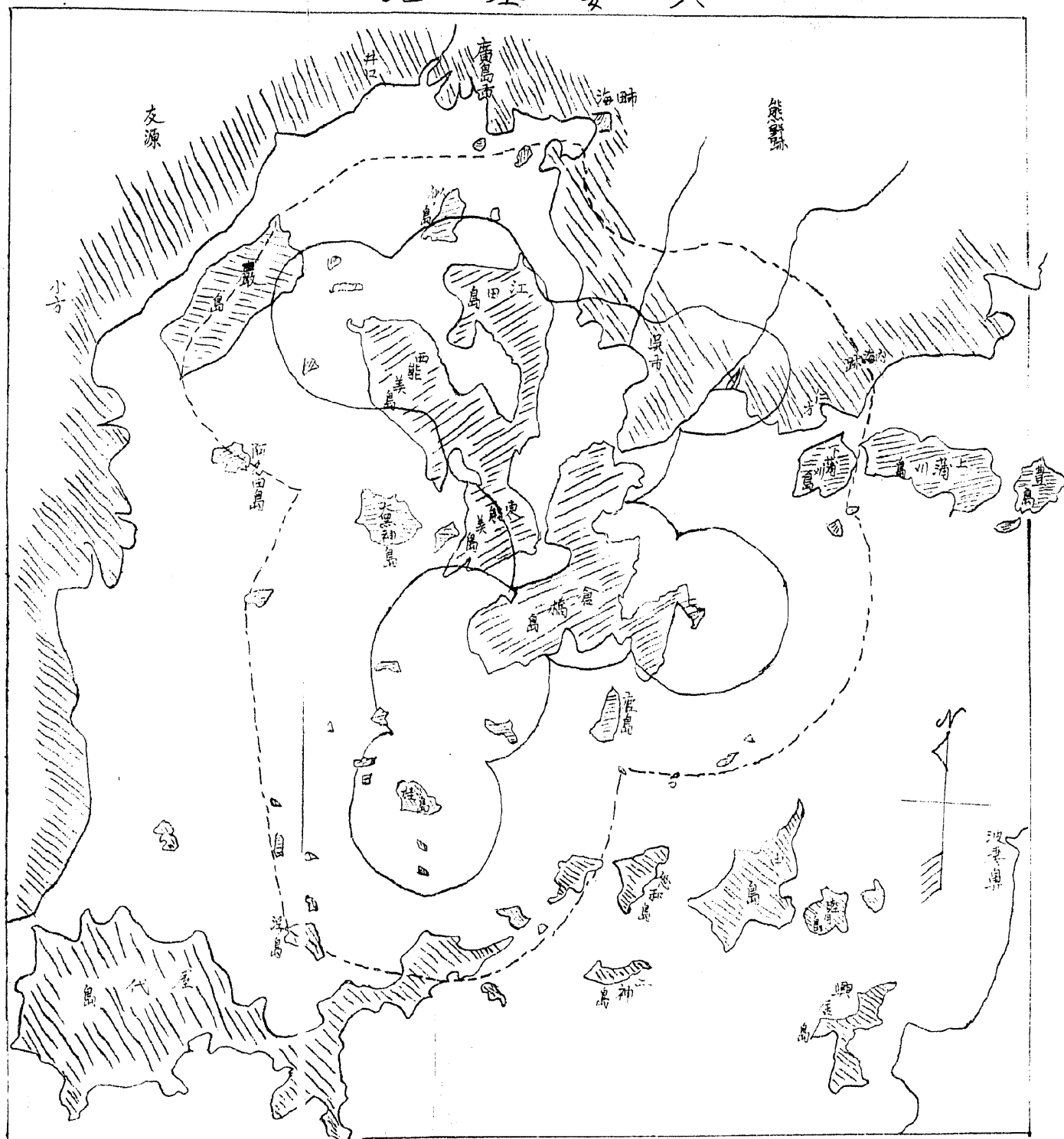
海軍

防禦營造物ノ地帶ヲ
外點線以內トシ各區

0880

吾等海軍は、不慮の事、在るべき、防軍
用、如き、係、ア、多、防、軍、中、大、且、海、上
連、累、去、来、ア、多、ク、ト、ス

三六四



[illegible]

海軍大臣へ同答
 八月廿附官房機密第六八〇號、ニ照
 會ニ係ル首題、件異存ナシ
 右同答ス

追テ地帯概見章同返答ス

一九七

七月十日



第...二...九六

大正十五年七月七日

陸軍大臣 宇垣一成 殿

海軍大臣 財部

吳要塞地帯設定ニ關スル件

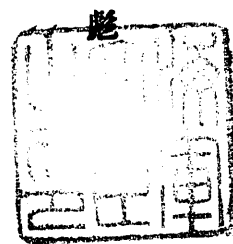
來ル八月一日廣島灣要塞地帯ノ廢止ニ引續キ吳軍港及附近海軍防禦

營造物ニ對スル直接防禦竝取締ノ必要上別紙告示案ノ通吳要塞地帯

ヲ設定スルコト運署ヲ以テ告示致度當該地帯概見草圖相添ヘ

右協議ス

(別紙及地帯秘圖添)



海

軍



終

紙 雙 符

海軍

陸軍省
海軍省
告示第

號

要塞地帯法第三條及第六條ニ依リ吳ニ於ケル海軍防禦營造物ノ地帯ヲ
左圖實線以內、同法第七條第二項ノ區域ヲ實線以外點線以內トシ各區
域ハ實地ニ標識ヲ設ケテ之ヲ表示ス

附則

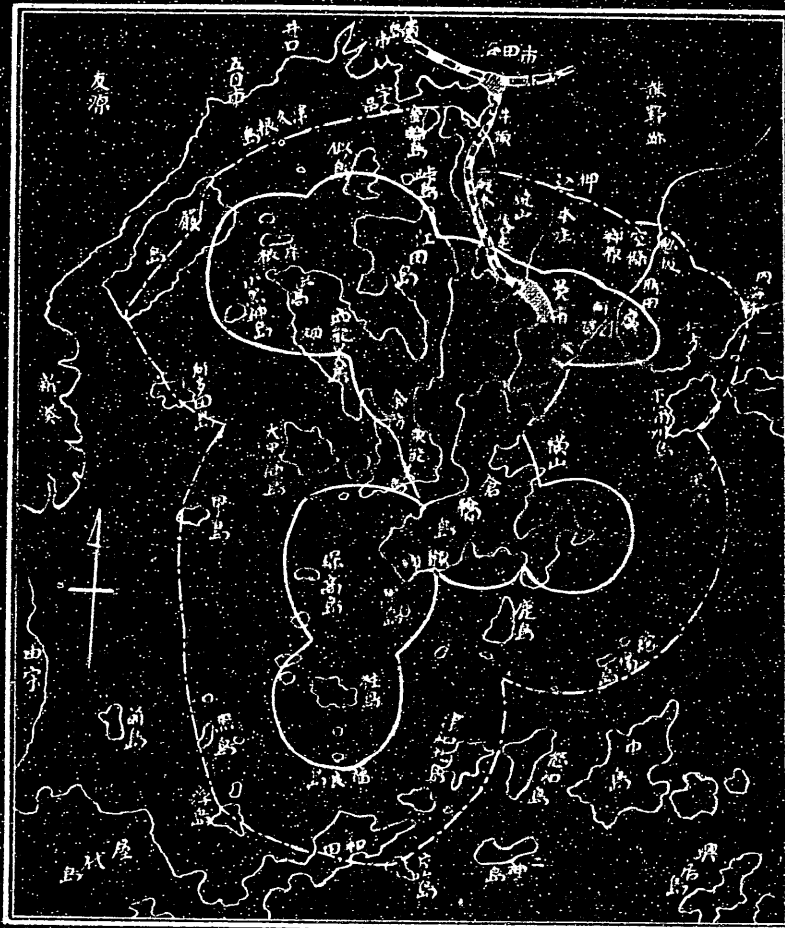
本告示ハ大正十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年七月三十一日

海軍大臣

陸軍大臣

吳要塞地





アジア歴史資料センター

陸軍省

次官より海軍次官へ回答

七月十七日官房機密第七一六號、三照會

ニ係ル首題ノ件異存無之ニ付

右回答ス

二〇九

説明

本件ハ要塞地帯法第三十條陸軍用地ハ海軍防禦營造物ノ地帯ニ關聯スル場合ニ於ケル規定ニ依リ海軍省ヨリ陸軍省ヘ協議シ要スルモノナリ

密第 三 號 其 七

陸軍機密第 五 号 附 一 号

大正十五年七月十七日

海軍次官 大 角 岑 生

陸軍次官 津 野 一 輔 殿

吳要塞地帯内禁止制限解除ニ關スル件

來ル八月一日設定豫定ノ吳要塞地ニ於ケル禁止制限解除事項ニ關シテ
ハ同日附ヲ以テ別紙告示案ノ通告示相成ル見込ニ有之候處御異存無之

候哉

右照會ス

(別紙參考表共添付)

終



海軍

海軍省告示第 號

要塞地帯法第十九條ニ依リ吳要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其
ノ區域ヲ左表ノ通定ム

附 則

本告示ハ大正十五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年七月三十一日

海軍大臣

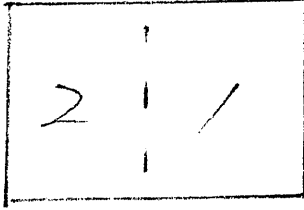
事 項	區 域
要塞地帯法第九條中漁 獵採藻及艦船ノ繫泊	廣島縣佐伯郡三高村、山口縣玖珂郡麻里 布村宇柱島ニ於ケル水面
同第十條ニ掲クル事項	廣島縣加茂郡廣村、阿賀町、佐伯郡三高 村字美能

同第十一條第一號ニ掲クル事項	廣島縣安藝郡倉橋島村字本浦、音戸町、渡子島村、江田島村字幸ノ浦、同村字宮ノ原、同村字大須、同郡警固屋町、佐伯郡飛渡瀬村、三高村、沖村、賀茂郡阿賀町、廣村
同第十一條第二號、第三號及第五號、第六號ニ掲クル事項	一區全部 ^中
同第十二條ニ掲クル事項	廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全部 ^{一部}
同第十三條ニ掲クル事項	第一區全部 ^{一部} 及廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全部
同第十五條第二號中排水及灌水	各區全部

海軍

同第十五條第二號中溝渠 鹽田及第三號、第四號ニ 掲クル事項	第二區及第三區全部
同第十六條中道路橋梁	第二區及第三區全部
<p>備考</p> <p>一 要塞地帶法第十一條及第十二條中ニ掲クル事項ヲ解除シタル 區域ニ於テハ同法第十四條中之ニ相當スル事項モ亦之ヲ解除 シ別ニ本表中ニ掲ケス</p> <p>ニ 一部解除ノ區域ハ吳鎮守府並關係市町村役場、警察署及憲兵 分隊ニ備付ケタル圖面ニ就テ見ルヘシ</p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p>	

新舊要港地ニ於ケル禁止制限解除事項及區域對照表

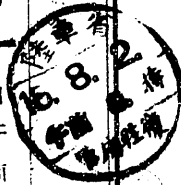
事項	舊	新	配
要塞地帶法第九條 中漁獵、採藻	廣島縣佐伯郡嚴島町、三高村、大柿村 安藝郡磐屋村ニ於ケル水面	廣島縣佐伯郡三高村、山口縣玖珂 郡鹿里布村字柵島ニ於ケル水面	新地帯ニ於テ水面ヲ有スル第一區ハ三高村、大柿村、 磐屋村、及吉浦、五ヶ所、三ヶ所等ノ内上記以 外ハ水中敷設物等ヲ豫定セルヲ以テ解除セス 但レ領土ニヨリテ陸岸ナキ限り許可スル方針ナリ
同第九條中艦船ノ 繫泊	廣島縣佐伯郡三高村大字美能ニ於ケル 水面		
同第十條ニ掲クル 事項	廣島縣安藝郡和庄町、莊山田村、宮原 村、佐伯郡三高村字美能	廣島縣賀茂郡廣村、阿賀町、佐伯 郡三高村字美能	新第一區ノ現地ニ於テ解除ノ必要ナキトシテ許可額 出ヲナサレムル必要アルニヨリテ上記ノ區域ニ限レリ
同第十一條第一號 ニ掲クル事項	廣島縣安藝郡和庄町、莊山田村、宮原 村、佐伯郡三高村字美能、 廣島縣賀茂郡阿賀町ノ一部	廣島縣安藝郡倉橋島村字本浦、音 戸町、渡子島村、江田島村字幸ノ 浦同村字宮ノ原、同村字大須、同 郡磐屋町、佐伯郡飛渡瀬村、三 高村、沖村、賀茂郡阿賀町、廣村	埋葬地ハ上記以外解除ノ難キ新現地ノ要員 狀ニテリ但レ要許可區域ト雖モ新ニ大地 域ヲ擴張スルモノヲ除クノ外ハ支障ナキ限 リ許可スル方針ナリ
同第十一條第二號			新現地ノ實狀ニ據リテ認メ自ラ解除セリ
第三號第五號及第 六號ニ掲クル事項		第一區全部	
同第十二條ニ掲ク ル事項	廣島縣佐伯郡三高村字三吉、安藝郡瀬 戸島村字瀬戸町磐屋村、和庄町、山 田村、吉浦村、宮原村、賀茂郡阿賀町 (字小倉新開ヲ除ク)	廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部 ヲ除クノ外第二區全部	能行場等ノ豫定地ニ近接セル上記ノ一部ヲ解 除セズ但レ支障ナキ限り許可スル方針ナリ
同第十三條ニ掲ク ル事項(舊來ノモ ノハ第二區ニ關ス ル事項ニ限ル)	廣島縣佐伯郡大野村ノ一部	第一區全部及廣島縣賀茂郡廣村及 阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全 部	全 右
	廣島縣佐伯郡大柿村、深江村、嚴島町	第二號中排水及瀧水ハ	

第三號第五號及第六號ニ掲クル事項		第一區全部	廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全部	飛行場等ノ豫定地ニ近接セル上記一部ヲ解禁セズ但シ左ノ限リ許可スル方針ナリ
同第十二條ニ掲クル事項	廣島縣佐伯郡三高村字三吉、安藝郡瀬戸島村字瀬戸町、警固屋村、和庄町、山田村、吉浦村、宮原村、賀茂郡阿賀町（字小倉新開ヲ除ク）	廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全部	第一區全部及廣島縣賀茂郡廣村及阿賀町ノ一部ヲ除クノ外第二區全部	令 右
同第十三條ニ掲クル事項（舊來ノモノハ第二區ニ關スル事項ニ限ル）	廣島縣佐伯郡大野村ノ一部	第二區中排水及瀧水ハ各區全部		
同第十五條ニ掲クル事項	廣島縣佐伯郡大野村、深江村、嚴島町中村、高田村、沖村、津久茂町、安藝郡渡子島村、倉橋島村但シ第一第二區ヲ除ク	第二區及第三區全部	解禁ノ個所ナシ	軍港規則ニ依リ大部分制限アルヲ以テ解禁事項ヲ上記、如ク局限ス
同第十五條第二號	廣島縣安藝郡和庄町、莊山田村、吉浦村、宮原村、賀茂郡廣村字長濱但シ第一區ヲ除ク	第二區及第三區全部	解禁ノ個所ナシ	新設地、實地、竹林、伐採、海軍用地以外支障ナシヲ以テ解禁示シ、告示セラルコトス
同第十五條中堆土開鑿	吳市	第二區及第三區全部	但シ永久棧橋ヲ除ク	從來モ軍港規則ニ依リ解禁シテアラサルヲ以テ解禁セズ但シ支障ナシ限リ許可スル方針ナリ
同第十六條道路、橋梁永久棧橋	廣島縣佐伯郡嚴島公園ノ一部	第二區及第三區全部	解禁ノ個所ナシ	永久棧橋ノ築造ハ海軍ノ關係大ナルヲ以テ解禁セズ但シ支障ナシ限リ許可スル方針ナリ
同第十七條第二項中攝影模寫錄取	第十四條ニ關スル事項及圖面添付ノ件			新設嚴島ノ西洋部ハ地帯外トシテ解禁ナシ
備考欄	新舊同様			此他ニ解禁ノ場所ナシ

0335



各二二一號其九



第一號

電報譯八月一日午前七時十分發

陸軍大臣宛 發信者第五師團參謀長

編二十二八月一日廣島灣要塞司令部ヲ廢止

シ殘務整理ヲ開始ス

陸軍

9680

客

二二一 其一〇

第六號

電報譯

八月一日 午前午後一時二分發

陸軍大臣宛

宛

發信者

第六師團長

本日豐豫要塞司令部開廳ス

陸軍

林

陸軍

第一五號

電報譯

八月一日

午前午後

五時

五十分

陸軍大臣宛

發信者第十二師團長

壹岐要塞司令部八月一日新設
セリ

陸軍省
15. 8. 4
午前11時
軍事課

陸軍省
15. 8. 2
午前午後

海軍省

海軍省
15. 8. 2
午前午後

陸

軍

8680

第五編第二三號

密

第一一〇號其一二

陸軍大臣 宇垣一成 殿

廣島灣要塞司令部廢止ノ件報告

大正十五年八月一日

第五師團長 牧

達

之

陸軍大臣 宇垣一成 殿

本年六月軍令陸乙第九號ニ依リ八月一日廣島灣要塞司令部ヲ廢止シ

残務整理ヲ開始セシム依リ報告ス

原書類ハ左記回覽中

工務

陸軍省
15. 8. 3.
午前 11 時
軍事課

陸軍

6680

豊豫要塞司令部開廳、件報告
大正十五年八月一日第六師團長福田彦助
陸軍大臣宇垣一成殿
豊豫要塞司令部八月一日開廳ス
右報告ス

第 二 一 一 三 號
二六七號

8. 時
15 午前
8. 時
午後

8. 時
午後

(納本松)

差

正

0400

密第一二一號一四

官房機密第六八〇號ノ二ニ依ル首題附屬地帶概

大正十五年八月五日

海軍次官 大角 岑 生

陸軍次官 畑 英 太 郎 殿

吳要塞地帶ニ關スル件

本件ニ關シ客月七日附官房機密第六八〇號ノ二ニ依ル首題附屬地帶概
見草圖中別圖ノ通改訂相成候條御承知置ヲ得度

右通知ス

追テ右訂正ハ當該要塞地帶第三區及其ノ外方區域ニハ影響ヲ及ササ
ルモノニ付申添候

別圖一葉添

軍事ノ第 50 號

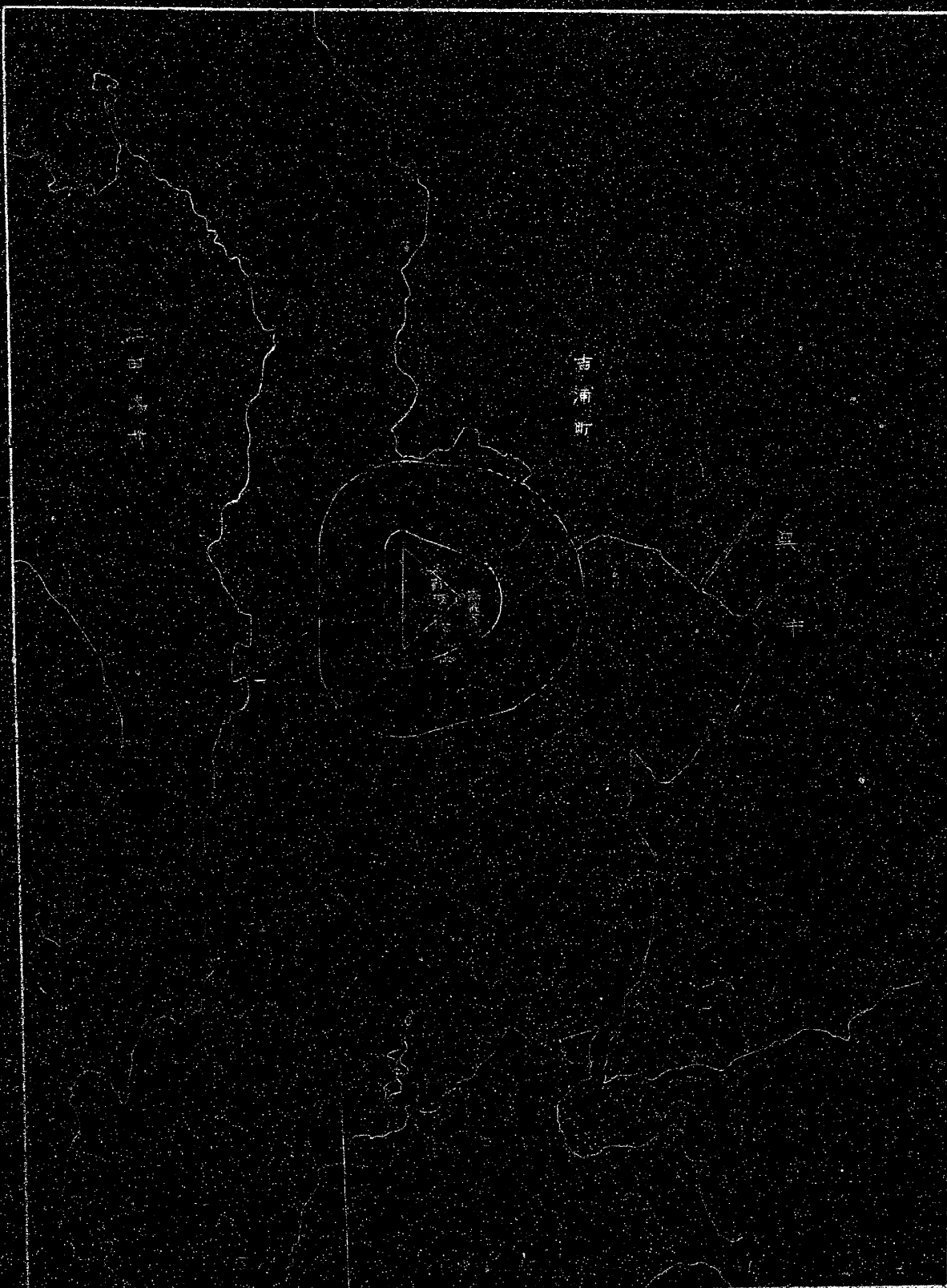
海軍 15. 8. 6. 午前 8 時 官房往復

海軍 15. 8. 8. 午前 8 時 工兵課

終

(別圖)

廣島藩附近史蹟地誌(座倉)(座園)(計三分)



一ノノち込尺端

2070

第一八四號

豐豫要塞防禦營造物引渡ノ件報告

大正十五年九月九日 築城部本部長 福井 策三

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

左記防禦營造物ハ其圖書ト共ニ八月十四日豐豫要塞司令官ニ引渡濟

ニ付報告ス

猶要塞地帶標識ハ其圖書並標識一部ノ引渡ヲ終リタルモ全部ハ九月下旬引渡完了ノ豫定

左記

豐豫要塞高島第二砲臺

同

第二觀測所



0403

同 同 同

火藥交庫
軍道
繫船場

上

上

密第一四一九六

甲第二一九號

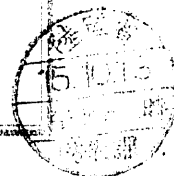
豐豫要塞地帶標識引渡済ノ件報告

大正十五年十月十二日

陸軍部本部長 福井 策

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

首領ノ地帶標識ハ九月二十四日當該要塞司令官ヘ引渡済ニ付報告ス



陸軍

0405

號第十四條ニ依リ報告ス

要塞司令部ハ大正十五年八月一日之ヲ廢止シ大正十五年十月三十日其ノ殘務整理ヲ完了セリ其ノ狀況別冊ノ通り陸密第一五七

陸軍大臣 宇垣一成 殿

大正十五年十二月三日 第五師團長 牧達之

第五編第四三號

密第三號其ハ

軍事密第五リ



倉
軍省



2070

変更ノ要旨

- 一、変更理由ハ海軍ニ於テ水中聴音器ヲ別圖ノ如ク設置セシムル
- 二、陸軍ノ防衛上何等影響有スル所ナシ
- 三、本区及甚外方区域ニ変更ヲ及ボサズ

陸密

海軍大臣へ回答

八月十一日附官房機密第八九二號ノニ照會ニ係
ル首題ノ件異存ナシ

三八九

八月廿三日



防備

0409

機密

陸軍第二一〇號其一九

八月十二日

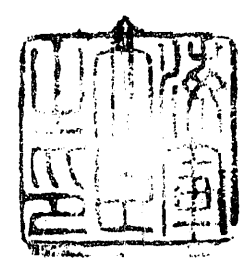
海軍

官房機密第八九ニ號

昭和二年八月十一日

海軍大臣 岡田 啓

陸軍大臣 白川 義則 殿



吳要塞地帯設定ニ關スル件

客年七月七日附官房機密第六八〇號ノ二ニ依ル首題ノ件附屬地帯概見草圖中防禦營造物設備ノ關係上別圖ノ通變更致度

右照會ス

追テ本改訂ハ當該要塞地帯第三區及其ノ外方區域ニ變更ヲ及サザルモノニ付爲念申添ス

終

0410

紙 箋 符

本件別圖	陸軍	昭和二
------	----	-----

海軍



此ノ件附屬地帶概
成

取ニ變更ヲ及サザ

終

0110



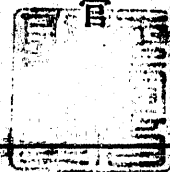
符 箋 紙

昭和二年八月十一日

陸軍省副官殿

海軍省副官

本件別圖ハ曩ニ送付済ニ有之候





アジア歴史資料センター

參謀總長ハ照會案

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り案致候條御
意見承知シタシ罷存ナクハ要領ニ在リテハ連
署ヲ以テ可仰 允裁 右照會ス

右罷存ナキ回答アリタル後

大臣參謀總長連署上奏案

壹岐及豐豫要塞司令官部新設松尾島灣要塞
司令官部廢止要領制定ノ件

壹岐及豐豫要塞司令官部新設松尾島灣要塞司
令官部廢止要領別紙ノ通り制定相成度理由書ヲ

陸軍省 陸軍部第一五五號 六月五日

具上謹テ奉仰 允裁候

右 允裁濟

臺政及豐豫要塞司令之部新設延廣島灣要塞
要塞司令之部廢止要領制定方施行ノ件

上 奏 案

臺政及豐豫要塞司令之部新設延廣島灣要塞
司令之部廢止要領制定ノ件 允裁相成候ニ
付テハ別紙軍令案ノ通之方施行ヲ命セラル
度謹テ奏ス

軍令案

(別紙ノ通)

軍令陸乙第九

號

大正九年
825

右公布ト同時

臺北及臺灣要塞司令全部新設駐廣島臺灣
要塞司令全部廢止要領細則規定件

陸軍(般)達案

(別紙ノ通)

一五七

部

大正九年

臺北及臺灣要塞司令全部新設廣島臺灣要塞司令全部廢止件

5/10

次官より海軍次官へ通牒案 陸軍

本年八月一日より以て臺北及臺灣要塞司令
部(位置)新設と同時に廣島湾要塞司令
部(位置)ヲ廢止セラル候條及通牒候也

參謀總長へ通牒案

臺北及臺灣要塞司令部新設廣島湾要塞司令部

廢止要領制定ノ件

表に連署シ以テ上奏シタル首題ノ件別紙ノ通 御裁
可相成リタルニ付通牒ス

追テ御裁可書ニ用濟返却セラレタシ

陸軍第一六〇號

陸軍

理由書

壹岐及豐後要塞建設作業進捗に伴ひ之カ戦備計
畫策定上壹岐及豐後要塞司令部ヲ新設シ廣
島灣要塞司令部ヲ廢止スルノ必要アルニ由ル

陸
軍

朕壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ス

御名御璽

攝政名

年月日

陸軍大臣

軍令陸乙第 號

壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領

第一條 大正十五年八月一日壹岐及豐豫要塞司令部新

設並廣島灣要塞司令部ヲ廢止ス但シ準備業務ニ必要ナルモノ

ハ其ノ以前ニ着手スルコトヲ得

第二條 廣島灣要塞司令部廢止、爲生シタル人馬ノ過
剩ハ豐豫及旅順要塞司令部並陸軍兵器廠ノ要員(定數)
ニ充當ス但^レ一時他部隊ノ定員外トシテ配屬シ逐次處理スルコト得
壹岐要塞司令部所要ノ人馬ハ必要ニ應^ジ逐次之ヲ配屬スルコ
トヲ得

第三條 要塞司令部、新設又ハ廢止管理官ハ當該所管長
官トス

第四條 本要領實施關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣、參謀總長
協議決定ス

陸密第一九號

壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止
要領細則規定付達

陸軍一般

壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要
領細則左ノ通定ム

十五年六月九日

陸軍大臣

壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部
廢止要領細則

第一條 大正十五年軍令陸乙第九號壹岐及豐豫要

塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領ニ關スル細部ノ事項ハ別ニ規定アルモノ外本細則ニ據ル

第二條 廣島灣要塞司令部ニ奉戴シタル御眞影（陸軍省
軍務局付シタル勅語勅諭寫）ハ廢廳後陸軍省
奉還シ陸軍省ニ返還）スルモノトス

壹岐及豐豫要塞司令部ノ爲新ニ御眞影ノ奉戴ニ關シテハ
管理官ヨリ陸軍大臣宛上申スルモノトス

第三條 廣島灣要塞司令部職員（下ニテ除ク）ノ配屬換ハ辭
令ヲ以テス

同部所屬ノ下士ハ附表第一ノ區分ニ依リ轉屬セシム

前項ニ依リ轉屬スル者ハ別ニ辭令ヲ用フルコトナク大

正十五年八月一日附ヲ以テ右轉入所管ニ命課セラレタル
モノトス

第四條 壹岐要塞司令部ノ要員（定數）ニ充當スヘキ人
馬ノ配屬ハ附表第二著手順序表ニ據ル

第五條 廣島灣要塞司令部廢止ニ伴フ殘務整理ノ爲
ニ管理官ハ所要ノ期間必要ノ人員ヲ殘置スルコトヲ得但
シ其ノ期間及人員ヲ豫メ陸軍大臣ニ報告スルモトス

第六條 廣島灣要塞司令部所屬ノ馬ハ其儘豐豫要塞司
令部ニ轉屬ス

壹岐要塞司令部新設ニ伴ヒ初度備附スヘキ馬ノ交付關
シテハ別ニ之ヲ指示ス

第七條 廣島灣要塞司令部保管兵器及兵器用物品ハ現状ノ儘陸軍兵器廠ニ返納スルモノトス但シ師團長管理動員用兵器並兵器用物品ニシテ豐豫要塞ニ於テ所要ノモノハ之ヲ司令部ニ移管スルモノトス
 師團長管理ノ^動部員用陣中事務用品等ニ關シテモ前項但書ニ準ス

廣島灣要塞司令部ノ下士ニシテ豐豫及旅順要塞司令部又ハ陸軍兵器廠ノ要員ニ充當セラレタル者ノ赴任ニ際シテハ赴任用刀劍ヲ使用スルモノトス

壹岐及豐豫要塞所要兵器ハ陸軍兵器廠ヨリ之ヲ支給ス

第八條 廣島灣要塞國防用土地及防禦營造物中陸

軍兵器廠ニ於テ必要ナルモノハ第五師團經理部ニ管轄
換ノ手續ヲ為シ其他ノモノハ各管轄者又ハ殘務整理者ニ於テ
陸軍省所管國有財産取扱規程第四十一條ノ取扱ヲ為
スモノトス但シ殘務整理期間ニ處分未了ノモノニ關シテハ別
ニ示ス

第九條 廣島灣要塞司令部保管ノ機密書類(重要ナル
祕密書類ヲ含ム)ハ目錄ヲ添ヘ之ヲ調製部隊長ニ返納
スルモノトス但シ豐豫要塞司令部築城部本部等ニ必要
ナルモノハ所管長官ニ於テ保管轉換ヲ為スコトヲ得
陸軍機密書類取扱規則第二十三條準シ

第十條 廣島灣要塞司令部保管ノ廳中備品圖書其ノ
他一般書類等ニシテ豐豫要塞司令部ニ必要ノモノハ

之ヲ同司令部ニ陸軍兵器廠ニ於テ返納ヲ受ケタル兵
器ノ管理上必要ナルモノハ之ヲ同廠ニ會計經理ニ關スル諸
書類ハ之ヲ第五師團經理部ニ其他特ニ他部隊ニ引
繼クヲ必要ト認ムルモノハ之ヲ當該部隊ニ引繼クモノトス
前項以外ノモノニシテ其處理ニ關シ特ニ規定アルモノヲ除ク
ノ外管理官所管内ニ於テ流用ヲ計リ尚過剩ヲ生スルト
キハ之^處カ所置ニ關スル意見ヲ具シ陸軍大臣ニ報告スル
モノトス

第十一條 新設要塞司令部所要ノ廳中備品圖書其他一般
書類等ニシテ前條ニ依リ廣島灣要塞司令部ノモノヲ以
テ充當スル以外ノモノハ管理官ニ於テ取纏メ成ル可ク速ニ

所要經費ヲ増額申請スルモノトス

前項ノ外要塞地帯ニ關スル書類ハ當該要塞司令部所在地築部支部ヨリ引繼キヲ受クルモノトス

第十三條 前諸條ニ依リ廣島灣要塞司令部ヨリ豊後要塞司令部ニ引繼キヲ行フ諸物件ノ船舶輸送ハ陸軍運輸部ニ依託スルコトヲ得

第十四條 本件ニ要スル經費ハ相當科目ノ支辨トシ合達豫算ニテ支辨シ難キモノハ其算出内譯書及事由ヲ具シ豫メ増額申請スルモノトス

第十五條 管理官ハ本規定ノ實施完了セハ其狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

附表第一

廣島灣要塞司令部下士轉屬區分表

所管	部	隊	區分	人員
第五師團	廣島灣要塞司令部	轉出	(計五ノ金)	一六
第六師團	豐豫要塞司令部	轉入	(計五ノ金)	一〇
關東軍	旅順要塞司令部	轉入		二
陸軍兵器本廠	廣島陸軍兵器廠	轉入		四
備考	關東軍へ轉出者ハ廣島灣要塞司令部殘務整理終了後出發スルモノトス			

附表第二

壹岐要塞司令部新設着手順序表

階級	區分	大 中 佐	大 中 尉	准 士 官	下 任 文 官 士	判 任 文 官	乘 馬	備 考
	大正十五年八月	一	砲兵部員ケ一 工兵部員ケ一	一	下任文官士ケ四 下判任文官ケ二	計 手 一		<p>一、本表中ノ数値者ハ築城部壹岐支隊職員ノ数ヲ示ス</p> <p>二、本表中「ハ」減ヲ示ス</p> <p>三、乘馬ノ配屬時期ハ別ニ之ヲ指示ス</p> <p>四、本表ノ中ノ「ハ」係「確立」ノ意ナリ</p>
	大正十六年八月		工兵部員ケ一	一	下任文官士ケ四 下判任文官ケ二	技 手 一		
	編制完結後ノ人馬	一		二	下士 計 手 ハ	一		

陸軍	
陸軍大臣 宇垣一成殿	
大正十五年六月十五日 參謀總長 鈴木莊六	
御裁可書返戻ノ件通牒	
一、壹岐及豊豫要塞司令部新設、廣島灣要塞司令部廢止要領制定ノ件	
右御裁可書用済ニ付返戻ス	

參謀本部 參密第六九三號第四

六月十五日



(小林又七印行)



陸軍

式 第百五十五號 其一 六月九日

本部

參密第六九三號第二

軍事部 第八分

(小林又七印行)

壹岐及豐豫要塞司令部新設並廣島灣要

塞司令部廢止要領同細則制定ノ件回答

大正十五年六月九日 參謀總長 鈴木 莊 六

陸軍大臣 宇垣 一成 殿



首題ノ件ニ關シ六月五日陸密第一五五號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ

陸

軍

0430

式一〇五五號

本城

軍機 五六

15. 12. 20
午前 9. 時
陸軍省

戦止防禦營造物竣功圖書引繼キニ關スル件報告

大正十五年十二月二十日 築城部本部長 福井 策

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

陸軍省
築城部

舊廣島灣要塞戦止防禦營造物竣功圖書ヲ別紙目錄ノ通十二月十五

日吳鎮守府司令長官引繼キシニ付九月二十三日陸普第三九七二號

ニ據リ報告ス

陸軍

機密圖書送付目録

大正十五年十一月十七日

築城部本部

調製年月日	番	號	件	名	一連番號部数
明治三十一年三月十六日	軍事機密吳乙	一號	吳淞港防禦鶴原山堡壘交通路竣工圖	竣工事記實實積算書竣工事附錄實驗錄	一
明治三十一年三月十六日	軍事機密吳乙	一號	鶴原山堡壘交通路竣工圖	(縱断面)	一
明治三十三年九月三十日	軍事機密吳乙	五號	吳淞港防禦鶴原山堡壘竣工圖	竣工書、實實積算書竣工附錄、實實驗錄	一
明治三十三年九月三十日	軍事機密吳乙	五號	鶴原山堡壘竣工圖	(應地平面)	一
明治三十三年九月三十日	軍事機密吳乙	五號	鶴原山堡壘竣工圖	(局部)	二
明治三十三年九月三十日	軍事機密吳乙	五號	鶴原山堡壘竣工圖	(断面)	一
明治三十三年九月三十日	軍事機密吳乙	五號	鶴原山堡壘竣工圖	(家屋、圖)	一
明治三十八年五月五日	軍事機密吳乙	五號	廣島海軍要塞鶴原山堡壘射擊指揮所竣工圖	竣工書	一

明治三十二年 三月十六日	軍事機密吳乙 六號	受津港防禦鶴原山堡壘連絡交通路(竣工記)實費積算書	一
明治三十一年 三月十六日	軍事機密吳乙 大號	鶴原山堡壘連絡交通路竣工圖(應地平面)	二
明治三十年 三月十六日	軍事機密吳乙 六號	鶴原山堡壘連絡交通路竣工圖(縱断面)	三
明治二十九年 四月十日	軍事機密吳乙 五號	廣島海軍憲兵隊司令部建築工事竣工圖	九
明治三十二年 四月十三日	軍事機密吳乙 參號	吳府憲兵大隊沙美島糧食支庫竣工圖(平面及断面圖)	二
明治三十三年 四月十三日	軍事機密吳乙 參號	吳府憲兵大隊沙美島砲臺竣工圖(應地平面)	八
明治三十三年 十月十七日	軍事機密吳乙 參號	大那沙美島砲臺竣工圖(交通路線)	九
明治三十三年 十一月十七日	軍事機密吳乙 參號	大那沙美島砲臺竣工圖(斷面)	〇
明治三十三年 十二月十七日	軍事機密吳乙 參號	大那沙美島砲臺竣工圖(斷面)	二

明治三十七年 一月十三日 軍事機密吳乙 八號	明治三十四年 九月七日 軍事機密吳乙 八號	明治三十四年 九月七日 軍事機密吳乙 八號	明治三十四年 九月七日 軍事機密吳乙 八號	明治三十五年 五月十九日 軍事機密吳乙 八號	明治三十五年 五月十九日 軍事機密吳乙 八號	明治三十八年 四月三十日 軍事機密吳乙 八號	明治三十二年 六月八日 軍事機密吳乙 八號	明治三十四年 十月十一日 軍事機密吳乙 八號	明治三十四年 十月十一日 軍事機密吳乙 八號
廣島港要塞 大野沙美島砲臺 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	吳要塞岸根鼻砲臺 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	岸根鼻砲臺竣工圖 (應地平面)	岸根鼻砲臺竣工圖 (應地平面)	吳要塞岸根鼻砲臺 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	岸根鼻砲臺竣工圖 (應地平面)	廣島港要塞岸根鼻砲臺 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	吳要塞岸根鼻砲臺 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	吳要塞三高山堡壘 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事	三高山堡壘竣工圖 (應地平面)
二九	二	二	三	二〇	二二	二七	二	二〇	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

明治三十四年 十月十一日 軍事機密吳乙 老八號	三高山堡壘竣工圖 (斷面)	一三	一
明治三十四年 十月十一日 軍事機密吳乙 老八號	三高山堡壘竣工圖 (斷面)	一三	一
明治三十六年 六月三十日 軍事機密吳乙 老八號	廣島海軍要塞三高山堡壘補助觀測所建築竣工圖 (斷面)	一四	一
明治三十六年 十月四日 軍事機密吳乙 老八號	廣島海軍要塞三高山堡壘外砲臺竣工圖 (斷面)	一三	一
明治三十四年 六月六日 軍事機密吳乙 老九號	吳軍塞大君低砲台交通路竣工圖 (應地平面)	一	一
明治三十四年 六月六日 軍事機密吳乙 老九號	大君低砲臺交通路竣工圖 (斷面)	一三	一
明治三十四年 一月十日 軍事機密吳乙 老五號	吳軍塞大君低砲臺竣工圖 (應地平面)	一	一
明治三十四年 一月十日 軍事機密吳乙 老五號	大君低砲臺竣工圖 (斷面)	一三	一
明治三十五年 五月十日 軍事機密吳乙 老五號	吳軍塞大君低砲臺模樣替竣工圖 (斷面)	一七	一

明治三十五年 五月十日 軍機密吳乙 第五號	大君低砲臺模樣替竣功圖		八	一
明治三十五年 四月二十日 軍機密吳乙 第六號	呂軍港防衛早瀬堡壘交通路竣功書 附錄 實貨精算書		二	一
明治三十五年 四月十日 軍機密吳乙 第七號	早瀬堡壘交通路竣功圖 (應地手回)		二	一
明治三十五年 四月十日 軍機密吳乙 第八號	早瀬堡壘交通路竣功圖 (斷面)		三	一
明治三十五年 三月二十八日 軍機密吳乙 第九號	早瀬堡壘交通路準線變更圖 竣功書、竣功精算書 竣功書附錄、實貨精算書		一	一
明治三十五年 四月二十日 軍機密吳乙 第十號	吳要塞早瀬第一堡壘 竣功書、竣功精算書 竣功書附錄、實貨精算書		一	一
明治三十五年 四月三十日 軍機密吳乙 第十一號	早瀬第一堡壘竣功圖 (應地手回)		二	一
明治三十五年 四月三十日 軍機密吳乙 第十二號	早瀬第一堡壘竣功圖 (斷面)		三	一
明治三十五年 四月三十日 軍機密吳乙 第十三號	早瀬第一堡壘竣功圖 (斷面)		四	一
明治三十五年 一月十日 軍機密吳乙 第十四號	吳要塞早瀬堡壘 竣功書、竣功精算書 竣功書附錄、實貨精算書		二	一
明治三十四年 一月十日 軍機密吳乙 第十五號	早瀬第二堡壘竣功圖 (應地手回)		二	一

明治三十四年 一月十日 軍事機密吳乙 第四號	早瀬第二堡壘竣工圖 (断面圖)	竣工書、竣工書附録、竣工積算書	三	一
明治三十五年 五月五日 軍事機密吳乙 第七號	吳要塞休石砲臺		一	一
明治三十五年 五月五日 軍事機密吳乙 第七號	休石砲臺竣工圖 (應地平面)		二	一
明治三十五年 五月五日 軍事機密吳乙 第七號	休石砲臺竣工圖 (兵舎)		八	一
明治三十六年 五月二日 軍事機密吳乙 七號	廣島海軍塞休石砲臺交通路及兵舎電燈建築 (竣工書、竣工積算書)		二	一
明治三十六年 五月二日 軍事機密吳乙 七號	休石砲臺交通路同電燈所竣工圖 (應地平面)		二	一
明治三十七年 五月二日 軍事機密吳乙 七號	休石砲臺交通路同電燈所竣工圖 (諸建物)		二	一
明治三十七年 五月二日 軍事機密吳乙 七號	吳要塞高島堡壘建築 (竣工書、竣工積算書)		一	一
明治三十五年 十月五日 軍事機密吳乙 八號	高島堡壘竣工圖 (應地平面)		二	一
明治三十五年 十月五日 軍事機密吳乙 八號	高島堡壘竣工圖 (断面圖)		三	一
明治三十五年 十月五日 軍事機密吳乙 八號	高島堡壘竣工圖 (諸建物)		四	一

明治三十五年 三月八日 軍事機密 第八號 廣島海軍要塞空山堡壘建築	明治三十五年 三月七日 軍事機密 第八號 大空山彈丸本庫及炸藥庫實所竣工圖	明治三十五年 三月七日 軍事機密 第八號 吳要塞空山彈丸本庫及炸藥庫實所建築竣工圖	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 大空山堡壘交通路竣工圖	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 吳要塞大空山堡壘交通路建築竣工圖	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 警固屋補助建物竣工圖(彈丸本庫)	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 警固屋補助建物竣工圖(火藥庫)	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 警固屋補助建物竣工圖(應地庫)	明治三十五年 三月十日 軍事機密 第八號 吳要塞警固屋補助建物建築竣工圖	明治三十七年 九月七日 軍事機密 第八號 廣島海軍要塞高島堡壘射擊指揮所建築竣工圖	明治三十七年 三月五日 軍事機密 第八號 高島堡壘竣工圖
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 大空山堡壘竣工圖 (應地平面) 一四	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 大空山堡壘竣工圖 (新應地平面) 一五	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 大空山堡壘竣工圖 (建物、圖) 一六	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 大空山堡壘竣工圖 (建物、圖) 一七	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 廣島要塞空山堡壘修繕 仕法書 一八	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 廣島要塞空山堡壘修繕 竣工功圖 一九	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 吳軍港防禦豪頭鼻電燈 竣工功圖 二〇	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 豪頭鼻電燈竣工圖 (應地平面及断面) 二一	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 豪頭鼻電燈竣工圖 (機関舎平面及断面) 二二	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 吳要塞大君電燈建築 竣工功圖 二三	明治三十七年 三月八日 軍機密吳乙 參。號 大君電燈竣工圖 (應地平面) 二四
--	---	--	--	---	--	--	---	--	---	---

明治三十九年 十月十一日 軍事機密吳乙 第一號	吳軍港防禦豪頭鼻雷燈交通路 竣工書、安費精算書 竣工書附錄、安費精算錄	一
明治三十九年 十月十一日 軍事機密吳乙 第一號	豪頭鼻雷燈交通路竣工圖（應地平面及断面）	二
明治三十九年 六月一日 軍事機密吳乙 第一號	明治三十八年戰備作業物竣工圖	二

秘密圖書送付目録

大正十五年十月三十日

築城部本部

圖製年月日	番號	件	名	一連番號	部數
明治三十五年 六月二十七日	第秘廣乙八號	吳要塞早瀬第一堡壘炊事場	竣工功圖	二	一
明治三十五年 六月二十七日	第秘廣乙八號	早瀬第一堡壘炊事場	竣工功圖	二	一
明治三十五年 十月十八日	第秘廣乙老號	吳要塞早瀬堡壘交通路第三部	竣工功圖	二	一
明治三十五年 十月十八日	第秘廣乙老號	早瀬堡壘交通路第二部	竣工功圖(應地平面)	二	一
明治三十五年 十月十八日	第秘廣乙老號	早瀬堡壘交通路第二部	竣工功圖(断面)	二	一
明治三十四年 四月十六日	第秘廣乙老號	吳要塞大那沙美島砲臺砲具庫彈庫	竣工功圖	二	一
明治三十四年 四月十六日	第秘廣乙老號	大那沙美島砲臺砲具庫彈庫	竣工功圖	二	一
明治三十五年 五月二日	第秘廣乙老號	吳要塞大那沙美島砲臺	竣工功圖	五	一

明治三十五年 五月三日	第 種	廣乙 志貳號	大郡美島砲臺裝藥庫所及炸藥庫所增改築工事同圖	五	一
明治三十六年 二月二十七日	第 種	廣乙 老貳號	吳軍塞大郡沙美島砲臺彈室増築	八	一
明治三十六年 二月二十七日	第 種	廣乙 志參號	吳軍塞根岸單砲臺彈室増築功書	二	一
明治三十五年 五月十四日	第 種	廣乙 老五號	吳軍塞三高山堡壘炊事場	二	一
明治三十五年 五月十四日	第 種	廣乙 老五號	三高山堡壘炊事場竣工圖(應地平面及断面)	二	一
明治三十五年 五月十四日	第 種	廣乙 老五號	吳軍塞三高山堡壘裝藥制製所	五	一
明治三十五年 五月十四日	第 種	廣乙 老五號	三高山堡壘裝藥制製所竣工圖(應地平面及断面)	五	一
明治三十八年 五月六日	第 種	廣乙 老五號	廣島灣軍塞三高山堡壘掘井工増設	八	一
明治三十四年 土月四日	第 種	廣乙 老六號	吳軍塞高島堡壘交通路	二	一
明治三十四年 三月四日	第 種	廣乙 老六號	高島堡壘交通路竣工圖	二	一
明治三十六年 三月十日	第 種	廣乙 老九號	吳軍塞鶴原山堡壘彈室増築	五	一

明治三十四年 七月三十日	明治三十四年 七月三十日	明治三十四年 七月三十日
第 九 號	第 九 號	第 九 號
廣 島 縣 警 署 國 庫 貯 蓄 倉 庫	廣 島 縣 警 署 國 庫 貯 蓄 倉 庫	廣 島 縣 警 署 國 庫 貯 蓄 倉 庫
功 功 功	功 功 功	功 功 功
二	二	二
一	一	一

陸

軍

機密圖書送付目録

大正十五年十月三日

築城部本部

調製年月日	番	號	件	名	番號連部教
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第四號	號	大那沙美島砲臺履歷	二	一
明治四十五年 二月三日	廣軍工機 第五號	號	岸根鼻砲臺履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第六號	號	鷄原山堡壘履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第七號	號	三高山堡壘履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第八號	號	大君低砲臺履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第九號	號	早瀬第一堡壘履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第一〇號	號	早瀬第二堡壘履歷	二	一
明治四十五年 三月三日	廣軍工機 第一一號	號	依石砲臺履歷	二	一

0444

明治四十五年 三月二十日	廣安工機 第一二號	高島堡壘履歷	ニ	一
明治四十五年 三月二十日	廣安工機 第一三號	大空山堡壘履歷	ニ	一
明治四十五年 三月二十日	廣安工機 第一五號	豪頭鼻電燈履歷	ニ	一
明治四十五年 三月二十日	廣安工機 第一六號	大君電燈履歷	ニ	一

秘密圖書送付目録

大正十五年十月十七日

築城部本部

調製年月日	番	號	件	名	一連部數
明治四十五年 三月二十五日	秘第	貳號	大那沙美島補助建設物履歷	名	一
明治四十五年 三月二十五日	秘第	四號	警固屋補助建設物履歷	名	一
明治四十五年 三月二十五日	秘第	七號	鶴原山堡壘交通路履歷	名	一

陸

軍

決裁指定

[illegible]

軍事公第
二號

行後圓
變譯名

陸軍
15. 9

副官より築城部本部長へ通牒

六月三十日附甲第一四〇號ヲ以テ同出ニ係ル首
題ノ件ニ関シテハ左記ノ通處理相成度依命
通牒ス

左

記

三九七二

歸

一、海軍省ニ對シテハ總テ軍事機密書類トシ

テ引継クコトヲ得但シ配附後目錄ヲ添ヘ報

告スルモノトス

二、第五師團經理部ニ對シテハ砲台、電燈衛

兵以外ノモノヲ一般書類トシテ引継クコトヲ

得但シ吳要塞地ノ地形ヲ描画シアルモノハ

板窓ノ取扱ヲナスコトヲ要ス

三内務省ニ對シテハ特ニ要求アリタル場合砲
台以外ノ防禦營造物竣工必中地形ノ
描画ナキモノニ限リ引継クコトヲ得

陸
軍

式百五三

甲 一七



廢止防禦工事遺物後功
圖書引継

明治十五年七月三十日

築城部本部長 福井策三

陸軍大臣 宇垣一成殿

廣島の防禦要塞防備を爲す遺物
二階に後功圖書をモ共ニ
引継ぎ支ナキヤ指示セラル

陸軍

0450

以第一〇五五號三

甲第一四〇號

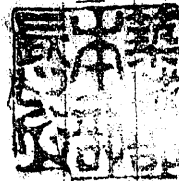
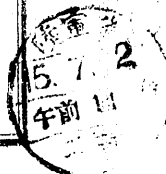
廢止防禦營造物竣功圖書引繼ノ件伺

大正十五年六月三十日 築城部本部長 福井 策 三

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

廣島灣要塞防禦營造物移管ニ際シ竣功圖書モ共ニ移管部隊ヘ引繼

キ差支ナキヤ指示セラレ度



陸軍

0451

廣島海軍
司令部
陸軍部
陸軍大臣
宇垣 一成

0452

一九二五

式

五五五

四

軍事部第五〇號

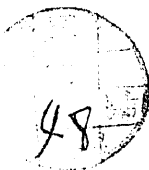
一八八東一

豐豫要塞司令部新設ニ關スル狀況
報告書提出ノ件報告

大正十五年十月二十日 第六師團長 福田 彦

陸軍大臣 宇垣一成殿

大正十五年六月九日陸密第一五七號第十四條ニ
基キ首題ノ報告書ヲ提出ス



手記
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

其答ニ謝テ

一、
我科考番ニ概テ九月中ニ
格納シ終リ

二、
格納シ終リ九月中ニ整理完了

三、
整理完了後存分考テ受領シ九月

0454



豐豫要塞司令部新設ニ關スル狀況報告書

大正十五年十月十二日
豐豫要塞司令部調製

5260

配賦区分		配賦先		配賦先	
配賦先	部数	配賦先	部数	配賦先	部数
第六師團長(皇出)	2	陸軍省防備課	1	陸軍省防備課	1
第五師團長	1	東原少佐	1	東原少佐	1
兵器本廠長	1	豫備	5	豫備	5
築城部本部長	1				
計	拾貳部				

0456

豐豫要塞司令部新設ニ関スル狀況報告目次

第一 一般狀況
第二 新設ニ関スル準備狀況

其 一 一般狀況

其 二 人馬

其 三 機秘密書類

其 四 地帶業務

其 五 兵器及兵器用物品

其 六 國防用土地防禦營造物同附屬物件

其 七 廳中備品圖書

其 八 經理

第三 新設ニ関スル實施狀況

其 一 一般狀況

一 三 三 五 六 六 七 八 九 十 十一 十一

第四

將來關心意見及參考事項

其八	經理	十八
其七	廳中備品圖書	十七
其六	國防用土地防禦營造物同附屬物件	十六
其五	兵器及兵器用物品	十五
其四	地帶業務	十四
其三	機秘密書類	十四
其二	人馬	十一

附表第一	豐豫要塞保管兵器整備一覽表	二十一
附表第二	豐豫要塞保管兵器用物品整備一覽表	二十一
附表第三	兵器引継書類目錄	二十一
附表第四	防禦營造物引継一覽表	二十一

附表第五

地防禦營造物引繼伴つ書類一覽表

附表第六

工兵科物品整備一覽表

附表第七

地帶業務書類引繼目錄

附表第八

豐豫要塞揚行兵器及物品數量明細表及

宇品船舶搭載計畫

附表第九

新設業務日課豫定表

附表第十

新設業務實施表

附錄第一

整理會議就于司令官司令部職員與之指示

附錄第二

廣島灣要塞司令部廢止並豐豫要塞司令部新設

業務關し打合せ決議錄

附錄第三

豐豫要塞司令部新設關し規定

附錄第四

豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部

0459

廢止業務ニ關スル規定

豊豫要塞司令部新設ニ関スル状況

第一 一般状況

豊豫要塞司令部新設線運濃厚トナルヤ大正十五年六月十日ヨリ三日間廣島灣
要塞司令部ニ各關係主任者集合諸般打合せヲ行ヒ又六月二十四日第六師團
參謀來廣セラレ新設關スル諸種ノ打合せヲ行ヒ業務上多大ノ便宜ヲ得タリ
爾後之ヲ打合せノ決議ニ基キ着々準備ヲ行ヘリ

附記

大正十五年六月九日軍令陸乙第百九號及陸密第一五七號ヲ以テ壹岐及豊
豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領^{陸軍要領及同細則}
則^{陸軍要領及同細則}略稱スルヲ發布セラル

次ニ第六師團長ヨリ豊豫要塞司令部新設ニ關スル規定ヲ達セラレタルヲ以テ司
令官ハ更ニ詳細ニ新設ニ關スル規定ヲ定メ以テ業務施行ニ關シ準繩ヲ與ヘタリ
右如シテ概ネ六月中ニ諸準備完了セシヲ以テ七月以後經費ノ許ス範圍内ニ於テ

一部員施行此間亦工長死亡、豐豫要塞携行兵器關し兵器庫敵下、
 交渉、遅延、經費増額令達、遅延等若干、豫期ヤル故障アリモ各職員、奮勵努
 カ依リ概々順調ニ新設業務實施スルヲ得タルハ本職誠ニ欣幸トスル所ナリ
 尚新設業務關し陸軍省及第六師團司令部職員、適切指導及援助、兵
 器庫敵、築城部本部、陸軍運輸部、兵務部、豐豫支部等、大ナル援助ヲ蒙リテ
 是ニ對シ深甚、謝意ヲ表ス
 新設關し行へル諸事項、整備附表第一乃至第八、如シ

第二 新設關の準備状況

其一 一般状況

一、大正十五年四月以下凡大正十五年四月より新設曙光ヲ認メ着々之ヲ準備シ着手シ時々司令部

職員會議ヲ行ヒ又非公式ニ關係部外ト連絡ヲ取リ銳意進捗ヲ圖シ

二、六月一日司令部司令部職員ニ對シ附録第一「整備會議ニ就テ司令部司令部職員ニ與フル指示ヲ與ヘ職員ヲ督勵スル所アリ

三、六月十日ヨリ三日間第五師團長主宰ノ許ニ關係者廣島灣要塞司令部ニ集合シ諸般打合せヲ行ヘリ該打合せニ於テ決議セシ事項附録第二「廣島灣要塞司令部廢止並豊豫要塞司令部新設業務ニ關スル打合せ決議録」如シ

四、六月十四日第六師團參謀陸軍歩兵大尉山路秀男來廣島第五師團參謀陸軍歩兵大尉岩永旺及要塞司令部職員全部ト新設ニ關シ打合せヲ行ヘリ

五、右打合せノ結果六月十六日第六師團長ヨリ附録第三「豊豫要塞司令部新設ニ

關する規定ヲ達セラル

六、六月三日要塞司令官ハ附錄第四「豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部
廢止業務關する規定」ヲ調製シ業務實施ニ關シ準繩ヲ與ヘタリ

七、七月六日廣島灣要塞司令部附主計ヲ第六師團司令部ニ派遣シ新設業務ニ關
シ打合せヲ行ハシメタリ

八、七月二十九日要塞副官及所要下士以下ヲ佐賀關町ニ派遣シ築城部豐豫支部ト連
繫セシメ諸般ノ準備ヲ行ハシメタリ

九、八月一日大分縣佐賀關町築城部豐豫支部内ニ豐豫要塞司令部ノ事務ヲ開始ス

十、八月三日豐豫要塞司令官ハ參謀砲兵部員主計ト共ニ豐豫要塞司令部ニ
到着ス

十一、八月四日要塞司令官ハ職員同ヲ集メ創業ノ難事ニ打勝ツ爲メ最大ノ努力ヲ
要スル旨訓示ス

十二、八月六日築城部豐豫支部長ト引繼ニ關シ打合せヲ行ヒタリ

十三、八月七日司令官第六師團司令部出張新設關に打合セヲ行フ
 十四、新設業務ニ関スル日課豫定表附表第加其一二乃至其三如シ

其二人馬

一、將校下士

細則ニ依リ豐豫要塞司令部ニ轉属スヘキ者ヲ詮議シ之カ意見ヲ七月十三日
 第五師團長ニ上申セリ右内下士ノ選ハ本ノ希望、健康狀態、家庭ノ狀況
 各人ノ素質等ヲ顧慮シ數次慎重審議シ決定セリ但シ現ニ高島ニ勤務中ノ砲
 臺監守ハ六月十日打合セニ於テ兵隊不敏主任者ト協議上豐豫要塞司令部
 ニ轉属スルコトニ協定シ六月十八日付者七月三十日附ヲ以テ相互配属換件第五
 師團長ニ上申セリ

二、雇傭人

雇傭人ハ新設ト共ニ新ニ雇傭スルコトニ定メアリシカ馬丁三名職工二名ハ豐豫要塞引
 繼キ雇傭ヲ希望シ本年三月他ノ雇傭人整理ノ際整理シテラサリシヲ以テ陸軍省ニ

五

申請上引續き雇傭スルコトセリ

又現ニ築城部豊豫支部ニ勤務中ノ職工ニ名ハ六月十日ノ訂合セニ於テ兵隊本隊
協定シ豊豫要塞司令部ニ於テ引継雇傭スルコトニ定メタリ

其他雇傭人凡テ豊豫要塞司令部新設ト共ニ該地ニ於テ雇傭スルコトセリ

三、乘馬

乘馬ハ廣島灣要塞ノモラ摩連スルコトナリタルヲ以テ之ヲ輸送ハ汽車ニヨルコトシ
馬丁豊豫到着後到着スル如ク準備ヲ行ヘリ

其、三 機秘密書類

機秘密書類ハ豊豫要塞所要ノモノハ保管轉換手續ヲ取ルコトシ之ヲ輸送ハ兵隊
其他物品共ニ八月八日物品出帆ノ船舶ニ依ルコトシテ概不七月上旬ニテ準備ヲ行ヒ七
月八日第五師團長ニ保管轉換方上申セリ

其、四 地帯業務

八月六日築城部本部長ヨリ豊豫要塞ノ地帯標識及之ニ附随スル圖書ヲ築城部豊豫

支部長より引渡り受へる通牒に接し依り同日該支部長と協議し受領し存じたり
スルコトに定まり

八 書類八月七日引継ぎ事

2. 地帯標識先づ書類上より引継ぎ第一地帯標識八月中に現地踏査し其他の時
機を見たり現地踏査スルコト

其五 兵器及兵器用物品

一 六月十日、廣島に於て打合し結果廣島清要處保管戰備用兵器中豊豫
要處所要モノハ兵器本廠に依託しヨリ動員用兵器ト共ニ豊豫要處に携行スルコト、
ナリシヲ以テ爾後之ヲ準備ヲ行ヒ概ネ七月中に完了シタリ而シテ之ヲ輸送ハ廳中備
品其他圖書等ト共ニ陸軍運輸部、船舶に依ルコト、シ宇品に於て集積ハ運輸部
構内に在リ宇品糧秣支廠倉庫ヲ借用シ砲兵兵器、工兵科所管モノ及其他モノト
劃然區分集積スルコト共ニ八月八日宇品出帆ト豫定シ準備ヲ行ハリ

二 右準備中斯加式九速加二門ハ廣島陸軍兵器支廠に撤去シ宇品に集積し爾後ノ

運搬ヲ要塞司令部ヲ担任ス事ニ協定アリシヲ七月七日右撤去及豊豫ハ運送モ凡テ
 廣島陸軍兵器支隊ヲ担任スコト又同日兵器本廠長ヨリ兵器表改正ノ關係上
 應式測速機五箇及洗滌用脚筒四箇ハ豊豫要塞ニ携行セラルコト通牒ヲ受ケリ
 三、右携行兵器ノ豊豫ニ於テ格納場所ニ關シハ六月十日ノ打合セニ於テ大体協定シテリ
 又八月五日築城部豊豫支部主任者ト現場ニ於テ打合セ協定セシメタリ
 四、豊豫要塞現存兵器ノ引継ニ關シ八月六日兵器本廠長ニ照會セシ結果八月二十日左記
 兵器ノ出納通牒ヲ受ケルヲ以テ之カ引継ヲ九月下旬ト豫定セリ

左記

高島砲臺据付火炮 及同砲臺屬品一組

佐田岬砲臺据付火炮

但シ佐田岬防禦管造物ハ築城部本部カ引継ヲ行ハサルヲ以テ火炮保管格納ニ要ス防禦
 管造物備用會ニ呈呈築城部本部ニ照會シ其承認ヲ得テ九月下旬ト豫定ヲ變更セリ

其六 國防用土地及防禦管造物並同附屬物件

豊豫要塞於ケル國防用土地及防禦管造物並同附屬物件引継し八月六日築城部
本部長ヨリ左記要旨ノ通牒ヲ受ケ

在高島防禦管造物（通信網ヲ除ク）及之ニ附随スル竣功圖書、領土並國有財産
彙帳、築城部豊豫支部長ヨリ引継コト

右通牒ニ基キ同日築城部豊豫支部長ト協議シ受授日時ヲ八月十四日豫定セリ

其七 彙中備品、圖書

一 豊豫要塞所要、彙中備品其大部ヲ廣島湾要塞ヨリ引継テ不足分ハ新調スル
コト、シテ諸般準備ヲナセリ而シテ廣島湾要塞ヨリ携行スルモノハ或ルハ加修シ新調
ヲ要スルモノ一部廣島ニ於テ新調携行スルコトヲ準備ナセリ

二 右携行彙中備品ハ兵器類ト共ニ八月八日宇品出帆スルコトヲ準備ヨリ又豊豫
要塞新設當初必要モノハ築城部豊豫支部長ヨリ借用スルコトニ協定セリ

三 圖書亦大部ヲ廣島湾要塞ヨリ引継キ彙中備品ト同船ヨリ豊豫ニ携行スルコト、
シ之ヲ準備亦概ネ七月中旬完リセリ但シ新設當初必要モノハ最少限度ニ於テ八月日

迄ニ豊豫ニ到着スル如クセリ

其ハ 經理

新設ニ要スル經費ハ八月一日以後大正十六年三月盡日ニ至ルハヶ月分ヲ經常費ト臨時費トニ分ケ共ニ第六師團長ニ増額申請スルコトニ概テ四月以降廣島灣要塞廢止ト關聯研究シ爾後六月十日訂合セヨリ更ニ慎重詳細ニ算出シ尙有六ヨリ主計ヲ第六師團經理部ニ派遣打合せヲ行ハシメ以テ増額申請手續ヲナシヨリ
右算出ニ關シテハ築城部豊豫支部ト連絡シ同支部從來ノ状況ヲ參酌シテリ

第三 實施狀況

其一 一般狀況

新設業務廢止業務此レ單簡ナリト某城部豐豫支部ノ多大ニ援助ナリ諸事
概シテ順調ニ豫定ノ如ク進捗セリ其業務實施表附表第廿其ノ至其四ノ如シ
而シテ主ル新設業務ハ九月盡日ヲ以テ一段落ヲ告ケナリ

其二 人員

一、將校

將校ハ豫テ上申セシ如ク八月百附ヲ以テ豐豫要塞司令部新設ト共ニ左ノ補職セシメリ

豐豫要塞司令部	陸軍少將	弘中 曉
同 參謀	陸軍砲兵少佐	渡邊 正天
同 副官	陸軍歩兵大尉	小杯 秋天
豐豫要塞司令部部員	陸軍砲兵少佐	松尾 喜助

二准士官、技手、下士

豊豫要塞司令部部員
豊豫要塞司令部第兵隊本廠
廠員、築城部本部附

陸軍工兵大尉
陸軍一等主計

坂本 十二
森 樹
塩田 鼎

准士官、技手ハ豫テ上申セル如ク下士亦細則附表第三ヨリ配属ヲ準備上由セル如ク付
一日附ヲ以テ在ノ如ク任命セラレリ

豊豫要塞司令部附

陸軍工兵上等工長

鎌倉 金正

陸軍砲兵上等工長

塩飽 栗大

陸軍工兵曹長

井上 辨治

同

嘉名 金四郎

陸軍砲兵曹長

恩藤 安太

同

水田 耕作

陸軍砲兵軍曹

藤井 立雄

同

山崎 嶋五郎

三、雇傭人

同 同 同 同 同

陸軍砲兵等火長 越智 通章
同 関東 肇
陸軍兵等不工長 迫奥 義尾
陸軍一等計手 山田 惣一
陸軍 技手 篠原 義志

馬丁三名、職工一名、廣島灣要塞司令部より引継ぎ雇傭し、何れも佐賀関於て傭入せり、但し職工二名は六月十日決議に基き現に熊本城部豊豫支部に在勤中、モより引継傭入せり

右、内馬丁一名は八月六日乗馬二頭斃死せし、付八月十二日解傭せり

四、乘馬

乗馬凡そ廣島灣要塞司令部より其儘牽運スルコトニ細則より定メラレタル以て七月三十日廣島驛發、同月三十日豊豫に汽車輸送せし、内二頭ハ輸送中ノ疲勞ト

暑氣タムコロア怪肺炎ヲ發シ八月六日遂ニ斃死セリ之ヲ補充ハ直ニ申請シタルモ
本年十二月補充セラル、豫定ナリ

其三 機秘密書類

一、廣島灣要塞司令部ヨリ豊豫要塞司令部ニ引継クモノ第五、第六師團長ニ保
管轉換、上申ヨリ豫定、如八月八日、宇品出帆、兵隊其他ノモノト共ニ船舶輸送ニヨリ八月
九日佐賀關着、爾後之ヲ荷揚ケ、開梱、整理員數點檢ヲ行ヒ九月十日迄之ヲ整理ヲ
完了セリ

二、築城部豊豫支部ヨリ引継クモノ機秘密書類八月二十日引継ヲ完了シ同月三十一日築
城部本部長ニ通報スルト共ニ師團長ニ報告セリ

其四 地帯業務

一、豊豫要塞地帯ニ關スル書類ハ豫定、如ク築城部豊豫支部ヨリ八月十日引継ヲ受ケ
同日ヨリ地帯業務ノ事務ヲ開始セリ其引継書類附表第七ノ如シ

二、現地踏査、築城部豊豫支部主任者ト共ニ左ノ日次ニ於テ實施セリ

八月十六日

八月三十五日

八月三十日

佐賀關地區第一地帯

佐田岬地區第一地帯

佐賀關地區第二地帯

九月六日

同 第三地帯

九月十四、十五日

佐田岬第三地帯及區域

九月二十二、二十三日

佐賀關地區ノ區域

其五 兵器及兵器用物品

一 廣島海要塞ヨリ豊豫要塞ニ携行セラルハ廳中備品其他ノ物品共豫定ノ如ク八月八日宇品出帆、運輸部船舶(五百噸來多一隻)ニ搭載シ九月九日佐賀關着、内國通運會社ヨリテ荷揚ケ及運搬ヲ請買實施セシメ十月以テ終了、爾後之ヲ開梱、格納及一部ノ手入ヲ實施シ概ネ九月中應急手入格納ヲ終了セリ

右豊豫要塞携行物件(附表第八参照)ノ宇品ニ於テ搭載ハ陸軍運輸部棧橋ヨリ借用シ明治運送會社ヨリテ請買ハシメ附表第九計畫表ノ豫定ナリシモノ夫數

過少ナル爲メ夜間作業ヲ續行シ辛クテ二日間ニ完了セリ

十六

佐賀關於元荷揚々運搬ハ内國通運會社ヲシテ請買ハシメ荷揚場ハ別設
備セズ佐賀關町役場久原製鍊所警察署ト交渉シテ荷揚場トシ約
百坪空地ヲ準備シ在來岸壁ニ來多ヲ横着シ起重機一機及人力ヲ豫定
如ク一日間ヲ荷揚々實施セリ荷揚後司令部ハ運搬ハ荷馬車十臺ヲ使用セ
シモ一往復約一時間半ヲ要セルト馬車數僅少ナル爲メ二日間ヲ要セリ

二、又廣島陸軍兵器支廠ヨリ發送セシ新加式九連加二門八月三日高島於テ受領
シ之ヲ整理亦概々九月中ニ完了セリ

三、豐豫要塞現存兵器受授ハ八月三日兵器本廠長ヨリ出納通牒ニヨリ高
島地區兵器八月七、八日築城部豐豫支部主任者立會シ上現地於テ受授シ
佐田地區兵器八月三日受授ヨリ也

四、前項引継兵器附帶元引継目錄附表第ニ如キ

其六、國防用土地、防禦營造物及同附屬物件

一 八月六日總務部本部より通牒ニ基キ在高島防禦管造物(通信網ヲ除ク)ハ八月

十四日司令官自ら築城部豊後支部長ト共ニ現場於テ受渡ヲ實施セリ

二 前項附帶言類ハ八月三日受渡ヲ完了セリ其目錄附表第五ニ如シ

三 地帯標識ハ築城部豊後支部主任者ト共ニ在日時於テ現地ヲ踏査シ引継ヲ受ケリ

八月十六日

佐賀關地區第一地帯標識

八月二十五日

佐田岬地區第一、第二地帯標識

八月三十日

佐賀關地區第三地帯標識

九月七、八日

同 第三地帯標識

九月十四、十五日

佐田岬地區第三及區域外地帯標識

九月三十一、三十二、三十三日

佐賀關地區區域外地帯標識

其七 廠中備品及圖書

一 廣島灣要港ヨリ引継タル廠中備品ハ一部廣島於テ加修タル上七月二十日頃ヨリ

荷造梱包ヲ行ヒ其大部ハ兵器類ト共ニ八月八日宇品出帆翌九日豊後着ニ爾後之

カ荷揚運搬開梱ヲ實施シ概テ八月中終了セリ 但シ運搬中破損^{十八}シ若干修理要
ス(キモ)拉廣島於テ加修ヲ施サリシモノハ九月中ニ於テ概テ修理ヲ行ヘリ又廣島灣要
塞ヨリ引継(キモ)一部ハ十月ニ入リ廣島灣要塞殘務整理者ヨリ發送シ來ル旨ナ
ニ佐賀關ニ於テ新調整備セリ

二、不足廳中備品、一部及家具類、大部ハ廣島於テ新調携行シ殘余、モハ修理品ト共
ニ佐賀關ニ於テ新調整備セリ

其ハ 經理

一、新設所要經費ハ七月日増額由請所八月十九日漸ク一部費目、令達ヲ受ケ其全費目
ノ令達ヲ受ケタル九月中旬ヨリ業務實施ニ不便ヲ感ゼタリ然ルトモ第六師團經理部
ヨリ取敢ヘス當初所要、雜給雜費及廳費等、若干ヲ令達セラレタルヲ以テ概テ支障
ナク業務ヲ實施シ得タリ

二、築城部豐豫支部ト同一箇所執務ニ關係上之カ經費支拂區分開テ該支部主計

運送費、共同使用、電氣經費、例令、電燈料、電話料、如キハ各半、卸宛、租任、スル、ト、ニ
協定セリ

三、新設、為、今、達、至、ル、豫、算、キ、如、シ

廣、廣、及、修、繕、費

一、三一、〇、四

雜、給、及、雜、費

一、九五、〇、

出、旅、旅、費

八、五、〇、

制、限、外、

一、一〇、〇、

廣、習、費

一、八、〇、

兵、隊、及、馬、正、費

二、〇、七、一、

武、器、費

一、三、〇、〇、

彈、藥、費

七、〇、五、

運、搬、費、(兵、器、)

六、六、

輸送費

五九三〇円

運賃整理費

四九三五

兵隊費

七三五

器具被服圖書費

四二〇〇

台外八箇倉庫具ニ係ルモノ一ニ六〇同ヲ別達分達セル

四 豐豫要需司令部ノ廳舎ハ第六師團經理部ヨリ引継ぎ其一部ヲ築城部豐豫支部ニ

供用スルコトニシテカ供用區分ヲ定メ第六師團經理部ニ申請セリ

第四 將來に關スル意見並參考事項

一 一般ニ就テ

1. 新設に關スル命令ハ既ルヘテ速カキヲ要ス

今次ノ新設ハ廣島灣要港ヲ廢止同時ナリシヲ以テ稍ニ困難ヲ感セリ 但シ新設業務ハ廢止業務ニ比シ單簡ナリシト葉部置隊支部現在ニシヨリ大ナル支障ナク實施ニ得タリ 將來此種新設に關スル規定發布スルハ武内報ハ爲ニ得ル限リ速カキヲ要ス

2. 關係主任者ヲ同一地ニ集合打合セテ行ハコ最緊要トス

今次新設に關シテハ廣島灣於テ各關係者三日間打合セテ行ヒタル爲メ至大ノ便宜ヲ得タリ 若シ此打合セテ行ハナリシナラバ到底今回如ク順調ニ實施ニ得サルヘシト確信ニ達打合セテ效果至大ナリシヲ痛感セリ

3. 要港ノ新設時期ハ六、七月ノ候トスルヲ可トス

今次新設八月一日より之ヲ完成十月ニ入リ爲シ戰備計畫策定上苦痛ヲ感セリ且又時恰ハ酷暑候ニ相當シ能率増進上ニ不利ナリ宜ク六七月候トスル可トス蓋シ戰備計畫完成ハ三月十九日ヲ以テ四月五月ヲ準備期間トシ六七八月ヲ實施期間トシ八翌年度戰備計畫起草上ニ好都合ナレハナリ

二 機秘密書類ニ就テ

一 師團司令部ヲ經由シテ配布ヲ受ケタルモノト師團司令部ヲ經由スルコトヲ直接調製官ヨリ配布ヲ受ケタルモノアルメ師團長係管轄機關ニモト要塞司令官直接係管轄機關スヘキモノアリテ處理上稍煩雜ヲ來セリ

二 機秘密書類ノ配布ハ將來師團司令部ヲ經由シテ配布スル如クハ整理上便便ナリ

三 地帯業務ニ就テ

一 當要塞ニ於ケル取扱事項ハ比較的少ナキモ附近ハ最モ良好ナル漁場ニ屬スルヲ以テ軍機保護ニ就テハ將來充分ナル監視ヲ必要トス

二 憲兵分隊所アリテ佐々木關附近ニ於ケル取締ハ可ナルモ佐田岬ハ松山憲兵分隊管轄

三

泉定上苦痛

六七月候ト

トモ六七月

トナリ直接調

査歴司令官

理上便宜ナリ

ニ属スルヲ以テ

兵分隊管轄

0482

研究ヲ要ス

✓

○

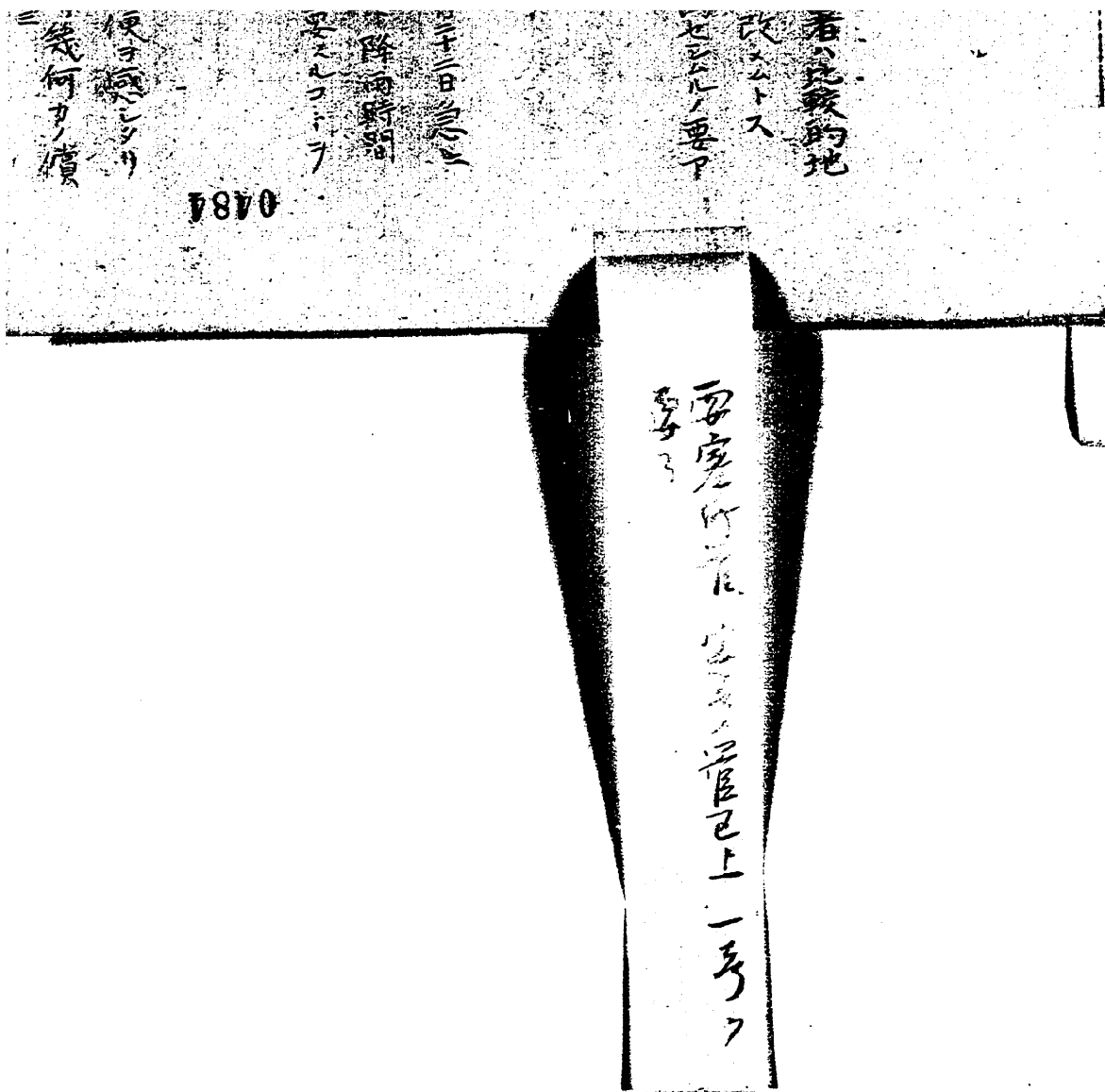
三、屬分駐所、設置ナキヲ以テ取締困難ナリ又當要塞附近、警察署ハ比較的地
帯取締ノ觀念充分ナラサルハ遺憾ナリ將來指導ニヨリ此弊風ヲ改メトス
3. 佐田岬附近要塞地ハ交通ノ關係上佐賀關憲兵分駐所ノ管轄ニ屬セシムル要アリ

四、兵器及兵器用物品ニ就テ

1. 荷造作業場ニ雨天場合ヲ顧慮シ之ヲ設備ヲ爲シ置クヲ要ス
豊豫要塞奉行兵器用物品ヲ守品倉庫ニ於テ荷造ヲ實施中七月二十日急ニ
大雨沛然トシテ至リシリ當時露天ニ在ル物品ハ雨覆ヲ爲シアリト降雨時間
僅少ナリシ爲メ幸ニ當ナキ得タル之雨ニ對スル準備ハ必ラス爲シ置クヲ要スルコトヲ
痛感セリ

2. 倉庫ニハ荷造場ヲ有セシムルヲ要ス

守品倉庫ニハ荷造場ヲ有セシムル爲メ降雨時於ケル荷造ニ大ナル不便ヲ感シタリ
3. 請負作業契約ノ條ハ作業完成豫定時間ヲ定メ延滞一時間ニ付幾何カノ償



金徴収ノ契約ヲ爲シ置クヲ要ス

三四

豊豫要屋携行物件ヲ宇品ニ於テ搭載スル方リ日間ニ搭載豫定ナリ所請員者側ニ於テハ可成人夫ヲ減少シ人夫賃ヲ少額ナラシメントスル傾向アリ爲メ豫定時刻ヨリモ延長ニ第二日ノ如キ午後十一時ニ至リ漸ク終了セシ状況ナリキ

其節概員ノ指示セシ如ク晝間人夫數ヲ増加セハ夜間迄而ケテ危險ヲ冒シテ迄モ行フノ要ナカリシモ請員者ニ於テ英断ト作業對スル先見ナク増員ヲ倣巡ニ爲メ夜間ニ入リ照明具ノ設備ナク僅少ナル提灯ヲ以テ危險裡ニ作業セリ幸ニ事ナキヲ得タルモ將來ノ作業請員際ニ大ニ参考トスルニ足ル

4. 重材料運搬荷造等ノ際ハ請員者ヲシテ請員ハシムルヲ可トス

請員者ノ供給セル人夫ハ普通直管ノテヨリ數倍ノ働ヲナシタリ蓋シ直管人夫ヨリ賃金高キト且之等運搬荷造等ニ慣熟セ者ヲ選定シ得レハナリ

結局直管ヨリモ經濟ニ而ケテ能率向上シ得ヘシ

五. 國防用土地防禦管造物同附屬物件ニ就テ

○

1. 高島第二砲臺ハ天空ニ對シテハ勿論海上ヨリ容易ニ觀察シ得政ニ先ツ砲臺内
斜面砲臺背面砲具庫附近等ニ植樹シ遮蔽手致シ講スルヲ要ス

○

2. 高島駐藥庫甚シク濕潤シアリ之ヲ防水防濕ニ關シテハ根本的研究ニ改
善ヲ圖ルヲ要ス

○

3. 高島西半部ハ石灰岩ヨリ成リ斜面崩潰顯著ナリ現在地形ヲ著シク變化セサル如
ク處置ヲ講スルヲ要ス

○

4. 高島第二砲臺積土沈降ノ爲メ増築建築物ニ亀裂比較的多シ將來砲臺
築設ニ方リ積土ニ關シ顧慮スルヲ要アリ

六、砲中備品及圖書ニ就テ

1. 概ネ適當ニ處理セラシムト信ス

豫算増額申請額對シ今達額差額ハ次年度ニ於テ増加令達セラルヲ望ム

2. 新設砲倉備品整備計畫ヲ立案シ不用品舊砲倉所在衛戍地ニ保管轉換
スルヲ輸送費及運送中ノ破損ヲ顧慮シ適當ト認ム

防海

二先ツ砲臺内

ス

的研究と改

り変化セサル如

將來砲臺

ルヲ望ム

二保管轉換

五

0487

防備

8460

七 經理事務ニ就テ

一 豫算増額令達ハ速ニスルヲ要ス

今次新設業務ニ要スル豫算増額申請ハ己ニ七月初メ其筋ニ申請セタルモ漸ク
八月二十日ニ至リ而ウモ一部廣目ノ令達アリシニミレテ業務實施上甚ク不便ト
困難トヲ感セリ幸ニ新設當初差當リ所要經費ハ第六師團經理部ヨリ令達セ
ラレタルヲ以テ稍々緩和セラレタルモ凡テ此種業務ハ準備期間ヨリ當ニ經費ヲ要ス
ルモノナルヲ以テ速ニ令達セラレシメトヲ望ム

2. 塔載及荷揚ノ請買契約ハ同一人トラシムルヲ可トス

豊豫要廣揚行諸物件ノ序品ニ於ケル塔載請買ハ兵器ト其他物品ト請
買者異ナリシ爲メ廣施ニ支障ヲ來シ(主トシテ明治運送會社ヨリテ請買ハセリ)

又佐賀關ニ於ケル荷揚請買ハ内國通運會社ヨリテ實施セシメリ

幸ニ大ナル破損品モナリ概不無事終リシタルモ將來此種契約ハ成ルヘク同一者

ヲシテ請買ハシムルヲ可トス

0489

(附記)

以上記述ノ如ク新設業務ノ主ナルモハ大正十五年九月盡日ヲ以テ其
一段落ヲ告ケタリ而シテ細部ニ関シテハ尙相當ノ時日ヲ要スルモノナ
何レモ平素業務ト關聯スルヲ以テ逐次整備セントス

0490

附表第一

豊豫要塞保管兵器整備一覽表

軍事機密ニ属スルヲ以テ別送ス

附表第貳其一

兵器用物品整備一覽表				大正十一年九月一日 陸軍省司令部			
品目	区	分	位	品目	区	分	位
雨覆	八	覆	六三	火薬運搬旗		個	一
安全燈燭臺	格納箱	個	三	鉈		個	五
上靴	足	一		鎗		個	三
大鍋	個	一		照鏡箱		個	二
莫銅鎗	個	四		海岸射撃板箱		個	二
金盞	個	五		火薬封紙		個	一
火薬枕木	個	三六		火薬箱		個	六
火工用床板	個	六四		火薬乾燥架		個	六
火工用床板臺	個	四		火薬乾燥架		個	四
乾濕計	個	五		鎗		個	一
神樂杖	個	二		脚柱		個	九五

英 臣 陸 軍 服 制

起重機脚	器具箱枕木	器具架	機関銃格納架	機関銃格納箱	機関銃格納架	釘板	黒塗木枕	黒塗日覆	削臺	剣架覆	鋼除鉤	コニハス
個	〃	〃	〃	〃	枚	個	〃	枚	個	枚	個	〃
三	三四	三	二	三	一〇	四	三八	二〇	一	二	二	三
腔中金油器	五粒數字刻印器	雜箱	又鉄	作業服	作業検査器	輜重車	最高最低表	三八式機関銃	指金(四尺)	銃口蓋	小銃彈容器	修理工具箱
個	組	個	〃	枚	個	輛	個	〃	〃	〃	〃	〃
三	二	一	四九五	三五	二	三	一	二二	一	大	二	四

44

0496

附表第貳其二

兵器用物品整備一覽表					大正十五年九月一日 豐原要塞司令部	
品目	区	分	單位	整備員數	摘	要
兵	器	刺	個	三	整備員數は全部處分後、 司令部より提出以下全シ	
大		鍋	個	一		
棚		覆	枚	三		
廻	轉	砥	個	一		
轉	柄	標	個	一		

2620

0431

附表第三

兵器関係書類目録 (新設業務)																		品目	備考	要
兵器受拂配當簿	二																	兵器受拂配當簿	廣島海軍工廠	要
戦用兵器受拂簿	二																	戦用兵器受拂簿	廣島海軍工廠	
兵器證票綴	一																	兵器證票綴	廣島海軍工廠	
物品出納簿	三																	物品出納簿	廣島海軍工廠	
物品受拂證憑書類綴	一																	物品受拂證憑書類綴	廣島海軍工廠	
修理注文票綴	一																	修理注文票綴	廣島海軍工廠	
需用納傳票綴	一																	需用納傳票綴	廣島海軍工廠	
諸規定綴	一																	諸規定綴	廣島海軍工廠	
訓令訓示講評綴	一																	訓令訓示講評綴	廣島海軍工廠	
發來翰綴	一																	發來翰綴	廣島海軍工廠	
兵器制式圖書類綴	一																	兵器制式圖書類綴	廣島海軍工廠	
兵器制式圖原簿	二																	兵器制式圖原簿	廣島海軍工廠	
發來翰寫綴	一																	發來翰寫綴	廣島海軍工廠	
輸送證票綴	一																	輸送證票綴	廣島海軍工廠	
兵器荷造票寫綴	一																	兵器荷造票寫綴	廣島海軍工廠	
總豫備兵器受拂簿	一																	總豫備兵器受拂簿	廣島海軍工廠	
赴任用刀劍受拂簿	一																	赴任用刀劍受拂簿	廣島海軍工廠	
廢兵器整理簿	一																	廢兵器整理簿	廣島海軍工廠	
兵器出納通牒綴	一																	兵器出納通牒綴	廣島海軍工廠	
兵器細目名稱表	各二																	兵器細目名稱表	廣島海軍工廠	
同定價表	一																	同定價表	廣島海軍工廠	
兵器制式圖	保管一式																	兵器制式圖	廣島海軍工廠	

附表第四

防衛管造物引継一覽表

所在地					件	名	簡	要
大分縣北海部郡佐賀關町大字關字高島						豐豫要塞高島第三砲臺		
						豐豫要塞高島火藥支庫		
						豐豫要塞高島軍道		
						豐豫要塞高島第二砲臺		
						豐豫要塞高島繫船場		

附表第五

土地防衛管造物引継二伴ノ書類一覽表

名	稱	頁数	摘	要
國有財產臺帳	壹冊	壹冊	口座名 高島砲臺及同交通路敷地	
國有財產受證書	壹冊			
高島砲臺及同交通路敷地 植樹臺帳	八葉	自第一杯班 至第八杯班		
同 附圖	壹葉			
高島砲臺及同交通路敷地 土地利用事業實施三關ニ係ル書類	壹冊			

6970

0090

附表第六其

輸送用物品整備一覽表

大正十五年九月一日

豊後要港司令部

品目	区分	単位	整備数	備考	品目	区分	単位	整備数	備考
三角鏡		個	一	整備員数ハ全 部廣島港要港 司令部ヨリ發行 以下全シ	鏡		個	六	
繫船用鐵鎖		〃	三		日	覆	枚	三	
塩落鏈		〃	二		ラ	ニ	個	二	
中鏈		〃	一		和	鎗	〃	三	
螺鈎		〃	一		ズ	ツ	袋	〃	一
鎖鈎		〃	二		雨	覆	枚	二	
錨浮大		〃	一		浮	標	個	二	
鐵籠		〃	四		至	五			
海底線信號器		〃	一		長	四			
鐵鍋		〃	一		天				
絨氈敷物		枚	二						

附表第六其二

修繕用物品整備一覽表										大正十五年九月一日 豊後県警察本部 事務課									
品目	区	分	数量	整備	場所	要	品目	区	分	数量	整備	場所	要						
現子機	箱共	個	五		豊後県警察本部 事務課		水道具	箱	個	一									
電話機	箱共	個	一五		豊後県警察本部 事務課		水気	釜	個	一五									
交換機	箱共	組	二		豊後県警察本部 事務課		轉脈器	方形	個	五									
避雷器	円形	個	三				同	扇形	個	五									
検電機	機	個	五				梯子	竹製	個	五									
電鈴	鈴	個	一				張線器	器	個	一									
電槽	槽	個	二				八吋ベンチ	台	個	五									
電瓶	瓶	個	三				小	刀	個	五									
甲拾金物	物	個	二				燒	鍋	個	三									
乙拾金物	物	個	一				火	爐	個	三									
水銃	銃	個	五				スパナ	一	個	四									

墨	由	針	盤	用	器	枝	試	選 ^{チルビ}	測	革	螺	根
					械		驗	話	線	洞		固
斗	尺		厚	匙	臺	切	箱	機	器	乱	鑽	杆
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	個
一	一	一	二	二	五	一	二	一	一	五	一	四
採	檢	回	現	保	鶴	ハ	玄	同	飽	手	横	縦
線	温	轉	字	安		ケ						
器	器	計	機	器	嘴	ッ	翁	中	荒	斧	鋸	鋸
"	"	個	布	"	"	"	"	"	"	"	"	個
二	二	一	五	一	一	二	三	一	一	一	一	一

雨	檐	中	鐵	鋤	煉	大	斜	鐮	鋤	ス	檐
覆	桶	取			瓦		面			コ	
杖	桶	棒	棒	簾	切	鍋	叩			ツ	棒
杖	短	短	短	短	短	短	短	短	短	短	短
二	一	七	二	一	一	二	二	三	七	一	一
子	節	如	四	滑	釘	大	ジ	西洋	自在	廻	石
丁		露	斗	車	枝	槌	ヤ	釘	螺	砥	工
短	個		桶				ツ	板	鑄	箱	鋸
短	短	短	短	短	短	短	短	短	短	短	短
一	二	一	二	四	二	二	二	二	二	一	四

11

附表第七

地帯業務書類引継目録

名	種	年度	冊数	備考	要
發給來輪綴		自大正十年 至大正十五年	壹壹		
地帯ニ関スル諸願届綴		同右	六		
要塞地帯内鑛業出願ニ関スル書類綴			壹		
要塞地帯内工事ニ関スル請書綴			壹		
許可證控綴		自大正十年 至大正十五年	壹參		
返納係允期限滿了許可證綴		同右	六		
地帯ニ関スル寫真控帳			壹		
漁業組合員名簿			壹		
地帯ニ関スル願書受附簿			壹		
要塞地帯法施行規則第十二條ニ係ル綴			壹		
要塞地帯法違反者ニ関スル書類			壹		
豐豫要塞地帯區域圖			壹葉		
豐豫要塞地原圖			壹葉		
豐豫要塞地帯明細圖			壹葉	大分縣外ニテ九葉 (彼陽字圖寫九葉)	

0505

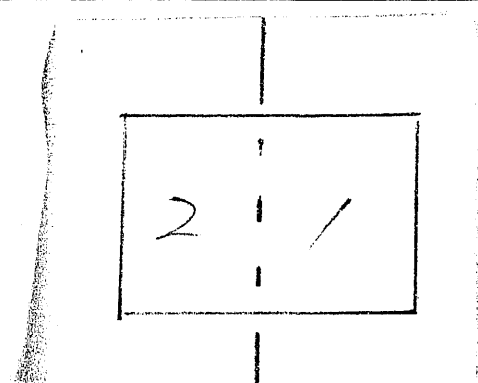

附表第八

豐豫携行兵器及物品數量明細表

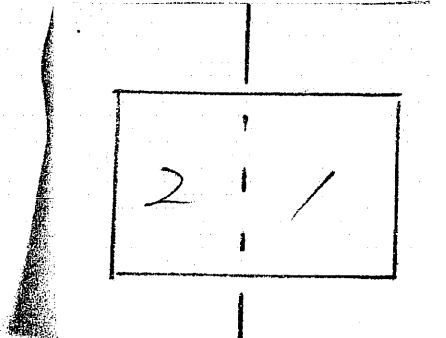

合計	小計	庫倉部輸運			小計	庫倉品付			別科分區	
		經	工	砲		經	工	砲	別	科分區
四〇。	三三四			一四	三六			三六	本	廠
九四。	九三三			九三三	九八三			九八三	兵	器
三九三	一〇七三			二〇三八	二〇三〇			二〇三〇	彈	丸
八〇。	八〇。			五五九	五五九			五五九	小	拂
五五九	五五九			四〇〇	四〇〇			四〇〇	計	要
四〇〇	九三四			九三四	三六			三六	整	費
三六	五二六			五一六	九八三			九八三	物	品
四九七	五二六			五一六	二〇三〇			二〇三〇	小	拂
九					九			九	計	合
一三五					一三五			一三五	計	計
八九					八九			八九	計	計
一八八	七二七	四二〇	二〇一	九六	四一	八一		三九	計	計
八五	六九二	〇〇〇	三三〇	五九二	一三三	三五〇		六三三	計	計
六二三	四〇	九九〇	八〇〇	七四〇	五五三	五〇〇		四六三	計	計
二九七	七二七	四二〇	二〇一	九六	四八〇	八一		三九	計	計
〇七	六九二	〇〇〇	三三〇	五九二	三七八	二五〇		八七八	計	計
三六二	二四〇	九九〇	八〇〇	七四〇	五五三	五〇〇		四六三	計	計
二四三七	一六五一	四二〇	二〇一	一〇三〇	七六六	八一		七〇五	計	計
二八	五四二	一九〇〇	三五〇〇	三二七	六四三	二五〇〇		六二八	計	計
五八九	一六五三	九九〇	八〇〇	五八三	七三二	五〇〇		六八二	計	計

宇品船舶搭載計畫			
日	時	搭載品目	搭載順序及方法
第一 日(八月八日)	自午至午後八時	一、軍品倉庫砲兵科兵器及同物品、材料 二、同兵科兵器物品	一、砲兵科兵器 二、同物品脂油類 三、同兵科兵器物品 四、重要荷物
第二 日(八月七日)	自午至午後八時	一、運輸部構内砲兵科兵器及同物品 二、兵科兵器物品 三、同經理科物品 四、重要荷物	一、砲兵科彈丸 二、同兵器及物品、船舶積載箇所ニ集積 三、兵科兵器物品ヲ右ニ通り集積 四、經理科物品ヲ同右集積 五、重要荷物
備考		一、右搭載物、砲兵科兵器、同兵器物品、脂油類、兵科兵器物品、經理科物品ニ區分集積積載ス 二、重要荷物、各科於テ現品ヲ區分シ置キ且ツ積込當日現場ニ指示者一名ヲ差出入フト 三、積載品目才數、梱數、斤數別紙、如シ	
第三 日(八月九日)	自午至午後八時	一、門橋ニテ積込團平ニ運輸部ヲ借用 二、門橋、團平ニ積込際使用 三、團平ハ、三ツ迄一日三往復トス	一、門橋ニテ積込團平ニ運輸部ヲ借用 二、門橋、團平ニ積込際使用 三、團平ハ、三ツ迄一日三往復トス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 / 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基徳 </p>	

附表九基一

皇海軍司令部新設業務日課表

大正五年八月五日調製

0510

月日	一般	度務	砲兵業務	其他	上兵業務	經理業務	其他
八月一日	司令部事務開始	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
二日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
三日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
四日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
五日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
六日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
七日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
八日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
九日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
十日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
十一日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
十二日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊
十三日	司令部大部廣島出張	機務書類	司令部事務開始	兵器及兵用物品處理	陸軍中隊	陸軍中隊	陸軍中隊

[illegible]

豐豫要塞司令部新設業務日課豫定表 其四

大正十五年九月一日

豐豫要塞司令部

月日曜	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月一日水	司令部開張式外國人勿慮視	機秘參書類	砲兵業務	豐豫要塞司令部所屬物件整理	廳中備品圖書

九月二日木	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月三日金	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月四日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月五日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月六日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月七日日	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月八日月	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月九日火	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十日水	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十一日木	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十二日金	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十三日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十四日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十五日日	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十六日月	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十七日火	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十八日水	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月十九日木	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十日金	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十一日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十二日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十三日日	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十四日月	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十五日火	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十六日水	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十七日木	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十八日金	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月二十九日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他
九月三十日土	一般	庶務	工兵業務	經理業務	其他

整理

整理

諸規定豫調制

修繕用器具其
通信網用器具其
他携行物件其
及整理

依留地正第三地帶
域外地帶標識引
緒

整理

備

依留地正第三地帶
域外地帶標識引
緒

依留地正第三地帶
域外地帶標識引
緒

新調物品調并

設置物品點檢計畫

諸規定金支拂準備

諸規定金支拂準備

備考

一新設業務ハ九月ヲ以テ一
般業務ヲ告グル豫定ス

表第十一

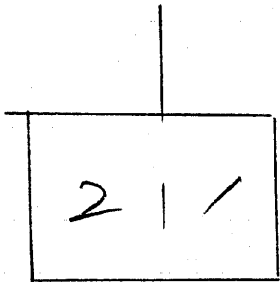
豐豫要塞司令部 新設業務實施表 其一

大正十五年八月二十日

月	日	曜	一	般	廢	務	砲兵業務	工兵業務	經理業務	其他
六月	一日	火								
二日	水									
三日	水									
四日	金									
五日	土		新設業務打合	處理方法研究	同上	同上	同上	同上	同上	新設業務算出
六日	④		事項原案作成							砲兵分隊所 散置意見
七日	月									
八日	火									
九日	水									
十日	木		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
十一日	金		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
十二日	土		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
十三日	④									
十四日	月									
十五日	火									
十六日	水		整理打合結果	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
十七日	木		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
十八日	金									
十九日	土									
二十日	④									
二十一日	月									
二十二日	火									
二十三日	水									
二十四日	水		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
二十五日	金		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
二十六日	土									
二十七日	④									
二十八日	月		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
二十九日	火		新設業務打合	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
三十日	水									

備考

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p>	

新

三十一日
大正十五年八月五日調製

豫 密 司 令 部

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
曜	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
敬	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密	密
書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書
類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬
務	務	務	務	務	務	務	務	務	務	務	務	務
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部

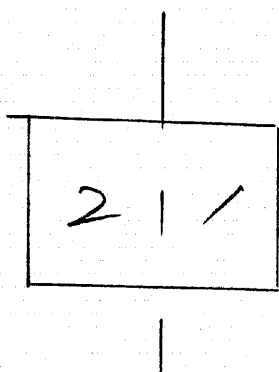

新 改 業 務 實 施 表

工	兵	業	務	實	施	表
工	工	工	工	工	工	工
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
業	業	業	業	業	業	業
務	務	務	務	務	務	務
實	實	實	實	實	實	實
施	施	施	施	施	施	施
表	表	表	表	表	表	表

大正十五年八月五日調製

0514

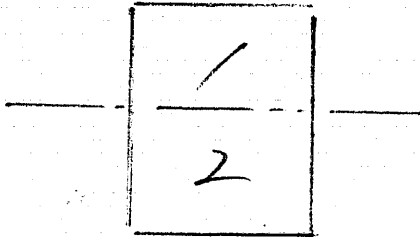
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 / 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基彦 </p>	

100

[illegible]

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p>	

大正十五年十月一日
豐豫要塞司令部

發

其 他

0519

附録第一

整理會議ニ就テ司令官司令部職員共ニ指示 大正五年六月日

一 別紙要領ニ依リ整理會議ヲ行フ該會議ノ目的ハ要領ニ記述

セシ如ク廢止並ニ新設業務ヲ円滑進捗セシムルヲ目的トス

故ニ該會議ニ於テ爲シ得ル限り細大漏サス忌憚ナリ意

見ヲ交換シ後日ノ交渉ヲ減少セシムル如ク諸官ノ努力ヲ要望ス

ニ諸官ハ會議ノ際先ツ原案ヲ印刷配賦シテ説明ヲ爲シ該

原案：基本協議ヲ遂クルモノト以テ原案ハ豫メ司令部
 職員於テ討議研究シタルモノナルヲ要ス該原案示ス可ク
 事項ハ議題ノ種類ニ依リ異ナルニ概テ記シ事項ヲ明示
 スルヲ可トス

人 處理ノ方針

之 處理方法及期日

整理會議ニ就テ司會官司令部職員等ニ指示 大正五年六月日

ハ別紙要領依リ整理會議ヲ行フ該會議ノ目的ハ要領ニ記述

セシムル廢止並新設業務ヲ円滑進捗セシムルヲ目的トス

故該會議於テ爲シ得ル限リ細大漏サス忌憚ナリ意

見テ交換シ後日ノ交渉ヲ減少セシムルハ諸官ノ努力ヲ要望ス

ニ諸官ハ會議ノ際先ツ原案ヲ印刷配賦シテ説明ヲ爲シ該

原案に基き協議ヲ遂クルモノトシテ原案ハ豫メ司令部
職員於テ討議研究シクルモノナルヲ要ス該原案系ム可ク
事項ハ議題ノ種類ニ依リ異ナルヲ概ネテ記シ事項ヲ明示
スルヲ可トス

人 處理ノ方針

之 處理方法及期日

(別紙)

廣島海要塞廢止並豐後要塞新設關於會議要領

一 會議目的

本會議廣島海要塞廢止並豐後要塞新設關於業務問題

關係諸官衙主任者廣島集り諸般打合を行ひ該會議於決

議レタル事項中重要ナルモノ陸軍大臣認可ヲ經テ其他八直ニ實

行スル爲ニ行フモノシテ廢止並新設業務ヲ圓滑ニ促進スル目的トス

〽會議期日

六月十日

十一日

十二日

〽日間

會議は毎午前九時より行フ

〽會議場所

廣島市皆實町

廣島灣要塞司令部

〽會議参列者

別表に予定但シ多少變更をコトアルヘシ

五 會議項目

第一日	午前 兵器、廢置 前	午後 防禦營造物及土地建築物廢置 後
第二日	防禦營造物土地建築物廢置	圖書及廳中備品等廢置
第三日	人事及其他	豫備

1290

0288



附録第二

廣島藩要書司本部發給要書司本部新設業務関係打合記録

大正十五年六月
廣島藩要書司本部印刷

配布通分	
陸軍省	一三
参謀本部	二
第五師司令部	七
第六師司令部	七
陸軍運輸部	三
公島港要塞司令部	六
兵器本廠	三
築城機部	三
廣島兵器支廠	五
豐後築城部支部	一
吳鎮守府	五
計 七十五部	

第一	打合ミヲ行フニ至リシ動機
第二	打合ヒ要領
第三	決議事項並參列者主ナル意見
其一	兵器 (砲兵科)
其二	兵器 (工兵科)
其三	國防用土地及防禦營造物並船舶
其四	廢中備品及圖書
其五	廢舍及字品倉庫
其六	地帶業務及廢務
其七	經費
其八	其他

廣島海軍要塞司令部新設要領及全網則表

第一 打合セヲ行フニ至リシ動機

大正十五年六月初至リ愈々十五年八月ヨリ以テ廣島海軍要塞司令部ヲ廢止

シ豐後要領司令部ヲ新設セルニ決セラレ之ヲ廢止シ新設要領及全網則表

布織熟スルヤ大正十五年八月豐後要領廢止實績鑑ニ關係在者一室會

シ打合セヲ行フコトハ其意欲進捗上最モ必要ナルヲ痛感シ豫メ關係者内諾ヲ得

又第六師團長ト之協議ノ上第五師團長ノ命ニ依リ廣島海軍要塞

司令官主筆、詳、大正十五年六月廿日、閣関係者、廣島、集合、打
合、セ、行、フ、コ、ト、ヤ、リ

附記

豊後要室司令部、新設、廣島、要室司令部

部廢止要領及全細則、大正十五年六月、軍令、陸上

免九部、及陸軍第五部、ヲ、以、テ、發、布、セ、レ、リ

第二 打合之要領

大正十五年六月廿日、閣関係者、廣島、要室司令部、集合、シ、テ

議題之打ち合せは行なり

備考	六月十日		六月十日		六月十日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
打ち合せは六月十日午前九時より午後五時迄行なはれり	会議第一	兵務(陸軍科)整理案	会議第二	兵務(工兵科)整理案	会議第三	國防用土地及防禦施設造
	会議第四	廳中備品及圖書整理案	会議第五	廳舎及物品倉庫整理案	会議第六	経費増額及金銭事項整理案
	会議第七	其他	会議第八	其他	会議第九	其他
	会議第十	其他	会議第十一	其他	会議第十二	其他

各議題ノ原案ハ廣島港要塞司令部ニ豫メ研究シ審議シ最
可なりト信スルニテ打合ヒ前ニ各参列者ニ印刷配布シ該原案
ニ就キ起案者説明ヲ行ヒ次テ各自意見ヲ交換シ所要ノ増
補訂正ヲ加ヘ以テ決議セリ

本打合ヒ參列セシ者別紙ニ記シ



打合之参列者人名表

大正十五年六月十日
順序不同

廣島海要塞司令官	陸軍少將	弘中 曉
陸軍省軍務局課員	陸軍兵少佐	桑原 四郎
全	陸軍砲兵尉	椎名 正健
築城部本部々員	陸軍兵少佐	藤澤 一孝
築城部豐原支部長	陸軍兵少佐	船橋 定吉
陸軍兵器本廠々員	陸軍砲兵尉	高橋 政藏
廣島陸軍兵器支廠長	陸軍砲兵尉	見島 信士
全	陸軍兵少尉	横尾 達三
全	陸軍砲兵尉	佐々木 博
全	陸軍兵少尉	馬野 逸七
陸軍運輸部々員	陸軍兵中佐	矢崎 博之
○第五師團 參謀	陸軍兵少尉	岩永 汪
第五師團 副官	陸軍兵少佐	池田 一
第五師團兵器部々員	陸軍砲兵尉	越智 昇平
第五師團經理部々員	陸軍兵少佐	上嶋 政一
○電信第三聯隊 副官	陸軍兵少佐	大田 介太郎
吳鎮守府參謀	海軍中佐	水戸 春造
吳海軍建築部	海軍技師	由比 周吉
廣島海要塞參謀	陸軍砲兵尉	渡邊 正夫
全	陸軍兵少尉	小林 秋夫
全	陸軍砲兵尉	松尾 喜助
全	陸軍兵少尉	大森 安之助
全	陸軍兵少尉	坂本 森樹
部附	陸軍砲兵尉	塩田 鼎

備考。印八開條重。項協議。之。参列。セ。シ。ス。示。ス

其一 兵器（砲兵科）

一 處理方針

豐豫要塞携行兵器及兵器用物品、發米、廣島縣要路司令部砲兵部員之ヲ實施シ室濱、鷹、巢底、岸根、大君、休石諸砲臺（輕砲）ノ撤去、米並ニ一般兵器ノ集積格納ハ廣島陸軍兵器支廠ニ於テ之ヲ担任シ、豐豫要塞現存兵器ノ受授ハ佐賀關到着後實施

又現ニ廣島灣要塞司令官ニ保管ヲ依托セラレアル海
軍保轉兵器ハ現状ノ儘大正十五年八月一日廣島陸軍
兵器支廠長ニ引継クモノトス

但シ兵器廠依托豐豫要塞戰備用兵器ノ大部ハ移轉
ノ際佐賀關ニ携行ナルモノトス

主ナル意見

移轉ノ際戰備用兵器ヲ携行セラル

二 處理方法及期日

ノリ(兵器本廠より)

一 成ルベク速ニ室濱及岸根、臼砲臺、早瀬彈丸庫、大
 君砲臺、警戒固屋、彈藥本庫、休石砲臺、順序ニ返
 納兵器ヲ廣島陸軍兵器支廠ニ返納ス

二 次ニ豐豫要塞ニ携行スヘキ動員用兵器及兵器廠像

此戰備用兵器並兵器用物品ノ荷造終送辦辦ヲ完

了ルモノトス其細部ニ関シテハ別ニ計畫ス

前項兵器ノ輸送ハ廣島灣要塞司令部之ヲ擔任シ

陸軍運輸部ノ船舶ニ依ル其發送時期ハ屆クモ大

正十五年八月十日迄ニ佐賀關ニ到着セシムルモノトス

主ナル意見 輸送ハ廣島灣要塞司令部 擔任ス政

ハ運輸部ノ擔任カラ明示セラレシムルハ運輸部

3. 豐豫要塞携行兵器、同物品、奉送準備完了也、大野次

美鶴原山、鷹、巢高、低諸砲臺及包、頭、三角、宇品、

要塞司令部構内所在兵器並兵器用物品、廣島

陸軍兵器支廠に返納及引續ク

返納兵器ハ返納証票ニ依リ現品ハ現状ノ儘兵器表及

兵器細目名称表ニ依リ一々照合、上返納シ兵器用物品

ハ送証ニ依リ現品ハ兵器ニ準シ引継クモノトス

三品目員數表

豊後要塞現存ノ兵器大正十五年八月一日佐賀關ニ於テ
 書類上ノ受授ヲ行ヒ現品ノ受授ハ要塞司令部砲兵
 部員佐賀關到着後主任者立會ニ現品ニ就キ實施
 ス其期日概同年九月上旬トス

込込納兵器引継業務完了ハ概大正十五年八月廿五トス

品目員數附表第一其一二及別表

四、特ニ注意スヘキ件

又兵器材料、船舶搭載、爲メ陸軍運輸部構内物
揚場ヲ使用アルモノヲ得

(附註陸軍運輸部員數表)

又師團長管理ニ属スル官衛用兵器(将校乘馬具三脊)

ハ第五師團ヨリ借用形式ニ依リ豊豫要塞ニ携行スル

モノトス

(附記 兵器本廠意見 備用形式ヲ携行後兵器廠於テ整理ス)

3. 豊豫要塞備砲ニ関スル圖書ハ陸軍省ヨリ交付セラルベシ

(附記 陸軍省銃砲課ヨリ承諾)

4. 豊豫要塞司令部平時業務上必要ナル砲床検査器等

ハ之ヲ豊豫要塞ニ携行スルコトヲ得

(附記陸軍兵器本廠員意見 携行差支ナシ)

全戦用兵器中不足モノ(将校乗馬具七眷ハ此際充實トス
欠数ノ儘携行スルモノトス

(附記陸軍兵器本廠員意見 當今充實シ難シ不足ノ儘

携行戦時支給セラルモノト承知セラル)

込納兵器ノ格納替及ビ手入ニ要スル經費ハ廣島陸軍兵

器支廠ヨリ増額申請スルモノトス

附表第二其一

師團長管理動員用兵器數量表

(世襲)

品目	数量	相数	寸数	寸数	寸数	寸数
三八式軍刀	五一	二	二六〇	六〇	二六〇	二六〇
三八式銃劍	一三八	三	二五〇	一八	二五〇	二五〇
三八式騎銃	六	一	一〇〇	一	一〇〇	一〇〇
三八式騎銃 携帶予備品	一	一	二〇	一	二〇	二〇
三八式拳銃	八	一	一〇	一	一〇	一〇
刀劍附刃器	五	一	一〇	一	一〇	一〇
三八式乘馬具	四	一	三二〇	三〇	三二〇	三二〇
將校乘馬具						
三八式銃劍	一八〇	一	二六〇	一	二六〇	二六〇
三八式拳銃	二五六	一	二六〇	一	二六〇	二六〇
計		九六	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇
備考						

兵器用物品携行員數表

[illegible]

[illegible]

其二兵器 (工兵科)

一處理方針

守城工兵器具、定数外兵器、輕便鐵道枕料、現在格納

、儘廣島陸軍兵器工廠に返納スルモ、トス、其格納區分

ハ附表第一ノ如シ

ニ處理ノ方法及期日

返納ノ手續 返納ハ兵器取扱規則第三十條ニ依リ兵器

返納證票ヲ調製シ授受ノ手續ヲナス

現品ハ各主任者立會ノ上大正十五年七月中旬迄ニ其引

渡シテ完了スルモノトス之ニ要スル日数左ノ如シ

司令部及守品一日 包ヶ浦二日

三品目頁数

6050

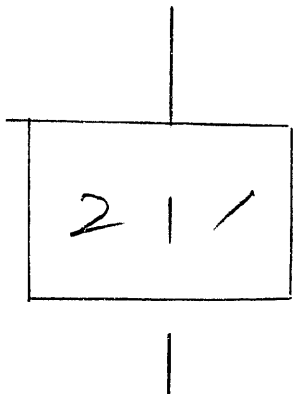
品目頁数ハ附表第一ノ如シ

四其他特ニ注意スル件

一兵器ニ関シ引継ヲナスヘキ諸書類附表第二ノ如シ

二兵器手入計畫並手入方法等ニ就テハ現場ニ於テ示ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<div style="text-align: center;">  </div>
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p style="text-align: center;">57年 9 月 1 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="529 1760 817 1818"> <p>撮影立会者</p> </div> <div data-bbox="960 1733 1369 1832"> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p> </div> </div>	

[illegible]

附表第二

兵器ニ關スル引継書類目錄

品	目	頁	数	備	考
守城兵器具材料原簿			壹冊		
輕便鐵道材料受冊簿			壹冊		
兵器報告綴			壹冊		
兵器格納圖			壹冊		
兵器手入豫定實施表			壹冊		
兵器ニ關スル發來翰綴			壹冊		
兵器移動通達票綴			壹冊		

要

其三 國防用土地防禦營造物並船舶

一 處理方針

國防用土地並防禦營造物ハ概ネ左ノ區分ニ依リ移管スルモノトス

一 大那沙美島砲臺及同交通路敷地並豪頭鼻電燈及同交通

路敷地及其以東ノ敷地

(三島浦助建設物敷地並大君
依能多同交通路敷地ニ部テ除)

ハ海軍少自ニ

但該上ノ地區ハ凡テ現在兵器存置間陸軍ニ於テ其使用權

保留又將來陸軍ニ於テ防備ヲ行フニ必要ト認メタル場合亦同

シ向ハ大君低砲臺及同交通路敷地中海軍電燈所敷地、西

南側用地ヲ工兵第五大隊架橋演習場トシテ使用權ヲ保留ス

主ナル意見

(1) 岸根鼻砲臺、鶴原山堡壘、豪頭鼻電燈所、各敷

地殊ニ鶴原山堡壘敷地ハ和沙美水道ヲ俯瞰シ、重要ナ

此地吳ニシテ民間ニ渡ルヲ好マス又將來吳要塞地帯
 設定ノ為メ該地域ハ地帯内ニ含マシムル豫定ナルニ依リ
 一括シテ移管ヲ希望ス(吳鎮守府參謀)

(四) 兵器並備砲撤去ノ期曰ハ不明ナルモ當分使用権ヲ有シ
 且ソ軍路ヲ残置シテ將來ノ撤去ニ支障ナカラシムルヲ依
 然陸軍ニ存置スルコトヲ望ム

但シ全兵器撤去ノ後ハ移管スルモ可ナリ(答本廠員)

(ハ) 海軍トシテ如何ナル條件ヲ附スルモ苦シカラス又軍路モ

破壊スルノ意圖ナシ(吳鎮守府参謀)

(ニ) 大那沙美島砲臺及同交通路敷地ハ海軍省ニ移管スル

コトナシテ手續ヲナスコト但シ條件ヲ附スルコトハ海軍

省移管スル他ノ如クナリ(本島十五至十六日
陸軍省東京必傳電報)

(ホ) 大君、將來第五師團ニ兵演習地トシタキ土地ニシテ既ニ第

五師團ノ管理換トナリ居ル大君兵舎敷地ノ附近ニ部ヲ

第二師團經理部ノ移管ヲ望ム(第五師團經理部員)

大君低地臺及全交通路敷地ハ附近ニ海軍電燈所アリ

戰時必要ナル以テ一括シテ海軍ニ移管スルコトヲ希望

ス(吳鎮守府參謀)

之定額巨臺及全交通路敷地並包テ浦補助建設物及全交通路
敷地一部ハ内務省ニ

主ナル意見

(1) 包テ浦ニ火藥庫ヲ有スルヲ以テ最近火藥庫ヨリ遠
五十間以上ノ所迄ハ依然陸軍ノ土地トシテ管理セラル

タシニ兵器本廠ニ負

3. 前二項以外ノ敷地大町、高間、宇用、鐵道敷地等ハ第五師團經理部ニ

4. 以上國防用土地ノ慶分ハ附表第一ノ如シ

5. 防禦營造物(通信網除キ)ハ前各項ノ敷地ト同時ニ移管

官衙ニ移管スル旨トス

但シ特別ノモノヲ除キ其詳細ハ附表第三ニ依ル

主ナル意見

(1) 大君地区ハ一部ノ兵舎既ニ第五師團經理部ニ移管

セラレシモ稍々狭キヲ以テ大君ノ砲臺ノ建物ヲ移築不

シタキ希望ヲ有ス(第五師團經理部ト員)

大君砲臺ノ建物ハ第五師團經理部ニ譲リ舊巢穴砲

臺監守衛舎及室演砲臺ノ監守衛舎並彈廠ト交換

ス(築城部本部ト員)

6. 通信線、當分要地防衛、兵器格納所、海運材料格納所

間連絡並電信第三聯隊演習用等トシテ依然大部ハ陸

軍ニ於テ保有ニシテ放棄ス又保有スルモノト雖モ万止マテ得

サルニ至ラハ放棄ス

但シ元廣島灣要塞司令部、似島、三高、色ヶ浦間ハ永久ニ

保有ス其處分附表第四ノ如シ

主たる意見

(1) 廣島ト兵 早瀬ト高田間全部ヲ海軍ニ移管ス

「ルフト」其保續費ノ多額ノ經費ヲ要スルヲ以

テ研究ヲ要ス、爲シ得ル全部ヲ陸軍ニ移管ス

一線ヲ海軍ニ使用セシメラレタキ希望アリ、兵糧等府参謀

(四) 第五師團經理部トシテ通信線全部ノ移管ハ必要ナ

シ中間線(司令部―宇品―似島―三高線)一線ノミシ
 タシ(第五師團經理部々員)

ハ要塞司令部―吳閭及要塞司令部―大野間ノ電

話線ハ電信第三聯隊演習用線路トシテ保管轉換

ヲ受ケテ差支ナレ然ル上ハ廣島―吳閭一條ヲ海軍ニ

提供スルモ差支ナレ

右線路ハ當聯隊ニ於テ保續ニカムヘキモ止ムヲ得サル

ニ至ラハ放棄スヘキコトアルヘキヲ以テ永久海軍ニ提供

スルコトハ斷言シ難シ(電信第二聯隊長)

二) 室濱ト色ケ浦間及高田ト早瀬ト吳間ノ電話線ハ廢

棄スルカ又ハ敬言察用トシテ移管ニテハ如何研究

セラレタシ(陸軍省軍務局課員)

ク地帯標石標札並區域標石ハ大正十五年十月末日迄ニ埋揚ニ

於テ破壊シ又ハ引倒シタル後海中又ハ谷地ニ投棄スルカ埋

填スルモノトス其撤去計畫附表第五ノ如シ

ハ雜船ハ一隻ヲ豐祿要塞司令部ニ他ヲ第五師團經理部

ニ移管スルモノトス其區分附表第六ノ如シ

ニ處理方法及期曰

前項處理方針ニ基キ被移管部隊ニ在リテハ附表第一乃至第四及第六ノ區分ニ依リ所定ノ手續ヲ行ヒ指令ヲ受ケレハ各關係者立會、上大正十五年八月末日迄ニ現場ニ於テ引渡ヲ完了スルモノトス引継計畫ハ附表第七ノ如シ

三 其他注意スヘキ件

一 引継ニ要スル書類ハ附表第八ノ如シ

- 2 防衛營造物附屬物件ノ處理ハ附表第九ノ如シ
- 3 外務省ハ土地ノ移管ハ廣島縣廳ト打合セテナスモノトス
- 4 土地及防衛營造物ノ移管手續ハ左ノ如クス

(1) 土地

(a) 第五師團(吳鎮守府)ヨリ協議書類ヲ築城部本部

長(土地調査二通添)提出ス

(イ) 第五師團(吳鎮守府)ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省

(海軍省)ニ規定ノ圖書ヲ添フ上申ス

但ニ築城部本部長ノ同意書ハ築城部本部ヨリ陸

軍省(海軍省)ニ出ス筈

(ロ) 陸軍省(海軍省)ハ大藏省ニ交渉ノ上第五師團(吳鎮

守府)ニ指令ス

又對ハ所長

(四) 防禦營造物

(d) 築城部本部長ヨリ廣島灣要塞工兵部員ニ引渡指令ヲ受ケ相互調印ノ上引渡ヲ完了ス

(a) 被移管部隊ハ廣島灣要塞司令官ニ協議書類

(營造物調書ニ通リ添ヘテ出ス

(e) 要塞司令官ハ更ニ築城部本部長ニ意見ヲ添ヘ協議ス

營造物調書ニ通テ添テ

(c) 被移管部隊ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省(海軍省)

ニ規定シ書類ヲ添ハ上申ス

但シ築城部本部長ノ意見書ハ築城部本部ヨリ陸軍

省(海軍省)ニ出ス也

(d) 陸軍省(海軍省)ハ大藏省ニ交渉シ上被移管部隊ニ

1250

ハ其他ノモノ

指令スルト同時ニ廣島灣要塞司令官ニ移管ノ件通牒ス、要塞司令官ハ夫々被移管部隊ニ引渡スモノトス

陸軍省所管國有財産取扱規定第四十一條ノ通り各

管轄者ヨリ正式手續ヲナス

國防用土地處分一覽表

大正十五年六月十日讀

[illegible]

大正十五年六月十日調

[illegible]

防禦營造物(工作物)處分覽表
大正十五年六月十日讀

[illegible]

附表第四

防禦營造物（通信線）要分（覽表）
 大正五年六月十日訓

線路（海底線及文線）
 移管部使用区
 分保線担任部隊
 指
 要

司令部——大野間

電信
 電信第三聯隊
 陸軍運輸部

大野——豊浜——包浦間

陸軍運輸部
 陸軍運輸部

海底線
 移管部

司令部——似島

第五師團經理部
 陸軍運輸部
 第五師團經理部

三高——包浦間

陸軍運輸部
 陸軍運輸部

司令部——吳間

電信
 電信第三聯隊
 電信第三聯隊

吳——警固屋

第五師團經理部
 陸軍運輸部

大君——高田間

經理部
 司令部

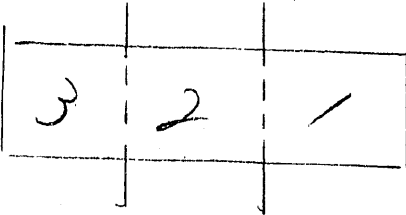

海底線
 移管部

備考

管

一、廢棄スル線路、廣島縣廳ニ交渉シ、必要アレハ警察用電話線トシテ移
 二、若シ何レモ未用ナレハ、鐵道部ニ移管スルコトヲ要ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉 清 基 </p>	

大正十五年六月十一日

[illegible]

大空山及興市										大空山地区										休石高島地区										地区									
最外										第三区										第一区										第二区									
村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、 村、治部市、										長瀬、 新井、 新井、 新井、 新井、 新井、 新井、 新井、 新井、 新井、										大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、										大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、 大空山、									
第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、									
二 五 四 五 三										二 一 二 三 四 五 六 七 八 九										三 七 六 四 三 二 一 二 三 四										一 二 三 四 五 六 七 八 九 十									
第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、										第一、 第二、 第三、 第四、 第五、 第六、 第七、 第八、 第九、 第十、									
往 三 同 右										往 一 同 右										往 一 同 右										往 一 同 右									
下 下 下 下 下 下 下 下 下 下										下 下 下 下 下 下 下 下 下 下										下 下 下 下 下 下 下 下 下 下										下 下 下 下 下 下 下 下 下 下									

三區	最外	方市及山空
----	----	-------

合 計		區 三		最 外 線		各 地 區	
合 計	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間
	合計	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間	三 豆 間

儲

本表標石標札位置就主要鑿地帶圖及地帶標石區域標、標札數次調查依此又錄附

地矣アリテ、建設當時、人夫ヲシテ案内セシム

六 指導監督者トシテ、秩序整理人員中ヨリ尉官（下三）ヲ給付セシメテ計畫ス

三、各砲區防守區域內之標石搬去及標札撤盡。予以砲台監守ヲ以テ檢査ス

セシム

四、郵政及交通不便地區之官邸及住宅，宜由前下等建築之。

標石被壞又為顧江紅上海中又各處抄弄有與州

人共三萬三千二百一十一戶。計其地之廣狹，與前年無異。

[illegible]

卷之六

附表第六

船舶處分一覽表

大正十五年六月十日

種別	員數	長サ	幅	深サ	所在	移管區分
雜船	一	二六二	五〇	一三	大那沙美	第五師團經理部
	一	二五〇	五三	一文	宇品	(廣島陸軍兵器工廠 使用)

備考

一本表ノ員數ハ國有財産ノモノヲ示ス
 ニ物品トシテ外ニ雜船一隻ヲ有ス

大正十五年六月十日

所用名稱	移管先	日引	出張者	引渡日次	摘	要
室渡砲台及同交通路敷地	内務省	一 准官 日帰			包ヶ浦迄官船陸行室渡ニ至リ 最島ヨリ汽車坂廣	
包ヶ浦補助建設物敷地	第五師團	二 准官 一泊			往復官船包ヶ浦泊	
同交通路敷地	第五師團					
三高補助建設物敷地	第五師團					
太那沙美砲台及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊			往復官船三高泊	
康嶺軍機燈及同交通路敷地	海軍省					
鶴原山堡壘及同交通路敷地	海軍省					
岩根軍砲台及同交通路敷地	海軍省					
三高堡壘及同交通路敷地	海軍省					
大倉低砲台及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊			往復官船早瀬泊	
豐瀬軍機燈及同交通路敷地	海軍省					
高馬堡壘及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊			往復官船休石泊	
休石砲台及同交通路敷地	海軍省					
休石砲燈及同交通路敷地	海軍省					
大空堡壘及同交通路敷地	海軍省	二 准官 一泊			往復汽車陸行阿賀泊	
阿賀町物場敷地	海軍省					
和希補助建設物敷地	海軍省	一 准官 日帰			往復官船	
阿賀町砲臺敷地	海軍省					
長谷海低線陸場敷地	第五師團	一 准官 日帰			官船日帰 三高地引渡帰路ヲ結クモノトス 又通信線中三高一似島一司令部線ニ 同シ	
大連海低線陸場敷地	第五師團					
明神海低線陸場敷地	第五師團					
大間軍用欽道敷地	第五師團	陸行				
通司令部野間	第五師團	二 准官 一泊			大野迄陸行 地前泊 汽車帰廣	
信司令部野間	第五師團	二 准官 一泊			吳迄陸行 吉浦泊 各ヨリ地方船帰廣 吉浦ヨリ官船 吳陸行 早瀬泊 吳ヨリ汽車坂廣	
網司令部野間	第五師團	二 准官 一泊				
合計		一九五				

備考
一 各陸軍用地ノ境界標石位置ヲ巡ス
二 建物及工作物其位置ニ至リテ結ヲスモノトス又同時雜船及物品ヲ引越ヲス
三 通信網ハ砲臺附近モノアリテハ用地並ニ建物ト同時其他ノモノニアリテハ陸行
シ線路圖ト照シテ引渡シスルモノトス
四 引渡日次ハ協議決定ス

附表第八

土地移管に伴う引継書類

大正十五年六月十日

名

稱

- 廣島品川間軍用鐵道敷地収用及管理換書類
- 土地収用買収書類
- 地所ニ関スル承諾書
- 電柱敷地請書類
- 土地登記簿謄本綴
- 土地登記沿革収用土地明細圖
- 土地登記明細簿
- 土地登記済證綴
- 國有財産土地明細調書
- 各堡塁砲臺敷地内不用土地利用計畫圖
敷地内所在貸下地ノ圖合綴
- 同
- 備
一 本表書類、築城部本部ト協議済ノモノトス
二 各書類、合冊シテ以下移管区分困難ナルモノアリ
三 本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス
- 考

陳表九

アジア歴史資料センター

要

煙草所備材ノモリ倉ム

アジア歴史資料センター

其四廳中備品及圖書

一、處理方針

廳中備品及圖書ハ可成豊豫要塞司令部ニ引継キ相當修
理ヲ加ヘタル後同廳ホ使用ニ充當スヘシト雖モ陸軍兵器廠

迄納兵器管理上必要物品ハ廣島陸軍兵器廠ニ引継

其他ノ不用品ハ廢品トシテ廢分ス

主ナル意見

第五師團經理部ニ引継クヘキ物品ハ概テ不用品ニ屬スヘシ

ヲ以テ此際之物品履分ノ手續ヲ了セラレタシ(第五師團經理部)

六 履理方法及期

豐豫要塞司令部ニ引継ク物品ハ大正十五年八月十日頃兵器其他

同時ニ第一次輸送ヲ實施シ速カニ加修ノ上供用ス

残品 残務整理終了後第二次輸送ヲヤシ前項ノ準ニ履理ス

第五師團經理部

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ぐ物品ハ豫メ送附シ送附シ兵器引

継時期ニ於テ各現在位置ニ就キ対照引継キヲ實施ス

不用品ニ低級品ハ大正十五年七月末廃品処分ナス

主ナル意見

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ぐ物品ハ管理上必要ナル諸品

ナルヲ以テ良好具不足セサル様保管換方配慮アリタシ

尚ホ品種員数決定上可成速ニ通報アリタシ(廣島陸軍兵器支廠長)

三品目員数

別紙引継書及送証、如シ（別紙省用合）

四所要経費

別紙請書、如シ

尚豊豫要塞不足物品、新調費、可成同時増額申請ヲ+

三速ニ令達セラル如クモス

五、其他

引継物品、修理、運搬上、便業ニ契約上、利ヲ考慮シ、一部搬出
ニ於テ加修スルヲ可トス

其五、廳舎及宇品倉庫

一、處理方針

廳舎及宇品倉庫ハ大正十五年八月一日閉鎖スヘキニ廣島灣
要塞司令部ニ於テ残務整理、爲メ引續キ使用スヘキヲ以テ残

務終了後第五師團經理部ニ返還ス

ニ處理ノ方法及期日

殘務整理委員ハ業務終了後廳舎及字品倉庫ノ引継書

ト共ニ第五師團經理部主任者立會返還ノ手續ヲナス

但シ字品倉庫ハ兵器引継ノ状況ヲ顧慮シ殘務終了以前ニ開

係書ト共ニ返還スルコトアル（シ）

主ナル意見

1. 字品倉庫ハ後ノ使用ニ関シテハ陸軍運輸部ニ於テ

使用方ヲ希望ス(陸軍運輸部員)

2. 引継兵器管理ハ為メ字品倉庫ハ後引継ヲ廣島

陸軍兵器支廠ニ使用セシメラレタシ(兵器本廠員、廣島)

陸軍兵器支廠長)

三 關係書

別冊營繕關係圖書、如シ

四、廳舎及字品倉庫ハ引継後其使用ヲ希望スル部隊アルヲ以テ大要ヲ左ニ附記ス

一、廳舎及字品倉庫ハ共ニ引継兵器ノ管理兼ニ平素業務ヲ爲メ引継キ使用シタルヲ止ムヲ得ス、廳舎ヲ他ニ使用セ

シメラル場合、尙ホ字品倉庫ハ特ニ廣島兵器工廠ニ使

同セシメラレタシ(兵器本廠々員廣島陸軍兵器支廠長)

2. 宇品倉庫ニ運輸部ニ使用セシメラレタシ(陸軍運輸部々員)

3. 廳舎ニ電信第三聯隊ニ使用セシメラレタシ(電信第三聯

隊副官)

其六 地帯業務及庶務

(一) 要塞地帯業務

一 處理方針

陸軍ニ於テ大正十五年八月一日以後ニ互リ許可又ハ承認シタル

事項ニシテ新ニ設定スル海軍要塞地帯ニ属スルハ其係属鎮

守府ニ於テ之ヲ繼承シ然ラサルモノハ陸軍省告布ニ布ト共ニ其

効力ヲ失フモノトス

二 處理方法

吳鎮守府に於て繼承ヲ要スル陸軍省並廣島湾要塞司令
 部より支那村に於て許可證及承認證ノ控ハ願書ト共ニ吳鎮守府
 二引継入ルル之ヲ爲メ吳鎮守府ハ成ルヘク連リ海軍要塞地
 帯區域圖ヲ廣島湾要塞司令部ニ送付スルモノトス

2. 前項以外ノ許可證及承認證ノ控並寫真帳ハ地帯法違反

ニ關スル綴ト共ニ目錄一通ヲ添ヘ大正十五年八月上旬陸軍省ニ

送附スルモノ

3. 廣島藩ノ要塞地帯撤廢並海軍要塞地帯設定ノ告示ニ布

目共ニ吳鎮守府ハ廣島藩ノ要塞司令部ヨリ繼承ノ事ヲ

二廣島藩ノ要塞司令部ハ不用トナルハ其旨ヲ繼承ノ事ヲ

八邊綱藩ノ文書ニ依テ地方官衙及市町村領地ニ通知シ向同

時ニ廣島藩ノ要塞司令部ヨリ廣島藩ノ要塞地帯撤廢並海

軍要塞地帯設定ノ旨同條憲兵隊警察署ニ通牒スルモノ

(1) 下士

壹岐及豊後両要塞司令部新設並廣島湾要塞司令部廢

止要領細則附表第一ニ依ル所屬ハ人名決定次第成ルヘク連カ

ニ奉在師ハ右ニ報告スルモノトス

又兵器本廠ト豊後要塞司令部ヲ兼轄スル事ヲ豫定スル事重直ニ依リテ

(2) 明治三十五年八月一日附兵器本廠ヨリ廣島湾要塞司令部へ及廣

島湾要塞司令部ヨリ兵器本廠へ各轉屬スル始メヨリ存留スル島

遼寧要塞司令部より第五師長に命課換ふ上申入ルモノトス

(2) 傭人

馬丁ニ其後、豊稔要塞司令部ニ繼續雇傭シ一ハ佐賀陸ニ於テ
新ニ傭入ルモノトス

(3) 職工

大正十五年八月一日左ノ如ク處理スルモノトス

(1) 普通職工一ハ豊稔要塞司令部ニ繼續雇傭シ定期職工ニ

普通職工一並海軍保轉兵器業務ニ属スル職工五(臨時職工一

ヲ含ム)ハ現給ノ依リ横島陸軍兵器支廠ニ轉属モシメ其他ハ大

正十五年八月一日辭職スルモノトス

又、豊祿要塞司令部所要職工ニハ陸軍兵器本廠ヨリ現給ノ依

轉属モシムモノトス

(四) 動員用陣中事務用品

第五師中規定第四條ニ依リ所要数ヲ第五師中ヨリ整備シ奉正

十五年八月十日迄ニ佐賀關ニ到着スル如ク廣島海軍要塞司令部
 残務整理者ニ於テ發送シ又不用品ハ大正十五年七月二十日迄ニ
 廣島海軍要塞司令部ヨリ第五師團經理部ニ引継クモノトス

(五) 機密書類

(1) 監獄要塞司令部ニ必要ナルモノ

ノ機密書類(重要ナル機密書類ヲ含ム)ニシテ第五師團司令部ヲ
 經由シテ配布ラセケタルモノ及廣島海軍要塞司令部調製ニ係ル

大正十五年七月中ニ萬々師が長ニ保管轉換ノ上申ヲ
 為シ各部隊ヨリ直接廣島灣要塞司令部ニ配布ヲ受ケタルモ
 今今年八月中ニ廣島灣要塞司令部ヨリ豊豫要塞司令部
 ニ保管轉換ヲナスモノトシ但シ吳鎮守府ヨリ配布ヲ受ケタル機密
 書類ハ今年八月中ニ一旦返納シ更ニ豊豫要塞司令部ニ受
 領ノ手續ヲナスモノトス

又前項以外ノ秘密書類ハ大正十五年八月中ニ豊豫要塞司令

部ニ引継ヲナスモノトス

3. 廣島湾要塞司令部調製ノ機密書類ニシテ他部隊ニ配布シテ

ルモノハ残務整理終了迄ニ一旦廣島湾要塞司令部ニ返納

シ更ニ豊祿要塞司令部ヨリ配布ノ手續ヲナスモノトス

(2) 廣島陸軍兵器支廠ニ必要ナルモノ

1. 機密書類(重要ナル機密書類ヲ含ム)大正十五年七月中ニ第

五師團長ニ保管轉換ノ上申ヲ為スモノトス

(3)

不用ニ属スルモノ

ノ機密書類(重用ナル機密書類ヲ含ム)ハ今年七月中ニ焼棄
セラル長官ニ返納スルモノトス

又前項以外ノ機密書類ハ今年七月中ニ焼棄スルモノトス

(4)

京簿其他

京簿其他ノ書類ハ今年七月中ニ焼棄スルモノトス

(4) 機密書類(重要な機密書類を含む)保管簿機密書類

類受領證綴並機密書類送証綴(目錄ト共ニ大正十五

年七月末日迄)ニ第五師司令部ニ引継クモノトス

又前項以外機密書類保管簿及機密(密書類諸表

簿ハ豊豫要塞司令部ニ引継クモノトス

(5) 秘密地圖謄写ニ關スル書類

地方官公衙其他ニ於テ秘密地圖ヲ謄写シタル創面及謄写ニ

関入一件書類大正十五年七月中ニ第五師軍司令部ニ引
継ぐモノトス

(六) 一般書類

豊原要塞司令部ニ必要ナルモノハ該司令部ニ引継ぎ其他ノモノ
ニシテ軍隊内務書類保存期限ノ定メアルモノハ残務整理終了迄ニ
第五師軍司令部及第五師軍經理部ニ引継ぐモノトス但し同
司令部歴史要塞記録及陣中日誌ハ大正十五年八月一日以後陸

0190

0808

軍省(第五師司令部經由)ニ送附スルモノトス

一 廣理方針

其ノ、經費増額并金錢事項

新設及停止ニ要スル臨時費ハ要案整理費及其他、經常費

相當於前ノ支弁トシ輸送費等、如ク合算支拂ヲ為ス經費

ハ區分仕譯ヲナシ増額申請ス

廣島海軍要案司令部ハ區分積立金ハ豐盛海軍要案司令部ニ移

算スル如ク申請シ共相金ニ成廳ニ際シ司令官適宜處分ス

二 處理方法及期日

經費増額申請ハ大正十五年六月中ニ手續ヲ了スルコトニ着意

シ其以前ニアリテハ収束急ナルモノアルヲ以テ契約打合終了後第一次

ノ申請ヲナス

兵器其他物品品目書ノ輸送ハ陸軍運輸部ニ契約又ハ業務依

托ヲナスモ經費ハ支拂ハ廣島海軍要塞司令部ノ担任トシ増額申

諸君ニ知照ス

馬込積立金、移算、大正十五年八月一日以後トシ共有金、廢止、

際司令官、定ムル古法ニ據リ處分ス

三、金額

別紙調書、如シ

附、申請ニ際シテハ明細書、必要ナル金額ニ内訳書ヲ添付ス

部 常 経							
科目	目	令達額	所要額	増(減)額	摘	要	
第二項廳費及修繕費	第一項武器出費	一、二八〇、〇〇〇	三、二四七、〇〇〇	一九六六、〇〇〇			
第四項自衛隊營造物修繕	第二項出張旅費	六二〇、〇〇〇	一、八〇七、〇〇〇	一、一八七、〇〇〇			
其他流用(制限セラルる費)	第三項経費及雑費	六六〇、〇〇〇	一、四四〇、〇〇〇	七八〇、〇〇〇			
第三項経費及雑費	第二十五目接待費	二四〇、〇〇〇	六、〇〇三、〇〇〇	四、三〇三、〇〇〇			
第二十五目接待費	其他流用(制限セラルる費)	五〇〇、〇〇〇	一、七四三、〇〇〇	一、二四三、〇〇〇			
第五項兵器及馬匹費	第一項武器出費	一、九〇〇、〇〇〇	四、三六〇、〇〇〇	二、四六〇、〇〇〇			
第一項武器出費	第二項出張旅費	八、五五七、〇〇〇	二、八三五、〇〇〇	五、八二二、〇〇〇			
第二項出張旅費	第三項経費及雑費	五、六五三、〇〇〇	一、七三二、〇〇〇	三、九三三、〇〇〇			
第三項経費及雑費	第四項自衛隊營造物修繕	二、三四六、〇〇〇	六、四四〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇			

大正十五年六月十一日

廣島海要塞司令部

経費増減額調書 (第五師團關係)

事	費	臨時	時	部	總
第三目工兵器具費	第三項	第三項	第六目	第七目	計
第四目軍用費(兵器)	第四項	第四項	第七目	第八目	計
第五項演習費	第五項	第五項	第八目	第九目	計
第六項送費	第六項	第六項	第九目	第十目	計
計	計	計	計	計	計
三四四〇〇〇	一五〇〇〇	一三三三三	一九四二	一八四六一	一三七八八
四二四〇〇〇	一五〇〇〇	五二二六	一〇六六	一九四二	一三七八八
(一一〇〇〇〇)	(七〇〇〇)	五二二六	一〇六六	一九四二	(五八三三)

臨時費		常費		経費		科	
計	計	輸送費	兵器及馬匹費	演習費	雑給及雑費	廳費及修繕費	目
一六、八八六、〇〇〇	一六、八八六、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	二、二八九、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	七、二五九、〇〇〇	二、八三八、〇〇〇	金額
三四六、〇六、〇〇〇	三四六、〇六、〇〇〇	一六、八八六、〇〇〇	二、二八九、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	七、二五九、〇〇〇	二、八三八、〇〇〇	摘要
内訳明細書省別各		内訳明細書省別各		内訳明細書省別各		内訳明細書省別各	
内訳明細書省別各		内訳明細書省別各		内訳明細書省別各		内訳明細書省別各	

経費増額調書

(第六師團関係)

大正十五年六月十一日

廣島海軍要塞司令部

其八 其他

一、廣島湾要塞司令部ニ奉戴シアル御真影ハ大正十五年中ニ
第五師ヨリ陸軍省ニ奉還スルト

二、廣島湾要塞地帯撤廃ノ事アルヤ否ニ其旨陸軍省ヨリ

電報スルト

三、廣島湾要塞残務期間ハ大正十五年十月三十一日迄ト其
人員ハ部員一下士以下四又ハ五ト概定シアルモ之ヲ決定ハ廣

島湾要塞司令官ヨリ大正十五年七月一日迄ニ第五師を長
 ニ申シ第五師を長ハ第六師を長ト協議決定、上陸軍大
 臣ニ報告スルコト

附録第三

第六師団司令部参動發第二九號

豊豫要塞司令部新設ニ関スル規定ノ件達

廣島湾要塞司令部

首題ニ関シテ記ノ通定

大正十五年六月二十六日

第六師団長

福田彦助

豊豫要塞司令部新設ニ関スル規定

第一條 豊豫要塞司令部新設ニ関シテハ大正十五年軍令陸乙第

九號及陸密第一五七號壹岐及豊豫要塞司令部新設並廣島

湾要塞司令部廢止要領及同細則以下單ニ細則ト畧行ス據ル外本規定ニ

據ル

第二條 細則第二條ニ依ル豐豫要塞司令部、御直屬奉載ニ関

シテハ新設後速ニ豐豫要塞司令官ヨリ師團長ニ上申スルモノトス

第三條 細則第三條ニ依リ豐豫要塞司令部ニ轉属セシメラル下士

ニ関シテハ第六師團長第五師團長ヨリ通報ヲ受クルモノトス

第四條 細則第十一條ニ依ル所要經費及豐豫要塞新設ニ要スル

經費ハ相當科目ノ支辨トシテ達豫算ニテ支辨シ難キモノハ廣島
 湾要塞司令官其ノ算出ノ譯書及事由ヲ具シ大正十五年六月
 中ニ師長ニ増額申請ノ手續ヲ爲スモノトス

第五條 豊豫要塞司令官ニ必要ナル機密書類(重要ナル秘密書類ヲ

含ム)中第五師を長ヨリ配布ヲ受ケタルモノハ廣島湾要塞司令官第

五師を長ニ対シ第六師を長ニ保管轉換ノ上申シナシ第六師を長

ハ用後之ヲ豊豫要塞司令官ニ配布スルノ手續ヲ執ルモノトス

前項以外ノ機秘密書類ニシテ豊豫要塞司令部ニ携行スルモノハ要

塞司令官入正十五年七月三十一日迄ニ第六師砲長ニ報告スルモノトス

第六條 豊豫要塞司令部ニ属スル師砲諸規定ハ大正十五年七

月十日迄ニ廣島湾要塞司令官ニ送付ス

第七條 豊豫要塞司令部所屬セハ要塞司令官直通ニ其ノ下ニ師

砲長ニ電報シ且職員表或通ヲ速ニ提出スルモノトス

第八條 細則第五條廣島湾要塞残務整理ノ期間並官氏名ハ廣

島津要塞司令官入正十五年七月一日迄ニ第五師団長ニ申シ第

五師団長ハ之ヲ第六師団長ト協議決定シ陸軍大臣ニ報告ス

モノトス

第九條 豊後要塞司令官ハ新設業務ノ実施完了セハ其ノ情况報

告書貳通ヲ師団長ニ提出スルモノトス

0624

0000

附錄第四

大正十年六月三十日

豐豫要塞司令部新設及黃島灣要塞司令部廢止業務ニ關スル規定

豊豫要塞司令部新設及横島湾要塞司令部廢止業務ニ関スル規定ノ件
 豊豫要塞司令部新設及横島湾要塞司令部廢止業務ニ関スル規定
 本冊ニ通り定ム

大正十五年六月三十日

横島湾要塞司令官

弘中

曉

豊豫要塞司令部新設及廣島湾要塞司令部廢止業務ニ関スル規定

第一總則

一 新設及廢止業務ハ大正十五年軍令陸乙第九號及陸密第一五七

號豊岐及豊豫要塞司令部新設並廣島湾要塞司令部廢止

要領及同細則並廢止業務ニ関スル第五師軍長新設業務ニ関

シテ第六師軍長ノ規定ニ夫々據ル外本規定ニ據ルヘシ

二 新設及廢止業務ハ大正十五年六月十二日行合打合セ決議

ニ基キ実施スヘシ若シ之ヲ決議事項ヲ変更スルノ要アルトキハ豫メ
本職ノ認可ヲ受クヘシ

三、業務ノ準備及実施ハ特ニ関係者トノ連繫ヲ緊密ニシ組織重
複ナキ如クスヘシ

四、各主任者ハ成ルヘク七月中ニ諸般ノ手續ヲ完了シ以テ残務整理業
務ヲ極力減少セシムルニ努メ且又残務整理ニ任スル者ニハ詳細ニ其ノ
業務実施ニ支障ナキ如ク指示シ置クヘシ

五、本規定中ノ月日ハ凡テ大正十五年ノ月日トスルヲ指シテ新設ノ營業年

第二 經理

六、新設及廢止業務ニ要スル豫算増額令達アル迄業務ノ實施ハ年

度令達豫算ニテ支辨シ得ルモノハ之ヲ實施ヲ妨ケスト雖モ不問サルモノハ

本職ノ認可ヲ得タル後ニ非レハ實施スヘカラス

七、廢止業務實施ノ為契約ヲ要スモノハ成ルヘラセ月中ニ契約ヲ完

了スヘシ

（以下略）

ハ残務整理期間ノ经理業務ニ関シテハ第五師團经理部長ノ處

ナリトス

第三輸送

九 豊豫要塞司令部ニ轉出スヘキ者ハ單獨赴任スルモノトス其出發地ハ

六 分隊ニ定ム

本職ハ一日横島出發赴任ス

十 副官ハ一日豊豫要塞司令部ノ事務ヲ開始シ得ル如ク佐賀團

ニ到着シ諸準備ヲ行スヘシ

十一、豊豫要塞司令部ニ轉出スル乗馬ハ八月一日佐賀廣ニ到着スル如ク

副官ニ於テ輸送ヲ計画実施スヘシ尚其輸送ニ際シテハ率領者一ヲ

附スヘシ

十二、豊豫要塞ニ携行スヘキ兵器其他諸物件ノ大部ハ成ルヘク同時陸

軍運輸部ノ船舶ニ依リ輸送スルモノトシ其ノ宇口岬出帆ヲ八月八日

ト豫定スルヲ輸送ハ左ノ如ク担任スヘシ之ヲ為各主任者ハ担任者ト

緊密ニ連繫シ翌週ニ於テ輸送物件、数量、日時、團平、有無
等ヲ前週水曜日迄ニ各担任者ニ通知スヘシ

区 分		担任者	（月）以後担任者
陸上（廣島）ニ於テ輸送 材料ノ整備	主 計		残務整理者 （工兵部員）
海上（廣島湾）ニ於テ輸 送材料ノ整備	工兵部員		
宇都宮ニ於テ集積区處	砲兵部員		
豊饒要塞ノ發送	工兵部員		
豊饒要塞ノ揚陸	砲兵部員		
同右陸上輸送材料整備	主 計		

前項物件ノ豊豫要塞ヘ輸送ニ方リテハ砲六科ノ下士ヲ率領者ヲ

ラシムヘシ

豊豫要塞ヘ携行スヘキ殘餘モノノ輸送ハ殘務整理者ニ於テ之ヲ輸

送ヲ実施スヘシ

第四 殘務整理

三、殘務整理期間ハ八月一日以後十月十日迄トシ殘務整理ノ爲殘留ス

ヘキ者附表ノ如シ

十四、工兵部員ハ残務整理ノ爲殘留スル者ヲ指揮シ第五師を長ノ区處

ヲ受ケ残務整理ニ任スヘシ

十五、工兵部員ハ残務整理ニ任スル者ノ内甲濟ノナレル者ヲ第五師を長ノ

認可ヲ得タル上成ルヘク速ニ豐豫要塞司令部ヘ赴任セシムル如ク努ル

ヘシ

第五 報告

十六、各主任者ヨリ本職ニ呈山スヘキモノを如ク定ム

種	類	期	呈出者	摘
各科日課予定表	七月五日	各主任者	七月一日以後 八月一日迄ノ分	
残務期間日課予定表	七月二十日	工兵部員	各主任者ハ各科平務ニ属スルモノ ヲ工兵部員ニ七月十五日迄ニ移牒ス	
各科日課実施表	八月五日	各主任者	八月十日以後 八月一日迄ノ分	
残務期間日課実施表	残務終了 後直ニ	工兵部員		
状況報告書資料	七月一日以後 後旬報	各主任者	残務期間モ含ム	
残務期間状況報告書	残務整理后 八月八日迄	工兵部員	残務期間ノ分	

其状況報告書資料の廃止及新設業務毎に区分し概ネ左ノ件ヲ記述

スルヲ要ス

1. 準備状況
2. 実施状況
3. 将来ニ関スル意見
4. 其他参考トナルヘキ事項及諸表

状況報告書資料中附表類等ニシテ将来変更ナキモノハ其都度

半紙白紙ニ謄寫ノ上各拾部宛副官ノ計ニ送附スルモノトス

十八、豊豫安塞司令部事務開始セハ副官ハ道ニ其自第六師長及
本職ニ電報スヘシ

十九、工兵部員ハ残務整理期間ノ規定ヲ定メ七月二十五日迄ニ本職ニ呈
出スヘシ

附表

残務整理に就ての人名表

備考

考一

本表外旅順要塞司令部に出スヘキ下士三名ハ兵

部員ノ区及テ受テ業務ニ服シ用済後赴任セシムトス

二、工兵部員外、残務整理ニ任スルモノハ業務終了セハ第五

師長ノ部員ニ得タル上豊豫要塞ハ派遣スルモノトス

陸軍工兵大尉

坂本 秀樹

陸軍工兵中尉

井上 辨治

陸軍砲兵少尉

関 宗 肇

陸軍工兵少尉

迫 奥 義 尾

陸軍工兵上等工長

錦 倉 金 正

自八月一日
至八月三十一日

陸軍砲兵上等工長

塩 飽 泉 夫

自八月一日
至八月十五日

8890

0015



廣島灣要塞司令部廢止ニ關スル狀況報告書

大正十五年十一月二十日
豐祿要塞司令部調製

6890

0038

計	配 賦 區 分			
	配 賦 先 部 数	配 賦 先 部 数	配 賦 先 部 数	配 賦 先 部 数
計	拾	貳	部	部
築城部本部長	1	1	1	1
兵器本廠長	1	1	1	1
第六師團長	1	1	1	1
第五師團長	2	2	2	2
陸軍省防備課	1	1	1	1
桑原少佐	1	1	1	1
豐後四基司令	1	1	1	1
部 1 校	1	1	1	1
豫 備 小	1	1	1	1

第一

廣島灣要塞司令部廢止關之狀況報告書目次

一、一般狀況

二、廢止關之準備狀況

其、一、一般狀況

其、二、人員

其、三、機密書類

其、四、地帶業務

其、五、兵器及兵器用物品

其、六、國防用土地、防禦築造物、全附屬物件

其、七、廢止關中備品、圖書

其、八、經理

廢止關之實施狀況

其、一、一般狀況

第二

第四附

第五表

其、二人馬

其、三機秘密書類

其、四地帶業務

其、五兵器及兵器用物品

其、六國防用土地、防禦營造物、全附屬物件

其、七廳中備品、圖書

其、八經理

殘務整理業務實施狀況

將來ニ関スル意見並參考事項

第一、臺灣要塞保管兵器處理一覽表

第二、廣島灣要塞保管兵器用物品處理一覽表(砲兵科)

第三、兵器ニ関スル引継書類目録

三十一	十三	十四	十五	十六	十九	三十五
-----	----	----	----	----	----	-----

第四國防用土地處理一覽表

第五防禦營造物(建物)處理一覽表

第六防禦營造物(工作物)處理一覽表

第七防禦營造物(通信網)處理一覽表

第八防禦營造物附屬物件處理一覽表

第九廣島灣要塞地帶標石及標札處理一覽表

第十船舶處理一覽表

第十一土地並防禦營造物移管に伴う引継書類目録

第十二工兵科兵器用物品及物品處理一覽表

第十三經理関心書類引継目録

第十四 其一電燈發電機射光機附屬物件調書

其二電燈機関附屬物件員數表

其ノ三 人

右

附

録

第十五 廢止業務ニ関スル日課豫定表

第十六 残務整理日課豫定表

第十七 廢止業務實施表

第十八 残務整理業務實施表

第十九 整理會議就テ司令官ノ司令部職責ニ関スル指示

第二十 廣島灣要塞司令部廢止並豐豫要塞司令部新設業務ニ関スル打合テ

決議録

第二十一 廣島灣要塞司令部廢止ニ関スル規定

第二十二 豐豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止業務カニ

關スル規定

第二十三 廣島灣要塞司令部残務整理規定

廣島灣要塞司令部廢止ニ關スル狀況

第一 一般狀況

廣島灣要塞司令部ハ早晚廢止セラルヘキモノト豫想シ大正十四年ニ入リ之カ準備ヲナシツルシカ大正十五年初メニ至リ益々其ノ機運濃厚ナルニ隨ヒ之カ準備ハ漸次具體的トナルニ至リ同年五月時偶々要塞參謀會議開催ニ遭フヤ參謀上京機ヲ利用シ廢止業務ニ關シ陸軍省ニ於テ關係者ト會同シ非公式ニ種々意見ノ交換ヲ行ヒ當部ニ希望ヲ開陳スル所アリ 爲メニ多大便宜ヲ得業務曙光ヲ認シニ至リ再來著々準備ヲ續行セリ

大正十五年六月九日軍令陸乙第九號及陸密第一五七號ヲ以テ壹岐及豊後要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領以下軍令同細則以下軍令ヲ發布セラレ六月十日ヨリ三日間廣島灣要塞司令部ニ各關係主任者集合打合せヲ行ヒ業務上多大便宜ヲ得シリ尙後之ヲ決議ニ基キ著々準備ヲ行ヘリ

次ニ第五師團長ヨリ廣島灣要塞司令部廢止ニ關シ規定ヲ達セラレタルヲ以テ同

令館更ニ詳細ニ廢止業務ニ關スル規定ヲ調製シ以テ業務施行ニ關シ準繩ヲ與ヘ
 右ノ如クシテ概テ六月中ニ諸準備完了セシヲ以テ七月以後經費ノ許ス範圍内於テ
 一部ノ實施ヲ行ヘリ而シテ八月一日以降所要ノ人員ヲ配置シテ十月十日迄ニ殘務整
 理終了ノ旨ナリシモ國防用土地及建物管理換ノ指令遲レル爲メ遂ニ殘務整理
 ハ十月盡日迄要シタリ此間亦工長ノ死亡、豐豫要塞携行兵器ニ關シ兵器本廠
 交渉ノ遲延經費増額令達ノ遲延、國防用土地建物管理換指令ノ遲延等若干ノ
 豫期セサル故障アリシモ各職員ノ奮勵努力ニ依リ概テ順調ニ困難複雑ナル廢
 止業務ヲ實施スルヲ得タルハ本職ニ誠ニ欣幸トスル所ナリ
 尚廢止業務ニ關シ陸軍省及第五師團司令部職員ノ適切ナル指導及援助兵
 器本廠、築城部本部、廣島陸軍兵器支廠並在廣諸部隊、シ大ナル援助ヲ蒙リ
 ケルニ對シ深甚ノ謝意ヲ表ス
 廢止ニ關シ行ヘル諸事項ノ處理附表第一乃至第十八、如シ

第二 廢止ニ関スル準備狀況

其 一 一般狀況

一 前述如ク大正十五年スリ廢止業務ニ関スル曙光ヲ認ルヤ同年四月以降著々之カ準備ニ着手シ時々司令部職員會議ヲ行ヒ又非公式ニ關係部外ト連絡ヲ取リ以テ銳意進捗ヲ圖セリ

二 大正十五年六月一日以下凡テ大正十五年六月一日トス司令部司令官司令部職員ニ對シ附錄第一「整理會

議ニ就テ司令官司令部職員ニ與フル指示ヲ與ヘ職員ヲ督勵スル所アリ

三 六月十日ヨリ三日間第五師團長主宰ノ許ニ關係者廣島灣要塞司令部ニ集會シ諸般打合せヲ行ヘリ該打合せ於テ決議セシ事項附錄第二「廣島灣

要塞司令部廢止並豐豫要塞司令部新設業務ニ關スル打合せ決議録ノ如シ

四 六月二十日第五師團長ヨリ附錄第三「廣島灣要塞司令部廢止ニ關スル規定ヲ達セラル

五 六月二十八日砲臺監守ヲ召集シ廢止業務ニ關シ細部ノ指示ヲ與ヘリ

六、六月三日要塞司令官ハ附録第四「豊豫要塞司令部新設及廣島要塞司令部
廢止業務ニ関スル規定」ヲ調製シ業務實施ニ関シ準繩ヲ與ヘシ
七、以上六月中ニ概ネ整理シ具体的方法定マリシヲ以テ之カ日課ヲ豫定シ七月ヨリ準備
傍一部實施スル

八、廢止業務ニ関スル日課豫定表附表第十五、如シ

其ニ 人馬

一、將校下士

要領及細則ニ依リ下士以上ハ凡テ退職者ヲ出スコトナク豊豫要塞司令部、旅順要
塞司令部及廣島陸軍兵務支廠ニ轉属スルコトナリシヲ以テ六月中ニ之ヲ決
定シ概ネ關係者ニ通報報告及上申ノ手續ヲ為セリ而シテ右ノ内下士轉属ニ
關シハ本人ノ希望、健康狀態、家庭狀況、進級狀況、各人ノ素質等ヲ顧慮
シ数次慎重審議上決定セリ

二、雇傭人

大正十五年三月、行政整理ノ際退職希望者ヲ詮議シ凡テ希望ノ如ク退職賜
 金ノ恩典ニ浴セシメテ退職セシメ其、他馬丁ハ豊豫要塞ニ引續キ雇傭スル如ク
 セリ但シ職ニ行政整理セラレサルヲ以テ發止ニ際シ勤績賞與ヲ與ヘ解傭スル方
 針ナリシカ六月十日ヨリ、部外關係者、打合せニ依リ定期職工二名及海軍保轉兵器
 手入ニ使用中ノ職工四名ハ其儘廣島陸軍兵器支廠ニ又現ニ築城部豊豫支部ニ
 勤務中ノ兵器職工二名ハ引續キ豊豫要塞司令部ニ轉属スルコトニ協定セリ
 又職工二名ハ廣島灣要塞司令部ヨリ引續キ豊豫要塞司令部ニ勤務スルコト
 又其、他七月三十一日解傭スルコトセリ
 三、七月三日本工長一名腦脊髓膜炎ニ急死セラル以テ直下ニ之カ補缺ヲ第五師團
 長ニ上申セシカ同月十日補充セラレタリ
 四、乘馬二頭ハ稍々素質不良ナリシヲ以テ之カ交換方第五師團長ニ申請中ノ處
 七月三日交換セラレタリ

其 三 機密書類

一 附録第二決議錄依り第五第六師團司令部主任者ト協定ヲ遂ケ七月上旬迄大部ノ引継準備ヲ完了シ同月八日第五師團長ニ保管轉換方上申セリ

其四 地帯業務

一 地帯業務ニ関スル諸書類モ亦附録第二打合セ決議錄ニ基キ概ネ七月中旬旬迄大部ノ準備ヲ完了セリ

二 廣島灣要塞地帯ハ大部吳軍港境域ト重複セルヲ以テ地帯業務ニ關スル整理ニ関シテハ数次吳鎮守府主任者ト協定シ準備ヲ行ヘリ

其五 兵器及兵器用物品

一 細則ニ依リ動員用兵器及所要兵器用物品ノミヲ豊豫要塞ニ携行シ其他現狀ニ儘廣島陸軍兵器支廠ニ返納スルモノシテ準備ヲナシテ六月十日ヨリノ打合セ依リ保管戰備用兵器ノ大部ヲ兵器本廠ノ依託ニ依リ携行スルコトヲ簡便ニ基キ諸般準備ヲ行ヘリ而シテ之カ準備ハ概ネ六月中ニ完了セリ

ニ右準備中豊豫要塞携行兵器中、斯加式九速加二門ハ廣島陸軍兵器支廠ニ
 手撤去上宇品ニ集積シ爾後運搬ヲ廣島灣要塞司令部ニテ擔任スルコトニ協
 定済ナリシカ七月七日右撤去及豊豫ハ輸送モ凡テ廣島陸軍兵器支廠ニ擔
 任スルコトニ變更セリ

又同日兵器本廠ヨリ兵器表改正ノ關係上應式測遠機五箇及ヒ洗滌唧筒四
 箇ハ豊豫要塞ニ携行セサルコトノ通牒ヲ受ケリ

三、守城工兵器材ハ制式ノ改正及豊豫要塞司令部ノ定数表ノ制定ヲ待テ兵器
 廠ヨリ支給セラルルコトトシ豊豫要塞ハ携行セズ全部現狀ノ儘廣島陸軍兵器
 支廠ニ返納スルコトトセリ

其 六 國防用土地防禦營造物同附屬物件

一、藝豫要塞廢止ノ實績ニ鑑ミ此業務複雑至難ナルヲ顧慮シ該業務ニ関
 シテハ特ニ慎重研究シ諸種ノ準備ニ努力セリ

二、大正十五年二月以後廣島灣要塞廢止機運進キ在ルヲ察知スルヤ非正式ニ各方面

意向ヲ探究シ同年五月要塞參謀會議、機ヲ利用シ參謀ト陸軍省工兵課、築城部本部及兵器本廠主任者ト打合セ概ネ具体案ヲ得六月十日ヨリ、廣島ニ於テ、打合セ會議ニ於テ畧々決定案ヲ得シリ、爾後該打合セニ基キ諸種ノ準備ヲ行ヘリ

三、諸種ノ準備書類畧々完リセシヲ以テ六月二十五日以來防禦營造物及同附屬物件ノ處理ニ關シ築城部本部長ト数次協議シ七月三日最後ノ協議ヲ爲シ同日除籍ニ關スル申請ヲ大臣ニ提出セリ又防禦營造物全般ニ關シテハ七月二十三日司令官ノ意見ヲ大臣ニ上申セリ

四、防禦營造物中築城部本部ニ移管スルモノハ七月二十四日陸軍省副官ヨリ當部計畫通リ移管ノ通牒ニ接セリ

五、土地ニ關シテハ被移管部隊ト屢次交渉協議ヲ遂ケ八月六日築城部本部長ヨリ第五師團經理部ニ引継ヘキ土地ノ通牒ニ接ス

其ノ七、廳中備品及圖書

- 一 廳中備品細則ニヨリ其ノ大部ヲ豐豫要塞ニ引継キ携行シ一部ヲ廣島陸軍兵器支廠ニ引継キ廢品程度ノモノハ成ルヘク廢品處分スルコトトシ準備ヲ行ヘリ
- 二 圖書モ亦細則ニヨリ大部ヲ豐豫要塞ニ携行シ不要ノモノハ燒却シ他隊ニ於テ用途見込アルモノハ之ヲ第五師團經理部ニ引継クコトトシテ準備ヲ行ヘリ
- 三 以上諸準備ハ概ネ七月中旬迄ニ完了セリ

其八 經理

- 一 本年度令達豫算中兵器及馬匹費ヲ除キ他ノ費目ハ約半年分ヨリ令達セラレラス爲メ廢止ノ爲メ要スル經費モ亦兵器及馬匹費ヲ除キテハ到底不足ナルコト明ニシテ増額申請ノ要アルヲ認メ且ツ之カ令達ナキトキハ廢止業務ニ支障ヲ生スルヲ顧慮シ細則ノ發布ヲ待ツコトナク當部ニ於テ各業務ノ處理方法ヲ概定シ之ニ基キ算出基礎ヲ定メ四月以降之カ研究ヲ續ケタリ

- 二 次テ六月九日細則ノ發布ヲ見六月十日ヨリ各主任者ノ廣島ニ於ケル打合せニ於テ審

議決定セル事項ニ基キ増補訂正要アルヲ認メ成ルハ速カニ増額申請セサレハ
業務實施ニ支障ヲ來スヘキヲ思ヒ銳意之ヲ調査ヲ進メ慎重審議シ七月一
日第五師團長ニ増額申請手續ヲ爲シテリ

第三 廢止ニ関スル實施狀況

其 一 一般狀況

一 廢止業務ハ極力殘務整理業務ヲ減少セシムル方針ヲ以テ經費ノ許ス範圍内ニ於テ成ルハ大部ノ業務ヲ七月中ニ完了スル如ク努力セリ但シ法規上又ハ業務上七月中ニ實施シ得サルモノ例令ハ地帯標石ノ撤廢通信網ノ處分ノ如キモノハ止ムヲ之ヲ殘務整理者ニ委ヌル由ニ至シ

二 右實施間經費ノ増額令達ノ遲延下士一名ノ急死其他部外關係ト交渉事件ノ齟齬等アリシモ準備期間長カリシト六月十日ヨリ各關係主任者會同シ具體的詳細ナル打合せヲ行ヒタルト一方各職員ノ異常ナル努力トヨリ概本順調ニ各業務ヲ實施シ得タリ

其ノ廢止業務實施表附表第其ノ乃至其ノニ如シ

其 二 人 馬

一 將校下士

將校ハ豫テ上申セリ通リ八月一日附テ以テ砲兵部員一名ハ廣島陸軍兵器支廠
ニ其他ハ何レモ豊豫要塞司令部ノ相當職員ニ轉補セラレシリ
下六細則附表第三ヨリ配屬ヲ準備上申シル如ク八月一日ヲ以テ各新所
管ニ轉入セリ

二、雇傭人

雇傭人(職エヲ除ク)ハ豊豫要塞ニ引續キ雇傭ヲ希望セル馬丁三名ヲ除キ
其他本年三月三十日退職賜金ノ恩典ニ浴セシメテ解傭シ四月以後臨時ニ
雇傭セシモノ凡テ七月三十日ヲ以テ解傭セリ

職ニ三月行政整理ノ恩典ニ浴セシメ得サリシヲ以テ左ノ如ク處理セリ

定期職工二名 普通職工四名 廣島陸軍兵器支廠轉屬
普通職工一名 豊豫要塞轉屬

其他、職工全部(十名)職工規則ニ依ル賜金ヲ給シ七月三十日解傭セリ

三、乘馬

乘馬凡千豊豫要塞ニ牽連スルコトニ細則ニ依リ定メラレシムヲ以テ七月二十八日
廣島驛發豊豫要塞ニ汽車輸送セリ

其 三 機 密 書 類

一 處理方法ハ附錄第二決議録ノ如クニテ概ネ七月上旬準備ヲ完了セラルヲ以テ
廣島陸軍兵器支廠ニ返納スル兵器ニ附帶セルモノハ七月九日談支廠ニ又直接當
部ニ配布ヲ受ケタルモノハ同日天々當談所屬部隊長ニ返納セリ

二 不要秘密地圖其他不要ニ屬スルモノハ七月十四日第五師團司令部ニ返納セ
リ

三 築城部本部所屬モノハ殘務整理期間ニ必要ナルモノ一旦之ヲ返納シ更ニ借用ス
ルノ手續ヲ取ルヲ至當ト認メラルヲ以テ右ノ手續ヲナシタリ

四 豊豫要塞所要モノハ保管轉換ノ上申ヲナシ兵器其他物品共ニ八月八日午品
出帆、船舶ニヨリ豊豫要塞ニ輸送セリ

其 四 地 帶 業 務

一 新ニ設定セラルヘキ海軍吳要塞地帯ニ関シテハ吳鎮守府ト密接ナル連繫ヲ取
リ該地帯内ニ属シ將來参考トナルヘキ書類ハ大部ハ七月十三日吳鎮守府ニ
送附シ殘部ハ殘務期間ニ送附スルコトセリ

二 不要書類ハ七月二十日焼却セリ

三 七月三十一日陸軍省兵課ヨリ「廣島灣要塞八月一日ヨリ以テ要塞地帯ヲ撤廢
セラル旨告示セラル」トノ電報ニ接シタルヲ以テ八月一日要塞地帯内市町村役場
及警察署、憲兵其他關係箇所ニ廣島灣要塞八月一日ヨリ以テ撤廢セラ
ル、ヒ日及新ニ同日海軍吳要塞地帯ヲ設定セラル其詳細ハ吳鎮守府ニ就テ承
知セラルヘシトノ通牒ヲ發セリ

其五 兵器及兵器用物品

一 兵器及兵器用物品ハ豫テ計畫セル如ク七月一日ヨリ之ヲ假返納ヲ開始シ豫定
ノ如ク七月三十一日ヲ以テ大部ノ假返納ヲ終了セリ右假返納ハ各主任者現場ニ於テ
現品ヲ豫調製セル返納兵器所在區分表ト照合受授ヲナセリ

二司令部倉庫及宇品倉庫モ、引継ハ殘務整理期間ニ於テ引継フコトナレリ

其六 國防用地及防禦營造物並同附屬物件

一國防用地及防禦營造物並同附屬物件モ亦七月一日ヨリ之カ假引継ヲ開始シ
第五師團經理部及吳鎮守府ニ引継クヘキモノハ現場ニ於テ各當該主任者立會ノ
上豫メ調製セル引継書類ヨリ七月中ニ全部、假引継ヲ終リセリ

二内務省ニ移管スヘキモノハ廣島縣廳トノ交渉遽延シタル爲メ七月中ニ假引継ヲ
實施スルニ至ラス殘務整理期間ニ於テ實施スルノ已ムナキニ至リ

三以上國防用地及建物ハ管理換ノ指令未着為メ假引継ニ止メ本引継ハ殘務
整理期間ニ於テ行フコトナレリ

其七 廳中備品圖書

一廳中備品ノ處理モ亦概ネ豫定ノ如ク進捗シ豐豫要塞ヘ引継ヲ行スヘキモノハ七月
二十日ヨリ梱包ニ著手シ兵器類ト共ニ八月八日宇品ヲ出帆シ得ル如ク梱包集積
ヲ行ヘリ

二、廣島陸軍兵器支廠ニ引継クヘキモノ及廢品處分スヘキモノハ殘務整理期間ニ於テ行フコトトセリ

三、圖書ノ處理モ亦概ネ廳中備品同シク概ネ七月中ニ完了セリ

其ハ 經理

一、廢止ニ要スル經費ノ增額申請ハ七月一日ヲ以テ申請ノ手續ヲ爲シタルモノカ令達ハ七月中ニ遂ニ來ラス爲シ各業務準備及實施ニ稍々支障ヲ生シタルモ第五師團經理部ノ援助ヨリ概ネ豫定ノ如ク各業務ヲ實施スルヲ得タリ

二、廢止以前ニ於ケル諸經費ノ決算ハ殘務整理期間ニ於テ爲スノ已ムナキニ至リシモノ諸事銳意緊縮ニ努メタルヲ以テ增額令達範圍内ニ於テ充分支辨シ得ル見込ナリ

三、委任經理積立金ハ豐豫要塞司令部ニ移算方申請七月五日許可ヲ得タリ

四、共有金中將校集會所ノ分ハ其殘額ヲ豐豫要塞司令部ニ引継キ下士判任官集會所ノ分ハ廢廳際全部使用セリ

五、廢止要セシ接待費ハ令達額申請ノ半部ニテ不足ナリシヲ以テ一部第五師團司令部ヨリ補填ヲ受ケタリ

六、殘務整理期間ニ於ケル經理業務ハ第五師團經理部ニ於テ擔任セラルル如ク第五師團長ニ申請七月三日認可ヲ得タリ

七、廢止爲メ特ニ増額令達ヲ受ケタル金額左ノ如シ

軍事費 廳費及修繕費 一、六四二円

防禦營造物修補 一、六四二円

雜給及雜費 一、〇三二円

出張旅費 一、〇三二円

輸送費 運搬費 四、八五〇円

國防充備費、要塞整理費 三、四六五円

兵器費 一、〇三五円

器具機械費 二、四三〇円

圖書費

1990

23

第四 残務整理業務實施ノ状況

第一款 一般ノ状況

廢止業務ハ極力七月中以テ其ノ大部ヲ終了シ以テ残務整理業務ヲ輕減スル方針ヲ執リ其實施モ亦概ネ所期ノ如ク進捗セシカ土地、防禦營造物ノ移管ニ関シテハ稍々豫定ノ如ク進捗セシテ一部ヲ残務整理期間ニ處理セサルハカラサルニ至リ其ノ他法規上八月一日以前ニ實施不可能ノモノハ残務整理期間ニ行ハサルヘカラス以上ノ如ク残務整理業務モ亦相當ニ多忙ナリシモ残留者一同能ク奮勵努力シ以テ此ノ難事業ヲ終了シ得タルハ本職ノ誠ニ満足スル所ナリ

第二款 實施、狀況

其一 廣務

一、残務整理期間及残務整理人員ハ七月一日セラ決定シ
第五、第六師團長ニ上申セシカ七月初旬木ユ長ノ
急死ニ遭ヒ七月十三日更ニ變更上申シ全月二十日認可
テ得テ其ノ人名期間附録第五「廣島灣要塞司令
部残務整理期間」規定ニ示セルカ如シ
旅順要塞司令部ニ轉屬スヘキ下士二名ハ残務整理
業務ヲ援助セシノアリシガ八月二十五日用齋トナリシヲ以テ

赴任セシメタリ

二、残務整理期間ニ於ケル規定ハ附録第五ノ如ク七月
二十九日第五師團長ニ申請認可ヲ得タリ

三、八月一日廣島灣要塞司令部ヲ閉鎖シ残務整理ノ事

三上

務ヲ開始シ右ノ旨第五師長ニ報告セリ

四八月一日廣島湾要塞地帯ヲ撤廢セラレ同口新ニ海軍
 兵要塞地帯設定セラレタル旨関係町村長警察署
 長其ノ他ハ通牒セリ

三兵鎮守府ニ地帯業務ノ參考トシテ從來廣島湾要
 塞地帯ト兵軍港境域ト重複セル區域ニ關スル地帯
 業務關係書類ハ其ノ大部ヲ七月十三日及全月二十日
 發送セシク殘餘ノモノハ八月二日、三日追加發送セリ

又前記以外ノ地帯関係書類ニシテ將來參考トアルハ
 キ元ノハ八月三日陸軍省防備課ニ發送シ殘餘ノ不要
 書類ハ概テ八月中旬迄ニ整理焼却セリ

六一被廢務ニ關スル諸書類中從來未整理ノモノハ八
 月一日以後概テ八月中旬ニ整理ヲ完了シ欠々處置ヲ終

ハレリ

七、残務整理期間借用ノ機密書類及秘密地圖中用済
トナリタルモノハ逐次返納シ十月二十八日迄ニ全部ヲ整理セ

其二 砲兵業務

一、兵器及兵器用物品ノ返納ハ其ノ大部ヲ七月中ニ
終リ、残部ノモノ即チ廣島海軍要塞司令部倉庫及宇品
倉庫所在ノモノヲ八月三日及四日ニ廣島陸軍兵器工廠ニ返
納シ八月九日正式ニ返納兵器及引継物品受授ヲ完了セリ
又、今支廠ニ引継クモノ兵器ニ關スル諸書類ハ八月十九日其
ノ引継ヲ完了セリ

二、諸書類中未整理ノモノハ九月十日其ノ整理ヲ完了セリ

其三 二 兵業務

一 兵器及兵器用物品

兵器及兵器用物品ノ返納ハ其ノ全部ヲ七月中ニ終リ又

廣島陸軍兵器工廠ニ引継タヘキ諸書類ハ十月六日其ノ引

継ヲ完了セリ兵器處理區分ハ附表第一其ハ全引継書類ノ

區分ハ附表第三其ハ如シ

二 國防用土地

一 第五師團經理部ニ移管豫定ノモノハ七月以來假引継ヲ

行ヒツツアリシカ八月六日築城部本部ヨリ第五師團經

理部ニ移管スヘキ通牒ニ接シ八月十日正式ニ土地ノ受授

ヲ完了セリ

右移管ニ方リ六月十日ノ打合決議ニヨリ大君低砲台土地

ノ一部ヲ第五師團經理部ニ移管スル如クシ全部ノ引

継ヲナシアリシモ右築城部本部ヨリノ通牒ニ基キ改正

引渡ヲ行ヘリ

内務省ニ移管スヘキ土地ニ関シテハ八月九日築城部
本部ヨリ通牒ニ接セシテ八月十六日廣島縣廳主任者
ト現地ニ於テ引渡ヲ行ヒ九月十一日正式ノ受換ヲ完了セリ
海軍省ニ移管スヘキモノハ已ニ七月十九日以來主任者現地
ニ立會假引渡ヲ行ヒツツアリシカ十月十五日築城部本部
ヨリ移管通牒ニ接セシテ以テ全月ニテ受換ヲ完了セ
リ但シ之カ移管ニ関シテハ條件ヲ附セルコト六月十日ノ
打合ニ同シ(附録第二參照)
尚大君低砲臺敷地ハ全部海軍省ニ移管ノコトニ決セ
ラレシテ以テ右ノ如ク引渡ヲ行ヘリ從テ左記條件ヲ附加
セシレタリ

大君低砲台及同交通路敷地中現繫船場附近及

海軍電燈所敷地ノ西南側附近ハ陸軍ノ使用ヲ承
認セラルコト

以上國防用土地ノ處理區分附表第四ノ如シ
三、防禦營造物

ノ第五師團經理部ニ移管スヘキモノハ七月中土地ト同
時ニ假引渡ヲ終イセシカ八月三十日陸軍省ヨリ第五師
團經理部ニ移管スヘキ通牒ニ接シ九月三十日正式ノ受授
ヲナセリ

右移管通牒ニ依リハ六月十日打合ニ決議ノ大君低砲台
建物及エ作物ノ一部ノ處理不明ナリシク十月十四日ニ至リ
今砲台ノ建物ノミ第五師團經理部ニ移管セラルコト
トナリ今月二十日其受授ヲ完了セリ

又吳鎮守府ハ移管スヘキモノハ七月中土地ト同時ニ假

引渡 = 終リシカ十月十五。陸軍省ヨリ吳鎮守府ニ移管
ス。其通牒ニ接シ十月二十二日正式ニ其ノ受授ヲ完了セ
尚大尾低砲台敷地内ニ在ル工作物ハ全部吳鎮守府ニ
移管スルコトナリタルモ「大尾低砲台ノ工作物ノ一部ハ陸軍
ノ使用ヲ承認セラルルコト」ノ條件ヲ附加セラルタリ
其内務省ハ移管スヘキモノハ八月十六日土地引渡ト同時ニ假引継
テナリシアリシク十月二十六日陸軍省ヨリ通牒ヲ受ケ十月二十九日
工作物ノミ正式ニ受授ヲ完了セリ
宣讀砲台ノ建物ハ内務省ニ移管ノ豫定ナリシカ十月二
十六日「藏者」ハ引継ヲ要スルニ付「廣島稅務監督局
ハ引継スヘキ旨通牒ニ接シタルニ依リ全月二十九日現地ニ至
リ主任者立會ノ上正式ニ受授ヲ完了セリ
其除籍スヘキ營造物ノ處理ニ就テハ八月三十日陸軍省

ヨリノ通牒ニ依リ十月十五日迄ニハ夫々其ノ整理ヲ完了セリ
 又通信綱ハ概シテ六月十日ノ打合セ決議録ノ如ク處理
 ス

以上ノ處理區分ハ附表第五六七ノ如シ

四 防禦營造物附屬物件

防禦營造物附屬物件ノ處理區分ハ附表第八ノ如シ

右ノ電燈新末機ニ屬スルモノハ七月三十日陸軍省ヨリノ通牒

又今月二十六日築城部本部ヨリノ通牒ニ依リ八月甲ニ其ノ

處理ヲ終レリ又不用電燈機關ハ賣却スルストシ八月

三十日第五師團經理部ニ之カ手續ヲ委託シ十月十五日

分解撤去ヲ完了セリ

五 要塞地帯標識

要塞地帯標石及標札ノ撤去方法ニ就テハ最モ苦心セシ處

ニシテ經費日數ノ關係及標石位置指示困難ナル關係上
概シテ左記ノ方法ニ依リ之ヲ撤去ヲ實施セリ而シテ該標
石ハ現地ニ於テ破壊シタル上地中ニ埋填シ海岸ニ近キ天
ノ海中ニ投シ山地ニ在リテハ文字等ノ不明ナル如ク切斷シ又依
賴セシモノニ在リテハ所望ニ應シ文字不明ナル如ク抹消セシムル如
ク實施セリ

ノ現在ノ保壘砲台附近ノモノ（主トシテ第一區第二區第三區
標石及標札トス）ニ在リテハ砲台監守指導ノ許ニ直接
撤去ス

又其ノ他ノモノニ在リテハ各標石標札植立地所有者ニ撤
去セシムル如ク各市町村役場關係官公署ニ依頼狀ヲ
發送シ其ノ撤去セルモノハ其ノ旨九月二十日迄ニ通牒スル
如クセリ

三前項ノ箇所ハ職莫ヲシテ一部實施ノ状況ヲ觀察ス

ト同時ニ未撤去ノモノハ其ノ際直接撤去スル如クセリ

以上ノ如キ方法ニ依リ第二項ノモノハ九月七日迄ニ全部ヲ終リ第一項ノモノハ大部撤去齊ノ回答アリシモ一部尚未回答ノモノアリシカ該箇所ハ多ク山間僻地ナルヲ以テ第三項ノ要廢ニ依リ實施ノモノ以外ハ其ノ儘放棄スル事トセリ第三項ノモノニ在リテハ九月二十一日ヨリ十月一日ノ間ニ於テ實施セリ

以上撤去實施ノ状況ヲ附表第九ノ如シ

六土地營造物關係書類

ノ國防用土地台帳ノ整理ニ就テハ打合ヒテ議事項ニ基テ整備中ナリシ處第五師團經理部ハ移管ノモノハ八月六日廣島縣廳ハ移管ノモノハ八月九日吳鎮守府ハ移管ノモノハ十月十五日夫々管理換ノ通牒ニ接セシヲ以テ逐次之ヲ整備ニ着

手シ十月十九日其ノ整理ヲ完了セリ

防禦營造物台帳ノ整理ハ七月二十日申請及全月二十日
伺公ノ通リ指令アルモノトシ夫々整理ニ着キシツツアリシカ
指令ノ月日・順序等不明ナルタメ指令後ニアラサレハ處理
シ難キヲ以テ止ムヲ得ス其ノ指令ヲ待テツ、アリシカ第
五師團經理部ハ移管ノモノ及除藉處分ノモノハ八月三
十日指令ニ接シタルヲ以テ一部ハ的確ナル整理ニ着キス
ルヲ得タリ更ニ吳鎮守府移管ノモノハ十月二十二日廣島
縣廳及廣島稅務監督局ハ移管ノモノハ十月二十五日夫々
指令ニ接シタルニ依リ始メテ全部ノ整理ニ着キスルヲ
得十月二十七日該台帳ノ整理ヲ完了セリ

國有財産増減報告及同増減計算書ハ時機ヲ得ル毎
ニ準備シ管理換ノ指令セラル、度毎ニ報告シ大部ハ十

月二十日迄ニ終了シ一部ハ十月二十九日全ク完了セリ

三十二

以テ防禦營造物受授證書並ニ之ニ添付スヘキ建物平面圖一
般圖配置圖ノ調製ハ八月十一日より着手シ九月三十日
ヲ以テ第一次ノ分ヲ終了セリ又吳鎮守府移管ノモノニ對
シテハ九月廿七日築城部本部ヨリ營造物竣功圖書ノハ
部ヲ引継ク旨通牒^{通知}セシ依リ建物平面圖等ノ謄寫ヲ
省略シ財産台帳寫ヲ添付スルコトシ十月二十六日全ク終
了セリ

其ノ但土地營造物整理ニ伴ヒ引継セシ書類ノ區分附表
第十一ノ如シ

船舶

船舶ノ處理區分附表第十ノ如シ

其四 經理業務

一 廳中備品及圖書ノ大部ハ豐務要塞司令部ニ引継グスト
 ナリ其ノ大部ハ八月八日午出帆船ニヨリ發送シ殘部ハ十月
 六日帆船ニヨリ發送シ經理關係ノ書類ハ終了後第五師團經
 理部ニ引継グナセリ其ノ引継目録附表第十三ノ如シ
 又廣島陸軍兵器工廠ニ引継グヘキモノハ八月二日之カ引継グ行ハ
 二 殘務整理期間ノ經理業務ハ七月三日申請認可ノ結
 果第五師團經理部ニ於テ擔任セラル、エトナリ同部ヨ
 リ雇員一名ヲ專屬セシメラレ且時々主計正ヲ派遣監督
 指導セラレ爲メニ多大ノ便宜ヲ得困難複雜ナル經理業
 務ヲシテ支障ナカラシメラレタルニ對シ謝意ヲ表ス
 三 殘務整理期間ノ經理業務ハ十月九日第五師團經理
 部長ノ検査ヲ受ケタリ

一、一般ニ就テ

第五 將來ニ関スル意見並參考事項

1. 廢止ニ関スル内命ハ成ルヘク速カナルヲ要ス

今次廣島灣要塞ノ廢止ニ関シテハ當部ニ於テ之カ鐵運進キニ在ルヲ察知シ
著々研究準備ヲナシ又陸軍省當局者ヨリ非公式ニ種々指導援助ヲ受ケ大ニ
便益ヲ得タルモ之カ規定ハ六月中旬ニ至リ發布セラレ之ニ基キ決定的準備業
務ニ著手シタル狀況ナリ將來此種規定ハ成ルヘク速カニ發布又ハ公式ニ内報セ
ラレコトヲ望ム

2. 關係各主任者ヲ同一地ニ集合打合セテ行フヲ最モ緊要トス

今次廢止業務ニ関シテハ廣島ニ於テ各關係者三日間打合セテ行ヒタル爲メ至
大ノ便宜ヲ得タリ若シ此ノ打合セラ行ハサリシナラニハ到底今回ノ如ク圓滑實
施シ得サルニシト確信シ該打合セノ効果至大ナリシヲ痛感セリ
3. 準備ヲ周密ニシ且ツ一度方針ヲ決定セハ變更セサルヲ要ス

二、人馬ニ就テ

要塞ノ廢止業務ハ複雑多岐ニシテ其ノ關係スル範圍廣大ナルヲ以テ之カ準備
ハ最モ周密ナルヲ要スルト共ニ度方針ヲ決定セハ該方針ニ邁進スルコト必要
ナリ

一、廢止業務實施中木下長一名死亡シタル爲メ業務上シタルノ支障ヲ受ケタル
モ其ノ補充速カカリシ爲メ全般ニ亘リテハ影響ヲ見サリキ

二、旅順要塞司令部轉出下士ノ赴任ヲ延期セシメラレタルハ業務實施ニ關シ便
益ヲ得タリ

三、機密書類ニ就テ

一、師團司令部ヲ經由テ配布ヲ受ケタルモノト當部カ直接調製官ヨリ配布ヲ
受ケタルモノトアルシメ師團長ノ保管轉換ニ屬スルモノト要塞司令官直接保
管轉換スヘキモノトアリ其ノ上ハ複雑ヲ生シタリ

2. 書類ノ配布ハ將來師團司令部ヲ經由テ配布スル如クハ整理上便宜ナリ

四、地帯業務ニ就テ

要塞地帯ハ吳軍港境域ニ属シ且新設吳海軍要塞地帯ニハシテ
吳鎮守府ト交渉アリモ彼此圓滿ナル協調ニ因リ又障ナク實施スル
コトヲ得タリ

五、兵器及兵器用物品ニ就テ

兵器及兵器用物品所在區分表ヲ調製セタルコトハ返納及引継作業ニ大ニ便
益ヲ與ヘタリ之ヲ調製ニ數日ヲ要シタルモノアリシカ爲メ返納引継ニ多ク大ニ
便ヲ得順調ニ實施シ得タリ將來ノ引継ハ是非共調製スルヲ可トス

2. 兵器用物品所在區分表中物品名ヲイロハ順ニ整理シ置クヲ便トス

六、國防用土地、防禦營造物及同附屬物件ニ就テ

國防用土地ノ分割管理換スルコトハ止ムヲ得サル状況ハ避ケルヲ可トス今
次廢止業務ノ多端ナル場合ニ於テ地番地目ノ分割、實地ノ測定出來サ
ルニ依リ正確ヲ期シ難ク尚且於テ分割シ得ルモノナリ又管理換指令

以前ニ實施スルトキハ徒勞ニ屬スルニ至レハナリ

三才山

又國防用土地防禦營造物移管指令、最終ハ整理期日十五日以前ニ指令サレシコトヲ望ム

今回指令最終ハ整理期日五日前ナリ然レトモ九日前ニ電報ニテ其ノ大要ヲ承知シタルト移管物件ノ甚ク僅クナリシ依リ期日内ニ漸ク終了セシムヲ得タリ

又將來地帯標識ノ保存爲少クモ一年回ノ手入補修ヲナスト同時ニ關係町村役場憲兵警察署ニ其ノ植立位置ヲ要圖等ニテ知ラシメ置クヲ要ス

要塞地帯標石ノ撤去ニ際シ其ノ所在不明ナリシモノアリ是等ハ主トシテ砲臺監守ノ監視區域外ニテ且ツ既ニ廢止砲臺ニ屬シ平素此ノ附近ノ雜草刈取及文字等ノ補修手入ノ充分ナリシ起因ス殊ニ羊齒類ノ繁殖ス土地ニ於テ然リトス又都市ノ擴張ニ伴ヒ建設當時ハ荒地又ハ田畑ナリ

シテ年ヲ経ル毎ニ人家調査シ其ノ標石ハ屋敷内ニ位置スルモノアリ或ハ之ヲ撤シテ門口ニ立テ掛ケアルモノアリ要スルニ以テ如キ状況ニ在ルモノヲ發見セシ依リ將來ハ巡視調査ヲ密ニシ之ヲ保存ニ遺漏ナキヲ期スルヲ要ス

ナ 廣大ナル地域ニ亘ル要塞標識ノ撤去ハ將來關係町村役場官公署ニ依頼シ撤去スルヲ有利トス但シ撤去期間ハ相當長カラシムルヲ可トス標識標札撤去ノ方法ハ最初ノ案トシテ各地區共直營ヲ以テ實施スル考ヘナリシモ經費及監督者ノ關係上現存ノ砲臺附近(主トシテ第一第二區)ヲ直營ニテ撤去シ第三區以外隔離シタル地矣ハ其ノ土地ノ管轄者及市町村役場ニ對シ各標識植立土地所有ヲシテ撤去セシムル様傳達方ヲ依頼シ更ニ撤去セシムル其ノ旨通報セシムル手段ヲ取リタルニ其ノ實施ハ概シテ可能ナリキ但シ撤去期日稍々短カカリシトメ全部ノ回答ヲ得ズ未撤去ノ部分ハ其ノ後直營ヲ以テ補修的二大部

三十九

撤去ヤシムラ得タリ

ハ要塞地帯法ハ必要ナリトテ一般國民ニ自覺ヤシムラ如ク誘導スルト今時ニ又一方於テ司令部等ニ對シ公願スル諸願書ヲ取扱或ハ直接之ニ應對スル者ハ充分ノ留意ヲ望ム

嚴島公園内ニ植立シアリシヲ寫眞撮影制限ニ關スル標札ノ如キハ其ノニニモハ八月一日要塞廢止發表ト同時ニ已ニ拔キ取りアリシモノヲ見ル此ノ一事要塞地帯法ヲ如何ニ國民ヲ拘束シアルカヲ切知ルニ足ル

ハ廳中備品及圖書ニ就テ

廳中備品中他ニ引継ヲササントスルモノハ其ノ品質程度等ヲ願慮シ良不良ヲ撰擇シ上發送スルヲ可トヤン

第一其ノ一 薩島灣要塞司令部保管彈藥處理一覽表 大正十五年八月一日 陸軍省軍務部			
品目	區分	總額	備
二十六年式拳銃實包	二五六	二五六	
三八式銃實包 銃匣十共	一八〇	一八〇	
			要

附表第一 附表第一頁二

廣島海軍要塞司令部保管兵器(除彈藥)處理一覽表				大正十五年八月一日	
師團長管理勤務用一部				要	
品目	区	分	總保	管	部
三十二年式軍刀	乙	五	一	四	五
三十二年式銃劍	一	三	八	二	三
三十八式騎銃	大	一	六	一	六
三十八式騎銃	携帶隊備品	一	一	一	一
二十六年式拳銃	八	四	八	四	八
刀劍附刃器	四	四	四	四	四
三十年式乘馬具	四	四	四	四	四

附表第二 附表第一其三

品目		保管員数	納	摘
三八式榴弾砲	演習用	一	一	
要塞火藥箱		八四五	八四五	
重砲火藥箱	演習用	一	一	
要塞火藥罐		三〇〇	三〇〇	
輕砲火藥罐	演習用	一	一	
二号運搬砲附器具		一	一	
代用海岸射撃板		一	一	
伸縮算定尺		一	一	
三六式三十四加砲口栓		二	二	

廣島要塞司令部保管兵器（陳弾薬）處理一覽表

大正十四年八月一日
總務部一六番ノ一

要

附表第二 附表第一其四

廣島海軍要塞司令部保管兵器(除彈藥處理)一覽表 大正十五年八月一日 要塞司令部 部				品目		分	
				總	管	廣島兵器支廠	備
二十八冊榴彈砲	大	六					
斯加式三十六至三十七冊加農	四	四					
三十口至三十七冊加農	四	四					
二十六口至三十四冊加農	一	一					
克式三十五至三十二冊加農	四	四					
斯加式九冊速射加農	一	一					
全砲台原品	四	三					
全砲台豫備品	四	三					
九冊加農	一	二					
鋼製九冊臼砲	五	五					
三一式速射山砲	一	一					

100-443887-100

陸地射撃板 代用	海岸射撃板 金用	全 羊用	示数板 榴用	全 加用	傳 筒	腕 木	手 旗組	單 旗	電 話 機組	電 線科	要塞火工 具 裝藥用	全 炸藥用
五	一	一	一	八	一六	二〇	四四	八	四六	四大	八	八
五	三	三	三	三七	四八	一四	三三 三三	八	四六	四大	三六	三六

斯加式九速加彈藥筒箱	要塞火藥罐	安 全 燈	輕砲藥莢綿直器	三八式野砲 屯管用火工具	三一式速射山砲 火工具	照 燈	洗 條 唧 筒	發光信號燈組	全 信 管 用	全 炸 藥 用	全 裝 藥 用	要塞火工具 信 管 用
五八五	一、 二、 三、 八	八 五	二	一	一	一 一 二	四	五	一 二	一 二	一 二	八
五八五	一、 二、 三、 八	(三) 五 五	(三)	(二)	一	(七) 三 六	四	(五)	(五) 七	(五) 七	(五) 七	(三) 六

所用 銃	修理 特別工 具	砲 臺用修理工 具	三八式機関銃 甲器具箱組	三八式機関銃 甲器具箱組	ホー ー 遊 秤	彈 復	彈 復	彈 復	縦列用 榴霰彈々薬箱	野戰 榴霰彈々薬箱	縦列用 榴霰彈々薬箱	三八式速 山砲 榴霰彈々薬箱
一	二	一 〇	一 〇	三	八	二 五 〇	二 〇 〇	一 五 〇	一 二 五	七 五	三 五 八	二 一 五
一	二	(一 四)	(一 〇)	三	(二 六)	二 五 〇	二 〇 〇	一 五 〇	一 二 五	七 五	三 五 八	二 一 五

備考	三式速射砲				携行			修理用		
	第二器具箱	第一器具箱	榴霰彈々薬箱	榴彈々薬箱	銃	水	銃	銃	銃	水
本表中（一）ヲ附セルハ廣島陸軍兵器支廠ニ返納シ直ニ兵器廠 依拠ニ依リ豊後要塞ニ携行セシ員數ヲ示ス	一 口	一 口	一 口	四 口	四	四	四	二	二	二
	一 口	一 口	一 口	四 口	（四）	（四）	（四）	（三）	（三）	（三）

附表第一其ノ五

廣島海軍要塞司令部保管兵器(除彈藥)處理一覽表									
大正十五年八月一日 司令部保管部									
品目	保管總數	返納	摘要	要差					
三一式速射砲用筒蓋螺絲	二	二	ハシヲ附セル廣島要塞ニ云々 支廠ニ返納シ直ニ支廠ノ 依托ニ依リ豐原要塞ニ 携行シ負數ヲ示ス	一	二	一	二	一	二
彈丸與熱器	一	一		一	二	一	二	一	二
示差寒暖計	一	一		一	二	一	二	一	二
火藥庫用携帶燈	一	一		一	二	一	二	一	二
砲床検査器	一	一		一	二	一	二	一	二
火藥検査器	一	一		一	二	一	二	一	二
湿度計(百葉箱式)	一	一		一	二	一	二	一	二

附表第一其六

廣島要塞司令部保管彈藥處理一覽表

大正十五年八月一日編
總務部之部

品目	保管總數	廣島要塞司令部 支隊に返納	備考
二十八榴彈 欽彈 々丸	一五七八	一五七八	
全 堅鉄破甲榴彈 々丸	八二五	八二五	
全 堅鉄彈炸藥囊	四五〇	四五〇	
全 母囊 小	二	二	
全 子囊 小一号	二四	二四	
全 公 旧	六七五	六七五	
全 公 小二号	二	二	
全 公 小三号	二	二	
二十七加破甲彈 々丸 乙	一六	一六	
全 堅鉄彈 々丸 乙	二七	二七	
全 榴彈炸藥囊	二六	二六	

全	三式十五榴藥莢	六九一	六九一	
全	三式十二榴彈々丸	七一	七一	
全	藥囊 大	五六	五六	
全	藥莢 蓋	一〇〇九	一〇〇九	
全	藥莢	七〇〇	七〇〇	
全	三式十二榴榴霰彈々丸	一二	一二	
全	十字紙	一六	一六	
全	炎火藥囊	一六	一六	
全	藥莢	三	三	
全	斯加式九速加代用彈々丸	一六	一六	
全	三式十二榴榴彈々丸	二〇五	二〇五	

三八式十五榴藥囊 小	一五一	一五一	
三八式十加藥莢	二八六	二八六	
全 空砲用支板	大五	大五	
三八式銃実包 <small>紙彈子 函共</small>	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
二十六年式拳銃実包	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
四年式十五榴藥囊 大	三〇	三〇	
全 中	大〇	大〇	
二十四加堅鉄彈炸藥囊	六三	六三	
十五白藥囊 子	二五一	二五一	
榴彈砲用鋼縮藥囊	一四七	一四七	
一號 平 砲 藥	二二七九〇 _K 二〇〇	二二七九〇 _K 二〇〇	
野 砲 藥	二二四四五 _K 八六〇	二二四四五 _K 八六〇	
小 粒 藥	四〇 _K 一四五	四〇 _K 一四五	

二號褐色藥管	九三 _K 七六〇	九三 _K 七六〇	
小著發信管	三二二九	三二二九	
新式彈頭信管「修」	四四	四四	除爆管
修正廿四秒複働信管	二一一	二一一	除爆管
螺門管	二六	二六	
尋常門管	六八	六八	
舊式爆發罐	四三九五	四三九五	
爆破用雷管	四	四	
克式藥莢爆管	二〇	二〇	
克榴藥莢爆管	三	三	
彈頭著發信管「彈」	二六	二六	
十八秒複働信管	二	二	
	一六	一六	

9690

緩
燃
導
火
索

一
三
三
米

一
三
三
米

ハ

附表第一其五

左	左	左	左	廿四加	左	左	左	左	左	左	廿七加
二平用藥囊	礮彈炸藥囊	堅鐵彈炸藥囊	礮彈炸藥囊	堅鐵彈炸藥囊	四帶用藥囊	二礮用藥囊	礮彈炸藥囊	破甲彈炸藥囊	堅鐵彈炸藥囊	礮彈炸藥囊	破甲彈炸藥囊
一五〇	三六〇	二四〇	三六〇	二四〇	六四〇	六四〇	二二四	一六〇	二四七	二二九	二五一
一五〇	三六〇	二四〇	三六〇	二四〇	六四〇	六四〇	二二四	一六〇	二四七	二二九	二五一
					新加三六〇徑用	三十〇徑用			新加式三六〇徑用		

克十二加鑄鐵破甲榴彈	左	榴彈	凡	乙	二五一	二五一
左	榴彈	凡	丙	四七一	四七一	
左	左	丁	七八	七八		
左	一年用藥囊	八口口	八口口			
九加榴彈	凡	乙	九六口	九六口		
左	鑄鐵破甲榴彈	凡	丁	一一三二	一一三二	
左	一年用藥囊	二四口口	二四口口			
銅製九加鑄鐵破甲榴彈	凡	丁	一六口口	一六口口		
左	有煙用藥囊	一七一	一七一			舊式
新式九加鑄鐵破甲榴彈	凡	乙	一一三	(一一三)		
左	左	丙	四八七	三八七		
左	榴彈	凡	二二八	二二八		
左	榴彈	凡	二三四五	一四四五		

[illegible]

三式速山礮	彈	凡	一五〇〇	一五〇〇	
左	礮	霰彈	二五〇〇	二五〇〇	
左	礮	彈用黄包作藥	一五〇〇	一五〇〇	傳火藥筒共
左	藥	莢	四八〇〇	四八〇〇	
左	藥	莢	三九六一	三九六一	
左	藥	莢	四〇〇〇	四〇〇〇	
左	藥	莢	四〇〇〇	四〇〇〇	
三式	銃	實包	三六〇〇	三六〇〇	
左	小一號彈	底信管	一五〇〇	一五〇〇	
左	小二號彈	底信管	一一一三	一一一三	
五年式	大延彈	底信管	三四六	三四六	傳火藥共
三年式	複	信	三〇〇〇	三〇〇〇	
左	彈	信	三〇〇〇	三〇〇〇	

三式機用銃保彈板	六〇リ	六〇リ	
一 蹄平扁藥	二四六二三	三四六二三	
二 蹄平扁藥	六〇リ	六〇リ	
野 砲 藥	八八四	八八四	
山 砲 藥	七八四	七八四	
小 粒 藥	一七六六	一七六六	
二 蹄褐色藥	二六〇四	二六〇四	
黑色六稜藥	四〇八	四〇八	
管 藥	三九〇八	三九〇八	
一 蹄帶狀藥D	一三八五	一三八五	
四 蹄帶狀藥D	五六四九	五六四九	
海岸彈底信管藥	八四五	八四五	
左 [延修]	五五四	五五四	

大 著 發 信 管 四	一、一、九	一、一、九	尋常爆管天
小 著 發 信 管	二、二、八	二、二、八	五
種 込 彈 底 信 管	六	六	五
新 式 彈 頭 信 管 四	二、〇、九、八	二、〇、九、八	
左	一、七、一、七	一、七、一、七	
對 利 修 正 充 式 著 発 信 管 三	五、四、九	五、四、九	
三 秒 修 正 廿 秒 複 働 信 管	九、六、〇	九、六、〇	尋常爆管天
十 八 秒 複 働 信 管	二、三、四、五	二、三、四、五	
試 製 甲 錐 雷 永 壺	三、〇、〇	三、〇、〇	
螺 門 管	一、〇、一、七、大	一、〇、一、七、大	
四 式 藥 焚 爆 管	七、二、〇、〇	七、二、〇、〇	
一 號 帶 狀 爆 管	三、三、〇、一、七、五	三、三、〇、一、七、五	不正十五年五月十五日 依り名入へ現況中、分
斯 加 式 九 速 加 藥 焚 管	四、〇、〇	四、〇、〇	不正十五年五月十五日 依り名入へ現況中、分

1020

備考

本表(中)ヨリ所載、廣島陸軍兵器支廠ニ返納シ後直ニ兵器
在廠、依託ニ依リ豐後要塞ニ移行セシ員數ト入

廣島灣要塞保管兵器處理一覽表

品

區
引
繼
先

目
分

守 城 工 兵 器 具										品	
要塞電信建築器具	塞電	電信	築建	器具	被中	環線	代用	具	用	目	
ト三番銅線	十八番銅線	二十番銅線	十三番銅線	十三番鉄線	電柱	電柱附屬碍子	繼柱	員柄碍子(陶器)	曲柄碍子	引継先	
米	〃	〃	〃	〃	本	本	本	個	〃	區分	
七二〇〇	三五九〇	七五四	二四〇〇	七二〇〇	一ニ〇〇	一ニ〇〇	一ニ〇〇	一八〇	二五二	廣島陸軍兵器支廠	
三	三									現在格納庫内	
司令部	宇品	包	浦	所	備					備	

二

品									
目									
區分									
先									
單位									
總數									
現在格納箇所									
摘									
要									
守城工兵器具									
電									
通									
子									
一八〇									
茶									
壺									
一八〇									
接									
續									
器									
二四									
スト									
ラッ									
プ									
卓									
棒									
三六									
電									
話									
文									
換									
器									
二									
炭									
素									
四七〇									
十									
二									
番									
鋼									
線									
一八〇									
回									
光									
通									
信									
器									
三									
發									
光									
信									
號									
燈									
四									
土									
塙									
二五									
斜									
面									
三〇									
敵									
器									

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

0713

兵器用物品處理一覽表									
大正十五年八月一日調									
品目	區分	單位	保管員數	廢支引	要司	品目	區分	單位	保管員數
雨覆	枚	一六八	一〇五	六三		火工用床板	個	一六〇	九六
安全蓋	箱	一	八	三		火工用床板台	個	一一二	七二
上靴	足	三二	二二	一〇		乾濕計	個	五	四〇
舊式刺遠機箱	個	一	一			神樂棧	個	二	二
大鍋	個	一		一		火藥運搬旗	個	一二	一八
黃銅鎚	個	四		四				五	五
金盟	個	一〇	五	五		鎗	個	三〇	三〇
火藥枕木	個	五五七	五二一	三六		架底排水器	個	六	六
火藥枕木代用	個	三二	三			眼鏡箱	個	二	二
火藥枕木手物	個	一二	一二			海岸射擊板	個	二	二
火藥枕板	個	八	八			火藥箱封紙	個	一	一

起重機脚	脚柱	各種綑台	蓋板	革具懸吊架	眼鏡格納箱	革具手入刷毛	乾濕計架	鋸用真鍮鉗	敷布	火柴乾燥用 床板托架	火柴箱螺孔 鑽	火柴箱內口蓋 鉗
〃	〃	〃	個	組	〃	〃	〃	個	枚	〃	〃	個
三	一二六五	一五	六六	三〇	三	一八	一	一	四五	六〇	一四	二〇
	一〇七〇	一五	六六	三〇	三	一八	一				一四	一四
三	九五							一	四五	六〇		大
鋼除鈎	揭示板	劍架覆板	削台	黑窓白覆板	黑塗木札	釘板	九加車軸托架	格開銃格納箱 覆	格開銃格納箱	格開銃架	器具架	器具箱枕木
〃	個	枚	個	枚	〃	〃	個	枚	〃	〃	〃	個
大	二	二	一	二〇	四三四	四	一	一	五	三	三	五九〇
四	二				三九六		一	一	二	一		三七六
二		二	一	二〇	二八	四		一〇	三	二	三	二一四

三式格闘銃	最高最低寒服計	輜重車	炸藥検査器 電球式	作業服	又鉄	雑品箱	五龍数字刻印	眩中塗油器	コンパ	コッ	高低照準 鏡架	汎形鉄箱
〃	個	輛	個	枚	〃	個	組	〃	〃	〃	〃	個
一一	一	五	四	三五	六四四七	一五	二	三	三	一	一	一
		二	二		五九五二	四				一	一	一
一一	一	三	二	三五	四九五	一一	二	三	三			
小木槌	圖紙箱	床板	鐵品真鍮品箱	小銃彈容器	銃口蓋	四斗樽	照準用電池 箱	照準梯子	如露	三式格闘銃 保心筒	三式速山砲 覆	指金(四尺)
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	個	枚	個
四	三	一〇〇	一〇	二	六	一	一	四	一〇	九	一	一
	二	九〇	六			一	一	四	一〇	九	一	
四	一	一〇	四	二	六							一

全 釣	彈丸用銀 塗料	塞 銀 箱	掃 桿 覆	裝 藥 罐 台	屬 高 箱	洗 桿 箱	洗 桿 覆	前 車 托 架	斯 加 彈 丸 覆	水 平 机 下 覆	水 平 机 覆	水 平 机 架
〃		個	枚	〃	〃	〃	〃	〃	個	〃	枚	個
一	一	二〇	一〇	一四	二	四	一六	一	一七	六	五	五
一	一	二〇	一〇	六		四	一六	一	一七	六	五	五
				八	二							
彈丸午入台	彈丸枕木代用	全 鍋	彈丸内部 注流鍋	脱藥用油槽	彈丸格網 覆	彈丸底 鍍銀	彈丸塞 鍍銀	棚 覆	台 秤	彈丸枕木	全 ハ	全 ハ 覆
〃	〃	〃	〃	個	枚	〃	個	枚	〃	個	〃	枚
一	一七	一	一	一	三	三	五八	一六一	二	四三二	一	一
一	一七					二	五六	三二	一	四一六	一	一
		一	一	一	三	一	二	一三九	一	一六		

彈底信管類	脫藥器	同 糖 釜	彈丸内部 査料用火口	彈丸手入板	脱藥用漏斗	彈丸内部 査料用漏斗	大木 籠	退却機	彈頭分解器	彈底分解器	彈丸脱板	彈丸脱板
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
二	一	一	一	三二	一	一	一	一	四	四	二五	二
二	一	一	一	三二	一	一	一	一	四	四	一二五	二
手 糸 個	手入毛布 枚	提彈器 リ	手旗入箱 リ	轉柄箱 リ	鉄鎖至四分 リ	轉子 リ	鉄 礎 リ	重砲彈脱藥台 リ	彈丸脱藥架 リ	中 板 リ	吊彈器 リ	竹 籠 個
二	二一	二	一一	二	一	九九	一	四	四	三三三	一	一
		二	大	一一	一	大ニ	一	四	四	二二九	一	
二	二一		大			三七				一〇四		一

天幕格納箱	天幕柱托架	天幕枕格納箱	手入器具及 油類收容箱	換 賞台	蹈銀排水器	土用円匙	銅製湯煎器	刀 劍架	輓 籠托架	照準器相	洗 濯覆	彈 底螺燭
個	組	個	個	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二	九	九	一	二	大	一	二	一	四	二	四	一
四	二	四	一	二	大				四	二	四	一
七	七	五				一	二	一				
手入格納箱	荷 車台	荷 車用網	強 板	強 板	布 管	鋸 子	梯	爆 管螺鏢	番 号鏢	バ ケツ	バ ケツ	爆 管筒
個	台	個	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二	四	二	四	五	一	九	一	三	二	三	二	二
二	二			二	一		一	三			二	二
	二	二	二	三		九			二	三		

馬具格納箱	刷毛格納箱	鞆	箆	踏台	フリ車覆大	金小	分解彈置台	矢器棚	矢器手入台	矢器手入掛竿	矢器真掛架	表尺箱
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	組	個
一	三	二	六	一	一	一	一	五五	四四	一一	二	九
	二	二	六		一	一	一	三九	三三	一〇	二	八
一	一			一				一六	一一	一		一
矢器架	矢器格納箱	矢器懸吊架	矢器掛架	矢器掛架	矢器掛架	砲身覆	砲車北架	標先箱	砲腔手入	砲腔手入	砲架測梁覆	砲身枕木
個	個	組	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
四	四	三二	四	一	一	三五	二〇	一一	二	二	五六	二二
四	四二	一	四	一		三五	二〇	一一	二	二	五六	二二
	二	二			一					二		

水 龍	白 龍 五ノメ	箕	ホー メー 遊 秤	全 小	ホ ル バ ン 覆 大	砲 床 掃 除 刷 毛	砲 床 中 水 汲	砲 身 托 架	砲 口 覆	砲 尾 覆	砲 身 格 納 箱	砲 身 觀 查 鏡
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	個	組	リ	リ	リ	個
一 二	一	二	一	一	一	二	三	三	四 一	四 一	一 四	一
一 二	一	二	一	一	一	二	三	三	四 一	四 一	三	
二											一 一	一
彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管	模 製 三 八 式 彈 底 信 管
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	個
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
										一	一	

五

螺整轉把	燕尾鉸	各種螺絲	三槓練台	信管孔標記	木槌	彈底信管孔螺型	搬軌	搬軌軸	擊莖頭	擊莖	離稅桿	滑動桿
個	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
二	三	五	一	九	一	二	九	九	九	九	九	九
二	三	五	一	九	一	二	九	九	九	九	九	九
擊莖支鉸	金 葉箭	洗桿頭	合式洗桿	清拭器	抽彈器	砲身釣器組	洗桿柄	洗桿接續杆	兵割栓	器要基米子箱螺	修鉸	理真鉤
リ	リ	リ	リ	リ	リ	組	個	リ	リ	リ	リ	リ
九	九	六	一	三	一	一	一	一	一	一	六	一
九	九	六	一	三	一	一	一	一	一	一	六	一

8220

材	鉄	料	材
水	鉄	分	鋼
螺	材	解	鋼
子	材	用	鋼
又	又	本	又
五、二〇〇	八七、〇〇〇	六八	一
五、二〇〇	八七、〇〇〇	六八	一

附表第三其二

兵器圖元書類引繼目錄		品目	引繼箇所	廣島兵器文庫	臺灣兵器文庫	要
兵器受拂配當簿						
戰用兵器受拂簿						
兵器証票綴						
兵器手入計畫(永年)						
同(年度)						
物品出納簿	三					
修理注文傳票綴	一					
需用傳票綴	一					
物品受拂証憑書類綴	一					
物品配與簿	一					
諸規定綴	一					
訓令訓示講評綴	一					
發來翰綴	一					
兵器制式開元書類綴	一					
兵器制式圖原簿	一					
總豫備兵器受拂簿	一					
赴任用刀劍受拂簿	一					
廢兵器整理簿	一					
兵器出納通牒綴	一					
兵器細目名稱表	各二					
同定價表	一					
兵器制式圖	保管數一式					

附表第八

土地移管に伴う引継書類

大正十五年六月十日

名

稱

廣島	品間軍用鐵道敷地収用及管理換書類
土地収用	買収書類
地所	＝関スル承諾書
電柱敷地	請書類
土地登記簿	謄本綴
土地登記	沿革収用土地明細圖
土地登記	証明細簿
土地登記	託濟證綴
國有財産	土地明細調書
各堡塁砲臺敷地	内不用土地利用計畫圖
同敷地	内所在貸下地ノ圖合綴
備	一、本表書類、築城部本部ト協議済ムモノトス
考	二、各書類、合冊シテ下ルヲ以テ移管区令困難ナルモノアリ
	三、本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス

附表四

國防用土地處理一覽表

大正十五年十月號

所用	名稱	移管先	敷地面積坪	立木	竹	境界標	摘	要
室濱砲台及同交通路敷地		海軍	三、四六五	二、一八	六、〇五	二五九	要	
包ヶ浦補助建設物同交通路敷地		海軍	四、四六〇	六、〇五	六、〇五	一三二	要	包ヶ浦補助建設物同交通路敷地
鷹島砲台及同交通路敷地		海軍	二、〇七九	四、五八三	六、〇五	九五	要	
三島補助建設物敷地		海軍	五、九三六	六、〇五	六、〇五	六三	要	
大那美島砲台及同交通路敷地		海軍	一、〇二七五	一、四二八三	六、〇五	一三	要	
豪頭嶽砲台及同交通路敷地		海軍	六、四〇〇	五、〇七	六、〇五	一	要	
鶴原砲台及同交通路敷地		海軍	一、七五六一	一、四六三	六、〇五	一九	要	
岸根砲台及同交通路敷地		海軍	一、八八八	二、二五	六、〇五		要	
三島山砲台及同交通路敷地		海軍	六、三九三	六、五六二	二、三三四	二八九	要	
大君砲台及同交通路敷地		海軍	一、七五六一	五、一一	六、〇五	一八	要	
早瀬砲台及同交通路敷地		海軍	三、三八五	一、二七〇	六、〇五	二四三	要	
高島砲台及同交通路敷地		海軍	二、六五四	七、二五	六、〇五	一八六	要	
休石砲台及同交通路敷地		海軍	一、八九五	二、二〇	六、〇五	一二四	要	
休石砲台及同交通路敷地		海軍	八、八六五	五、一四	六、〇五	三三	要	
大空山砲台及同交通路敷地		海軍	四、四二八	三、三四	六、〇五	二六八	要	
阿賀町物揚場敷地		海軍	五、〇		六、〇五	四	要	
和庄町補助建設物敷地		海軍	四、六四〇	四、四九	六、〇五	二一	要	
阿賀町砲台豫定地		海軍	二、九一九二	三、九	六、〇五	六五	要	
長谷海底線陸揚場敷地		海軍	三、		六、〇五		要	
大迫海底線陸揚場敷地		海軍	七、		六、〇五		要	
明神海底線陸揚場敷地		海軍	二、		六、〇五		要	
大河川運河鐵道敷地		海軍	一、〇五五	三、	六、〇五	三三	要	
備	一、大野、似島南端、大洲、大君、早瀬、各海底線陸揚場敷地、無料借地トス	海軍			六、〇五		要	
考	二、各敷地中、二、六、下貸下中、ノモノアリ	海軍			六、〇五		要	
	三、大君、休石砲台敷地、二、部、ハ、經理部、ハ、移管、ノ、豫定、ナリ、シ、モ、全部、ヲ、海軍、者、ハ、移管、ス、ルト、ナリ	海軍			六、〇五		要	

防禦營造物(工作物)處理一覽表
大正十五年十月調

[illegible]

附表第七

防禦營造物(通信線)要理一覽表 大正十五年十月調

備考	線										空										架										線路區分	数量	管部隊	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	大	望	大那波美	大那波美	美能	津久茂	似島	宇品	嚴島	吳高島	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部					司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部	司令部

0730

1310

附表第八

防禦營造物附屬物件處理一覽表 大正十五年十月調

品目	單位	保管				轉換				廢品	摘要
		總數	管	理	管	理	管	理	管		
現行機器類	個	二六	三〇	一五	五	一七	△	四	△	印國有財產トシテ通信 設置金庫同種計移管 廢品六九月十一日山崩 在廢品保管セシムル	
電話器類	ノ	六七	一五	一二			△	九	一	一九	
電話器類	ノ	一九									△印國有財產同シ
交換機類	ノ	六	二			一					
避雷器類	ノ	一九		一九							
同形	ノ	三九	五	三二						二	廢品ニハ山崩シタメ破損 セシムル
檢電器	ノ	二一	五	四		一二					
電鈴	ノ	一九	一〇	九							
電槽	ノ	四三	二〇	八		一五					
電執	ノ	七九	三〇	四三						六	

1820

0.3 18

品目	単位	保管数	敷	管	友	電信	運輸	部	其他	換	廢品	摘	要
甲金物	個	二六		二〇	六								
乙金物	個	二五		一七	八								
水銃	個	二一		五	四	一	二						
水銃	個	一三			四	九							
水道具箱	個	一〇		一〇									
水気銃	個	四四		一五	二〇	九							
轉脈器	個	七		五	二								
扇形	個	一〇		五	五								
子製竹	個	四		四									
張線器	個	一一		一〇									
八寸パンチ	個	八		五							三		

0423

アジア歴史資料センター

0733

0535

品目	単位	保管数	策保	本	要	兵	支	電	信	通	輸	送	其	他	廃品	摘	要
八寸ペンチ	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
無鋸	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
曲釘	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
角形挟子	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
喰切	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ピンセット	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
捲鉗	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
金切鋸	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ゴム切小刀	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
小刀	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
海底線修理箱	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
アルミ	個	一	一	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

0734

0330

土 瓶	器 械 臺	枝 切	試 驗 箱	送 詰 器	筒 形 挾 子	凹 形 挾 子	司 ハ	金 鐘	鑪	焼 鑊	鉄	火 付 ベン チ
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二 二	一 三	一	三	二 〇	一	一	二	二	二	二	三	一
					一	一	二	二	二	二	三	一
	五	一	二	一								
一 六	一 七			一								
	四											
四 ノ 破 損 品 四 六 九 日 山 崎 氏 一 三												

品目	鉢	電信 電話同時通信機	田	鍍金	同	釘	曲	墨	縦	横	手
単位	個	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
保管数	一〇	五	二四	二	一	一	一	一	一	一	二
数											
管				二		一	一	一	一	一	一
支	一〇										
信		五									
運											
郵											
其											
他											
品			二		一						一
摘											
要											

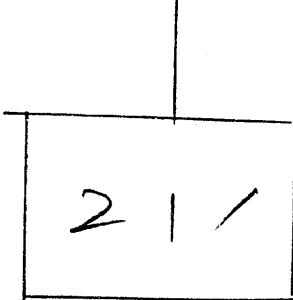

659

10

品目	単位	保管数	整	管	理	要
操線器	個	二		二		
磁石電鈴	個	一		一		
雨覆	枚	八		八		
現字機筆室	個	三			三	
エニガルバル ノーター 容器共	個	一	一			
デスチンセット	個	三	三			電燈所備付金 金庫
電燈汽罐 属品予備品共	基	四			一	品目員数八附表
同汽機 属品予備品共	個	四			一	品目員数八附表
電機機 属品予備品共	個	四			一	品目員数八附表
配電盤 属品予備品共	組	四	四			品目員数八附表
射光機 属品予備品共	基	四	四			品目員数八附表

備考	
一、保管轉換ノ欄中、此字ハ左記ノ略トス	左記
築本 築城部本部	豊要 豊豫要塞司令部
兵支 廣島陸軍兵器支廠	電信 電信第二聯隊
運輸部 陸軍運輸部	二、築城部本部ハ移管ノモノハ防禦營造物附屬物件トス
三、其他ノ部隊ハ移管ノモノハ物品トス	但△印ノモノヲ除ク
四、廢品處分ノモノハ其程度不良ニシテ使用ニ適セズ	五

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基彦 </p>	

附表第九

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

大正十五年十月調

アジア歴史資料センター

附表第拾

船舶処分一覽表

大正十五年十月調

種別	員数	長丁	幅	深サ	所在	移管區分
一	一	二六二	五〇	二四	大君	豊豫要塞司令部
一	一	二六二	五〇	一三	奇沙美	第五師團經理部
一	一	二五〇	五三	一六	宇品	

一本表ノ雜船ハ國有財産ノモノヲ示ス

附錄十一

土地並防禦物移管件方録書類目録						奎五年十月調	
名	區	分	引	結	先	摘	要
土地收用買収書類				四	八	二	分類セリ
地所開示兼誌書					一		
電柱敷地請書綴				一			
土地登記簿謄本綴				一	一	一	
土地登記沿革採用前細圖				一	一	一	
土地登記明細簿				一	一	一	分類セリ
土地登記詳證綴				一	一	一	
國有財産土地明細調書				一			
廣島海軍塞通信網圖				一			參考トス
要塞通信網一般圖				一			
廣島海軍通信網明細表				一			
電柱敷地取調書				一			
國有財産重要建築物部				一			
同 走部				一			
同 土地重要附屬				一			
防禦營場後援證書				一			
國有財産関係報告綴				一			増減報告按
防禦營造物保存部録				一			
電燈記録				四			
通信部部録				一			
保護警備施設計一覽表				八			
保護警備施設及事故檢査表				七			参考トス
監守區域圖				一	一		

附表第十二

工兵科物品處理一覽表

大正十五年十月調

費目		修繕		賞		支		辦	
品目	單位	窓	櫓	草	井	釣	工 事 用	中	鐵
		日	桶	撥	戸	瓶	定規	取	棒
		枚	組	個	個	個	個	個	個
	保管數	一二二	八	一一	九	一八	二	一四	二
	整								
	本		一						
	要								
	文	一二七		一一	五	一五			
	經理部								
	糧秣廠								
	廢品								
	摘								
	要								
		五	七	四	三	二	七		
	砲台建物ニ使用モノ								

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

0540

二

品名	数量	単位	備考	整理	発品	精
石工鋸	四	個	策本	豊要	外支	經理部
夫鋸	六	個	策本	豊要	外支	經理部
枝切鉄	二	個	策本	豊要	外支	經理部
雨板	一四	枚	策本	豊要	外支	經理部
木デ	一	個	策本	豊要	外支	經理部
硝子切器	一	個	策本	豊要	外支	經理部
銭力首目	一	個	策本	豊要	外支	經理部
同	一	個	策本	豊要	外支	經理部
標準気圧計	一	個	策本	豊要	外支	經理部
圧用電話器	一	個	策本	豊要	外支	經理部
電鈴式電話器	三	個	策本	豊要	外支	經理部

三

西

四

アジア歴史資料センター

附表第十三

經理二關之引繼書類目録

名	種
定額簿	九冊
現金出納簿	壹冊
諸費請求書副證綴	七拾七冊
歲入納款副書綴	拾五冊
定額金概算及金諸出金請求書副證綴	壹拾九冊
現習費前渡金受拂計覽書	貳拾九冊
現習費現金出納簿	八冊
保管證書出納簿	貳冊
寄託有價証券整理簿	壹冊
受領證綴	壹冊

頁數	九	壹	七拾七	拾五	壹拾九	八	貳	壹	壹
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊

大正十三年十月編

名	稱
保管金整理簿	
委任經理出納計算書内譯書	
試算表綴	
保管金及有價証券ニ関スル證憑書	
俸給給料受領証印簿	
引去金証憑書綴	
給與通報綴	
出勤簿	
面着簿	
整理簿	
共有金整理簿	

第十三

眞壹四五貳拾壹壹壹壹拾
拾
六
冊冊冊冊冊冊冊冊冊冊冊數

六氣堂八卷九式番片國武
武 格五
將什冊母舟冊贈舟番通舟

電燈發電機射光機附屬物件圖書（築城部本部へ移管之）

要

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

射 光 機 附 属										品
品	入	器	箱	具	器	品	入	器	箱	品
著色眼鏡	磨皮	磨布	著色硝子	著色硝子	著色硝子	著色硝子	著色硝子	著色硝子	著色硝子	著色硝子
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
一	二	二	3A	二	一	二	一	一	一	一
一	二	二	3A	一	三	一	五	一	一	一
二	二			二	一			一		一
一	二			一	一	二	二	一	三	一
五	八	二	3A	一	二	七	八	四	五	一
										合計
										要

アジア歴史資料センター

0920

0320

射 光 機 附 属										品 目 所 在 部 門	要 求 数 及 備 考
品 手	各 種 螺 絲	線 端 用 金 具	彈 簧 油 差	綿 帶	手 袋 剪 鉋	フ ニ ー ス 本 機 用	外 用 カ リ バ ー ス	内 用 カ リ バ ー ス	炭 素 用 鑢 石 荒		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	所 在 部 門	要 求 数 及 備 考
	七	二三	一	一	一	二	一		一	電 機 部	電 機 部
一	五	二二	一		一	七	一	一	一	電 機 部	電 機 部
				一	一	九			一	電 機 部	電 機 部
			一	二	一	一			一	電 機 部	電 機 部
一	一	九	三	四	五	一	二	一	一	電 機 部	電 機 部
										合 計	要

1920

0505

射 光 機 附 属												
器 具 箱 入 品						器 具 箱 入 品						
電 流 計 取 付 金 具	電 刷 子 保 持 器	同	フ ユ ー ス 線 巻	線 端 用 金 具	フ ユ ー ス 線 巻	器 具 箱	捻 錐	吹 掃 器	鐵 錐	携 帶 用 白 熱 燈	茜 色 絨	板
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二	六 四	四	一 A	一 3A	二	一 五	一	一	一	一	一	一
二	六 四	四	一 A	一 3A	二	一 五	一	一	一	一	一	一

要

品備豫属附機光射							品備豫属			
被覆線車	電機	炭素棒保持器	被覆軟線	凹面硝子	凸面硝子	平面鏡用木柱型	平面鏡用硝子	調製器	据付廻轉計	小型電圧計
〃	同	組	米	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
四	一	二	一〇〇		二	八	六			
					四					
				九	一〇				一	一
		二			〇			一		
四	一	四	一〇〇	米	三	八	六			二

附表第十四其二

汽 離 附 属										品 目	備付員数及箇所	
汽離用各種螺絲	火 具	火 具	火 具	方 具	汽圧計試驗比較表	水 尺	注 水 器	送 水 唧 筒	水管・汽離 器具類		備付員数	箇所
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	個	稱呼	備付員数	箇所
一四	一	一	一	二	一	一	二	一	一	馬車燈	備付員数	箇所
										摘		
										要		

電燈機関附属物件員数表(陸運運輸部保管) 大正五年八月 日調

汽 機 附							品		
油	損	慣	活	環	汽	汽	屬	附	鐘
差	料	性	塞	附	機	機	鐵	吹	水
鉤	鉤	輪	板	螺	用	機	製	掃	管
		廻		桿	各	具	梯	蛇	刮
		轉			種	臺	子	管	刷
		棒			螺	臺			毛
					絲				夫
									們
									稱
									呼
									在
									單
									備
									付
									受
									數
									燈
									摘
									要

[illegible]

鍛 工 器 具											品
品	入	収	箱	具	器						目
半	平	鐵	才	自	燒	小	銅	火	向	入	備付員数及 箇所
円		線		在							
鑿	鑿	鉄	槌	鍬	鍬	刀	鋸	鉗	鋸	鋸	呼
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	四	呼
											備付員数
一	一	一	二	一	一	一	一	三	一	一	燈
											摘
											要

改

汽罐附屬品											品
汽機	活弁	節動器	燃焼	管	水	鐵	鐵	火	擴	フ	目
單接續金具	塞環	器用發條	燒器	蓋	管	管	柱	架	管器容翼	レンジ	備付品數及箇所
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	四	組	四	部呼住單
八	二	一	四	二	五	二	五	三	一	三	備付品數
											摘
											要

0393

アジア歴史資料センター

1220

具 器 雑											品
秤	摺	黒	水	寒	柵	電	金	手	麻	灰	備付員数及 目 所
				暖		話		入			
秤	鉢	板	錐	計		覆	盥	臺	繩	取	備付員数 舊・築・電・燈
〃	〃	〃	〃	〃	何	枚	〃	何	本	何	
五 × 秤											備付員数
一	二	一	一	一	三	二	五	三	二	二	摘
											要

0772

[illegible]

附表第十四其三

汽 鐘 附										品 目	電 燈 機 関	
汽 鐘 用 各 種 螺 絲	具 火	火	火	焚 方	汽 鐘 試 驗 表	水	注 水	送 水	水 管 式 汽 鐘		備 付 員 數 及	備 付 員 數 表
起	機	鉢	匙			尺	器	筒	備 具	個	電 燈 機 関	備 付 員 數
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	電 燈 機 関	備 付 員 數
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	電 燈 機 関	備 付 員 數
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	電 燈 機 関	備 付 員 數
一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	電 燈 機 関	備 付 員 數
三四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	電 燈 機 関	備 付 員 數
											合 計	
											摘 要	

資料種十四其三

品目											備付頁数及箇所
油	油	燃料	慣性輪廻轉棒	活塞技	環附螺桿	汽機用各種螺絲	汽機 扇具覆共	吹掃蛇管	水管掃除刷毛	水管刮削器	
壹	五	三	二	一	三	五	一	一	一	一	電燈
五	三	五	二			二	一	一	二	二	電燈
二	五	三	一	一	三	八	一	二	二	四	電燈
二	一	一	三	一	三	五	三	四	五	八	合計
二	三	一	三	一	三	五	三	四	五	八	摘要

アジア歴史資料センター

工 業										品 目		備付買数及 箇所
炭	火	向	入	鍛	工	萬	螺	定	鐵	端	個	
撿	銅	鋸	鋸	具	具	力	子	盤	床	品	個	備付買数及 箇所
一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	備付買数及 箇所
												備付買数及 箇所
	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	備付買数及 箇所
二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	備付買数及 箇所
一	八	三	三	三	一	三	一	二	三	三	三	合計
												摘要

2220

0318

具						器						
箱						具						
手	手	箱	螺	ボ	半	平	鐵	才	目	燒	小	銅
鉋	萬	ト	子	ン	円	鑿	線	匠	立	鑊	刀	鑿
〃	〃	ル	廻	チ	鑿	鑿	鉋	匠	鑊	鑊	刀	鑿
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一	一		二	一	一	一	一	二	一	一	一	一
一	一		二	一	一	三	一	二	一	一	一	一
一	一	一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	一
一	一	一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	一
三	三	一	六	三	三	五	三	六	三	三	三	三

6220

0.5.1

機												
接 續 管	フ レ ン ジ	同 ゴ ム バ ン キ ン ガ	量 水 計 用 硝 子 管	外 用 カ リ ツ パ ス	金 切 鋸	軋 軋 鋸	軋 金	品 同 ナ ニ 目	同 荒 目	甲 丸 鏡 ナ ニ 目	凡 鏡 ナ ニ 目	同 ナ ニ 目
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
ハ	一 三	ハ	四						一	ハ	ハ	
		×	一 〇		ハ	ハ	ハ	ハ			ハ	ハ
	ハ	一 〇	一 ハ	ハ						ハ	ハ	
ハ	一 四	二 五	二 五	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	二	三	ハ

品目										備付員数及 備付品	
安全 弁用重錘	汽 壓 計	火 床用金具	両 口 工 ル フ	管 蓋	注 水 器	水 管	鐵 管	鐵 柱	火 架	横 管 器 容 器 共	備 付 員 数
3	3	3	1	3	3	3	3	3	個	組	備 付 品
									一 〇 四	一	備 付 品
		一	二	三	二	五		二	二 八	一	備 付 品
一	一	二		二 〇		二 一	一		一 一 八	一	備 付 品
一	一	四		二 一		一 九	四		一 一 八	三	備 付 品
二	二	七	二	四 四	二	四 五	五	二	四 三 九	五	合 計
											備 付 品
											要

汽	品					備	豫			
節動器用給金具組	火	火	火	方	円	鐵管	両口エルボー	フレンジ付短管	無孔フレンジ	同 片
組	シ	シ	シ	シ	個	本	〃	〃	〃	〃
一										
五						一	一	一	一	一
二	一	一	一	一	一					
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一										

機 附 信 豫											品
偏 心 桿	排 汽 辦 發 條	膨 脹 辦 桿	消 辦 桿	調 節 桿	調 節 軸 受 個	機 軸 受 個	曲 柄 軸 受 組	調 節 接 續 金 具	活 塞 環	挺 付 迴 轉 針	備 付 及 新 品
〃	〃	〃	〃	〃	個	〃	組	〃	〃	個	備 付 及 新 品
				一				四			電 燈 大 電 燈 小 電 燈
二		一	一	一		二	二	一六	二	一	電 燈 大 電 燈 小 電 燈
一	一		一	一	一	二	一		二		電 燈 大 電 燈 小 電 燈
三	一	一	一	二	一	四	三	二〇	四	一	合 計
											摘 要

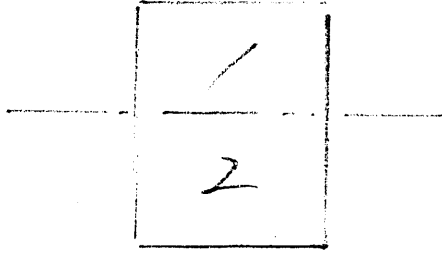

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センター

器						雑						
黒	水	塞	餅	電話室	金	手	麻	灰	角	踏	腰	畳
板	罐	針		覆	盥	入	縄	取	燈	臺	拭	子
個	個	個	個	枚	個	個	本	個	個	個	個	個
一	一	一	三		五	三	二	二	二		六	五
一	一	一	三	一	五	三	二	二	三		六 一 二 三 四 五	五
一	一	一	三	一	五	三	二	二	三	一	六 一 二 三 四 五	一 二 三 四 五
三	三	三	九	二	一五	九	六	六	八	一	一四	二 三 四 五

品名	具												備付員數
	木製梯子	油臺	六天機	油類格納箱	作業服	節	物置台	引出石臺	戸棚	炭素棒容器	桿秤	總鉢	
單位	個	個	個	個	着	着	台	台	台	台	台	個	電燈
電燈	一			一	二	一			一	二	一	一	電燈
電燈													電燈
電燈				一	二		一	一	一	二	一	一	電燈
電燈													電燈
電燈	一	一	二	一	二		一		二	三	一	一	電燈
合計	一	一	二	二	六	一	一	一	四	七	三	三	合計
摘要													摘要

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のものを
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基徳 </p>	

附表第十五

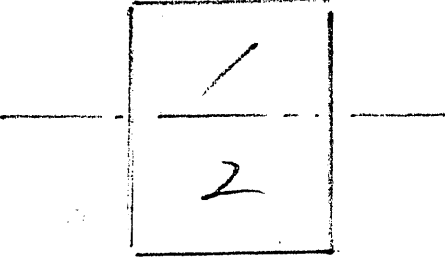

豊勝要塞司令部新設及廣島灣要塞司令部廢

月	日	曜	一	般	機密書類	地帯業務	許可承認証整理	戦用品移管申請	庫兵	砲	六
七月	一日	木			引継目録調製						
二日	金										
三日	土										
四日	日										
五日	月				兵器支隊、 引継目録調製	呉鎮送付書類整理 陸軍省書類整理	陸軍省書類整理	陸軍省書類整理			
六日	火					呉鎮送付書類整理 陸軍省書類整理	陸軍省書類整理	陸軍省書類整理			
七日	水					地帯撤廃通牒準備 金閣書類整理	金閣書類整理	金閣書類整理	大那山美		
八日	木				師團司配布書類送納 目録調製				鶴原山		
九日	金				兵器支隊送	呉鎮送付目録調製			岸根鼻		
十日	土								三 高		
十一日	日								鷹島築		
十二日	月				直接配布送納目録 調製	陸軍省送付目録 調製			鷹島築		
十三日	火					永久送來輸整理			包ヶ浦(火薬)		
十四日	水								包ヶ浦(火薬)		
十五日	木										
十六日	金										
十七日	土				師團長經理検査 師團長隨時検閲						
十八日	日										
十九日	月				第1師団司令部送納 保管原簿整理	呉鎮送付書類整理			早瀬、大石		
二十日	火				豊勝携行書類梱包 不用書類焼却	馬関書類整理			休石、警固屋		
二十一日	水				保管原簿整理 保管原簿方上申	豊勝携行書類梱包			警固屋		
二十二日	木										
二十三日	金										
二十四日	土										
二十五日	日										
二十六日	月				原簿師團へ送付						
二十七日	火				廢 廳 式						
二十八日	水										
二十九日	木				先登者廣島出發						
三十日	金										
三十一日	土										
八月	一日	日			豊勝要塞新設 廣島灣要塞廢止残骸整理開始						

備考
一、本表は各科、主要な日課を示せるモノトス
二、八月一日以後、日課豫定表ハ別ニ定ムルモ豊勝携行者勿キ受テ、ハトト家ニシテ

[illegible]

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 </p>	

廣島灣要塞司令部廢止業務

月	日	曜	一	般	庶	務	砲	兵
六月	一日	火			機秘密書類	地帶業務	一般庶務	兵營及兵備物品送納
二日	水							
三日	木							
四日	金							
五日	土							
六日	日	發業務打合せ事項原案作成	處理方法研究	同上	同上	同上	同上	
七日	月							
八日	火							
九日	水							
十日	木	廢止業務關之部外關係者爲集合細部打合也	同上	同上	同上	同上	同上	
十一日	金							
十二日	土							
十三日	日							
十四日	月							
十五日	火	事項整理決議錄調製	同上	同上	同上	同上	同上	
十六日	水							
十七日	木							
十八日	金							
十九日	土							
二十日	日							
二十一日	月							
二十二日	火							
二十三日	水							
二十四日	木							
二十五日	金							
二十六日	土							
二十七日	日							
二十八日	月	砲台留守日課表整理方法指示						
二十九日	火							
三十日	水							

廢止業務實施表 其一

大正十五年八月五日調製

[illegible]

分割撮影ターゲット

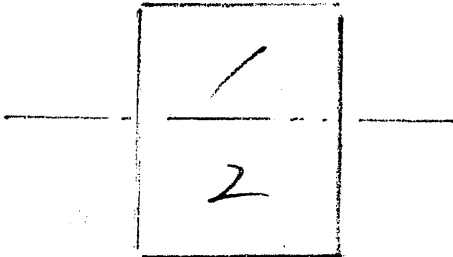

分割した 部分の撮 影 順 序	<div data-bbox="671 383 967 786" data-label="Text"> </div>
分割撮影 した 理 由	<div data-bbox="496 1025 1118 1111" data-label="Text"> <p>A3判以上のため</p> </div>
<div data-bbox="261 1128 1272 1285" data-label="Text"> <p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> </div> <div data-bbox="304 1424 895 1559" data-label="Text"> <p>57年 9 月 1 日</p> </div> <div data-bbox="509 1767 799 1823" data-label="Text"> <p>撮影立会者</p> </div> <div data-bbox="951 1738 1238 1823" data-label="Text"> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦 基</p> </div> <div data-bbox="1270 1767 1374 1845" data-label="Image"> </div>	

廣島灣要塞司令部廢止業務實施表其二

大正十五年八月五日調製

月日曜	一般	廢止業務	砲兵業務	工兵業務	經理業務	其他
七月一日 木	機密書類	地帶業務	一般廢止業務	砲兵及兵器用物品	砲兵及兵器用物品	砲兵及兵器用物品
二日 金	引送納目録調製	許承認証整理	廣島陸軍兵器工廠	正新修補表	原歷履	砲兵及兵器用物品
三日 土						
四日 日	兵器支廠(一)	兵器支廠(二)	兵器支廠(三)	兵器支廠(四)	兵器支廠(五)	兵器支廠(六)
五日 月	兵器支廠(七)	兵器支廠(八)	兵器支廠(九)	兵器支廠(十)	兵器支廠(十一)	兵器支廠(十二)
六日 火	兵器支廠(十三)	兵器支廠(十四)	兵器支廠(十五)	兵器支廠(十六)	兵器支廠(十七)	兵器支廠(十八)
七日 水	兵器支廠(十九)	兵器支廠(二十)	兵器支廠(二十一)	兵器支廠(二十二)	兵器支廠(二十三)	兵器支廠(二十四)
八日 木	兵器支廠(二十五)	兵器支廠(二十六)	兵器支廠(二十七)	兵器支廠(二十八)	兵器支廠(二十九)	兵器支廠(三十)
九日 金	兵器支廠(三十一)	兵器支廠(三十二)	兵器支廠(三十三)	兵器支廠(三十四)	兵器支廠(三十五)	兵器支廠(三十六)
十日 土	兵器支廠(三十七)	兵器支廠(三十八)	兵器支廠(三十九)	兵器支廠(四十)	兵器支廠(四十一)	兵器支廠(四十二)
十一日 日	兵器支廠(四十三)	兵器支廠(四十四)	兵器支廠(四十五)	兵器支廠(四十六)	兵器支廠(四十七)	兵器支廠(四十八)
十二日 月	兵器支廠(四十九)	兵器支廠(五十)	兵器支廠(五十一)	兵器支廠(五十二)	兵器支廠(五十三)	兵器支廠(五十四)
十三日 火	兵器支廠(五十五)	兵器支廠(五十六)	兵器支廠(五十七)	兵器支廠(五十八)	兵器支廠(五十九)	兵器支廠(六十)
十四日 水	兵器支廠(六十一)	兵器支廠(六十二)	兵器支廠(六十三)	兵器支廠(六十四)	兵器支廠(六十五)	兵器支廠(六十六)
十五日 木	兵器支廠(六十七)	兵器支廠(六十八)	兵器支廠(六十九)	兵器支廠(七十)	兵器支廠(七十一)	兵器支廠(七十二)
十六日 金	兵器支廠(七十三)	兵器支廠(七十四)	兵器支廠(七十五)	兵器支廠(七十六)	兵器支廠(七十七)	兵器支廠(七十八)
十七日 土	兵器支廠(七十九)	兵器支廠(八十)	兵器支廠(八十一)	兵器支廠(八十二)	兵器支廠(八十三)	兵器支廠(八十四)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基彦 </p>	

附表第十八其一

廣島灣要塞司令部残務整理業務

月日曜	一般		機密書類		地帯業務		一般業務		砲兵業務		其他業務	
	機密書類	地帯業務	一般業務	砲兵業務	其他業務	機密書類	地帯業務	一般業務	砲兵業務	其他業務	機密書類	地帯業務
八月一日	廣島灣要塞司令部 砲兵業務整理業務											
二日												
三日												
四日												
五日												
六日												
七日												
八日												
九日												
十日												
十一日												
十二日												
十三日												
十四日												
十五日												
十六日												
十七日												
十八日												
十九日												
二十日												
廿一日												
廿二日												
廿三日												
廿四日												
廿五日												
廿六日												
廿七日												
廿八日												
廿九日												
三十日												

備考
一、本表ノ外豊後要塞司令部ニ引継クヘキ兵器、材料、廠中備品等ノ梱包搭載發送等ノ業務ヲ

令部殘務整理業務實施表

冥

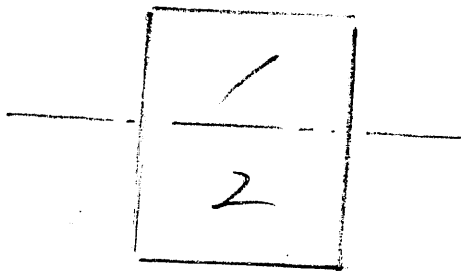
大正十五年九月五日

[illegible]

科廳中備品等ノ梱包塔載發送等ノ業務ヲ實施シタル元本業務ハ新設業務中ニ記スルコトセリ

5620

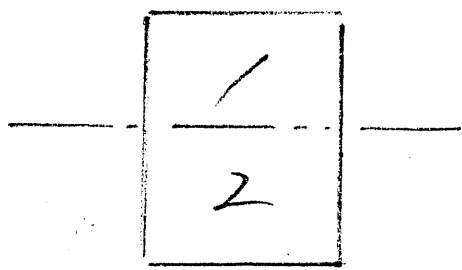
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p>	

秋

三全右移管，物
品受檢終了

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基 印</p>	

令部殘務整理業務實施表 其三

大正十五年十一月五日調製

[illegible]

附錄第一

整理會議ニ就テ司令官、司令部職員ニ與フル指示

大正十五年六月一日

一、別紙要領ニ依リ整理會議ヲ行フ該會議目的ハ要領ニ記述セル如ク廢止並新設業務ヲ圓滑進捗セシムル目的トス故ニ該會議ニ於テ爲シ得ル限リ細大漏サス忌憚ナク意見ヲ交換シ後日交渉ヲ減少セシムル如ク諸官、努力ヲ要望ス

二、諸官ハ會議、際先ツ原案ヲ印刷配賦シテ説明ヲナシ該原案ニ基キ協議ヲ遂ケルモノトス而シテ原案ハ豫メ司令部職員ニ於テ討議研究シタルモノナルヲ要ス該原案ニ示スヘキ事項ハ議題ノ種類ニ依リ異ナルニ概ネ左記ノ事項ヲ明示スルヲ可トス

ハ、處理ノ方針

2. 處理方法及期日
 3. 品目員數表
 4. 所要經費
 5. 其他特ニ注意ヲ要スヘキ件
- 尚原案外整理會議席上ニ於ケル質議及意見等ヲ豫測シ之ニ應スル腹案ヲ立テ質問等ニ對シ直ニ之カ對案ヲ示シ得ル如ク準備シ置カムコトヲ望ム



附録第二

廣島海軍工廠司令部新築業務関係台帳記録

大正五年六月十日
第五師團司令部印刷

配布區分	
陸軍省	一三
參謀本部	二
第五師司令部	七
第六師司令部	七
陸軍運輸部	三
兵備本部	三
築城本部	三
廣島兵器支隊	五
豐後築城部支隊	一
吳鎮守府	五
広島海軍司令部	二六
計	七十五部

目次

第一	打合之ヲ行ハシテモリシ動機
第二	打合ニ要領
第三	決議事項並ニ参列者ノ意見
其一	兵器 (砲兵科)
其二	兵器 (工兵科)
其三	國防用土地及防禦施設造物並船舶
其四	廳中備品及圖書
其五	廳舎及字品倉庫
其六	地帶業務及廢務
其七	經費
其八	其他

廣島海軍要塞司令部發止豐豫要塞司令部新設業務関係打合せ決議録

第一 打合せの行ふに至リシ動機

大正十一年六月初至リ愈々大正十一年八月日ヲ以テ廣島海軍要塞司令部ヲ廢止

シ豐豫要塞司令部ヲ新設スルニ決セラレタリ廢止並ニ新設要領及全細則發

布機熟スルヤ大正十一年末豫豫要塞廢止實績鑑關係主任者一堂會

シ打合せヲ行フコトハ業務進捗上最モ必要ナルヲ痛感シ豫々關係者内諾ヲ得

又第六師團長ト又協議ノ上第五師團長ノ命ニ依リ廣島海軍要塞

司令官官憲、大正十五年六月十日ヨリ三日間関係者廣島に集合シ打
合セヲ行フコトナレリ

附記

豐後要塞司令部新設駐廣島灣西女塞司令

部廢止要領及全細則ハ大正十五年六月九日軍令陸上

免ル部及陸密第五號ヨリテ改發布セナレリ

第二 打合之要領

大正十五年六月十日ヨリ三日間関係者廣島灣要塞司令部に集合シ

アジア歴史資料センター

各議題ノ原案ハ廣島港要塞司令部ニ豫メ研究ル審議シ最
可ヤリト信スルモヲ打合セ前ニ各参列者ニ印刷配布シ該原案
ニ就キ起案者説明ヲ行ヒ次テ各自意見ヲ交換シ所要ノ増
補訂正ヲ加ヘ以テ決議トセリ

本打合セニ参列セシ者別紙ノ如シ

打合之参列者人名表

大正十一年九月十日
順序不同

廣島海要塞司令官	陸軍少將	弘中曉
陸軍省軍務局課員	陸軍兵少佐	桑原四郎
築城部本部員	陸軍砲兵尉	椎名正健
築城部豐後支部長	陸軍兵少佐	藤澤一孝
陸軍兵器本部員	陸軍兵少佐	船橋定吉
廣島陸軍兵器廠長	陸軍砲兵尉	高橋政藏
廠員	陸軍兵少尉	見島信士
廠員	陸軍砲兵尉	横尾達三
廠員	陸軍砲兵尉	佐々木博
陸軍運輸部員	陸軍兵少尉	高野逸士
第五師團參謀	陸軍兵中佐	矢崎博之
第五師團副官	陸軍兵少佐	岩永汪
第五師團兵器部員	陸軍砲兵尉	池田一
第五師團經理部員	陸軍兵少尉	越智昇平
電信第二聯隊副官	陸軍兵少佐	上嶋政一
吳鎮守府參謀	海軍中佐	大田千太郎
吳海軍建築部	海軍技師	水戸春造
廣島海要塞參謀	陸軍砲兵尉	由比岡吉
副官	陸軍兵少尉	渡邊正夫
部員	陸軍砲兵尉	小林秋夫
部員	陸軍砲兵尉	松尾喜助
部員	陸軍砲兵尉	大築安之助
部員	陸軍砲兵尉	坂本森樹
部員	陸軍砲兵尉	塩田鼎

備考。印八關係事項協議、之参列者之示

其 一 兵 器 (砲兵科)

一 處 理 方 針

豐豫要塞携行兵器及兵器用物品ノ發送ハ廣島海軍倉庫

司令部砲兵部員之ヲ實施シ壘演習廣島海軍倉庫岸根鼻

大君休石諸砲臺(輕砲)ノ撤去ヲ送並ニ一般兵器

ノ集積格納ハ廣島陸軍兵器支廠ニ於テ之ヲ担任

豐豫要塞現存兵器ノ受領ハ佐賀關到後後實施

又現ニ廣島灣要塞司令官ニ保管ヲ依託セラレ海
軍保轉兵器ハ現状ノ儘大正十五年八月一日廣島陸軍
兵器支廠長ニ引継クモノトス

但シ兵器廠依リ豐後要塞戰備用兵器大部ハ移轉
ノ際佐賀關ニ携行スルモノトス

又ナル意見 移轉ノ際戰備用兵器ヲ携行セラル

タシ（兵器本廠員）

二 處理方法及期日

一 成ルベク速ニ室瀨及岸根、礮臺、早瀨、礮庫、水

君礮臺、敬言園屋、彈藥本庫、休石礮臺、順序ニ返

納兵器ヲ廣島陸軍兵器支廠ニ返納ス

二 次ニ豐豫要塞ニ携行スヘキ動員用兵器及兵器廠依

托戰備用兵器並兵器用物品ノ荷造條送準備ヲ完

了スルモノトス其細部ニ関シテハ別ニ計畫ス

前項兵器ノ輸送ハ廣島灣要塞司令部之ヲ擔任シ

陸軍運輸部ノ船舶ニ依ル其發送時期ハ遅クモ大

正十五年八月十日迄ニ佐賀關ニ到着セシムモノトス

主ナル意見 輸送ハ廣島灣要塞司令部ノ擔任カ或

ハ運輸部ノ擔任カヲ明示セシム(陸軍運輸部通)

3、豊豫要塞携行兵器、同物品ノ奉送準備完了セハ大那次

美鶴原山、鷹、巢高、低諸砲臺及包、浦、三、高、宇品、

要塞司令部構内所在兵器並兵器用物品ヲ廣島

陸軍兵器支廠ニ返納及引續ク

返納兵器ハ返納証票ニ依リ現品ハ現状ノ儘兵器表及

兵器細目名称表ニ依リ一々照合、上返納シ兵器用物品

ハ送証ニ依リ現品ハ兵器ニ準シ引継クモノトス

要塞要塞現存ノ兵器ハ大正十五年八月一日佐賀關ニ於テ

書類上、受授ヲ行ヒ現品ノ受授ハ要塞司令部砲兵

部員佐賀關到着後主任者立會ニ上現品ニ就キ實施

ス其期日ハ概同年九月上旬トス

又及納兵器引継業務完了ハ概大正十五年八月廿日トス

三品目員數表

品目、員数附表第一其二及別表

四特ニ注意スヘキ件

兵器材料、船舶搭載、為ニ陸軍運輸部構内物

揚場ヲ使用スルコトヲ得

(附託陸軍運輸部員承諾)

各師團長管理ニ属スル官衛用兵器、并板乗馬具ニ付

ハ第五師團ヨリ借用、形式ニ依リ豊豫要塞ニ携行スル

モノトス

(附記 兵器本廠より借用形式ヲ携行後兵器廠於テ救護ス)

3. 豊豫要塞備肥ニ関スル圖書ハ陸軍省ヨリ交付セラルル

(附記 陸軍省銃砲課員承諾)

4. 豊豫要塞司令部平時業務上必要ナル砲床検査器等

ハ之ヲ豊豫要塞ニ携行スルヲ得

(附記 陸軍兵器本廠より意見 携行差支ナシ)

今戦用兵器中不足モノ(将校乗馬具七眷)此際充實セス

欠数儘携行スルモノトス

(附記 陸軍兵器本廠より意見 當今充實シ難シ不足儘

携行戦時支給セラルモノトシテ知セラレタシ)

込込納兵器ノ格納替及ビ手入ニ要スル經費ハ廣島陸軍兵

器支廠より増額申請スルモノトス

附表第一其

備考		師團長管理動員用兵器數量表 (豐豫(擴行))						
品	目	員數	相數	斤數	才數	荷造箱	摘要	
三八式軍刀乙		五一	二	二六〇	六〇	軍刀運搬箱 二		
三八式銃劍		一三八	三	二五〇	一八	銃劍運搬箱 三		
三八式騎銃		六	一	一〇〇	一二	騎銃運搬箱 一	荷造箱ハ兵器支廠ヨリ受ケルモノトス	
三八式騎銃携帶予備品		一						
三八式拳銃		八	一	二〇	一			
刀劍附刃器		五	一	一〇	一			
三八式乘馬具		四	一	三二〇	三四	三八式乘馬具運搬箱 一		
將校乘馬具								
三八式銃實包拵彈子紙匣共		一八〇	一	三〇	一			
三八式拳銃實包		二五六						
計			九三	九六〇	一二二			

兵器用物品携行員數表

[illegible]

品目		數量	單位	總數	摘要
三式砲隊鏡	三式砲隊鏡	四	個	四	
三式雙眼鏡	三式雙眼鏡	七	個	七	
聚光信號燈	聚光信號燈	五	個	五	
索動式電話機	索動式電話機	四	台	四	
中校四度線	中校四度線	一	台	一	
校隊鏡用器具箱	校隊鏡用器具箱	二	個	二	
修理用器具	修理用器具	二	個	二	
鑿工器具	鑿工器具	二	個	二	
鋸工器具	鋸工器具	四	個	四	
木工器具	木工器具	四	個	四	
鐵工器具	鐵工器具	四	個	四	
合計				四九	

備考
本表外砲臺為砲臺豫備品及砲臺修理工具
携行不

其二 兵器

(二 兵科)

一 處理方針

守城工兵器具、定数外兵器、輕便鐵道枕料ハ現在格納

ノ儘廣島陸軍兵器支廠ニ返納スルモノトス、其格納區分

ハ附表第一ノ如シ

二 處理ノ方法及期日

返納ノ手續 返納ハ兵器取扱規則第三十條ニ依リ兵器

返納證票ヲ調製シ授受ノ手續ヲナス

現品各主任者立會ノ上大正十五年七月中旬迄ニ其引

渡シテ完了スルモトス之ニ要スル日数左ノ如シ

司令部及守品一日 包ヶ浦二日

三品目員数

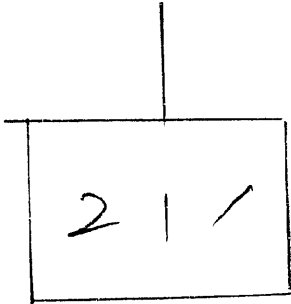

品目員数ハ附表第一ノ如シ

四其他特ニ注意スル件

一兵器ニ関シ引継ヲナスヘキ諸書類附表第二ノ如シ

二兵器手入計畫並手入方法等ニ就テハ現場ニ於テ示ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<div style="text-align: center;">  </div>
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p style="text-align: center;">57年 9 月 1 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="542 1776 826 1834"> 撮影立会者 </div> <div data-bbox="968 1747 1385 1848"> 防衛研修所図書館 整理係長 杉 清 基  </div> </div>	

附載第一

兵器格納區分表

[illegible]

[illegible]

附表第二

兵器ニ關スル引継書類目錄

品	目	頁	数	備	要
守城ニ兵器具材料原簿			壹冊		
輕便鐵道材料受冊簿			壹冊		
兵器報告綴			壹冊		
兵器格納圖			壹冊		
兵器手入隊定實施表			壹冊		
兵器ニ關スル發來翰綴			壹冊		
兵器移動通達票綴			壹冊		
備考					

其三 國防用土地防禦營造物並船舶

一 處理方針

國防用土地並防禦營造物ハ概テ左ノ區分ニ依リ移管スルモノトス

一 大郡沙美島砲臺及同交通路敷地並蒙頭鼻電燈及同交通

路敷地及其以東ノ敷地(三島補助建設物敷地並大郡
低地等同交通路敷地ニ部テ存)ハ海軍省ニ

但シ以上ノ地區ハ凡テ現在兵器存置間陸軍ニ於テ其使用權

保留又將來陸軍ニ於テ防備ヲ行フニ必要ト認メタル場合亦同
シ尚ホ大君低砲臺及同交通路敷地中海軍電燈所敷地
南側田地ヲ工兵第五大隊架橋演習場トシテ使用權ヲ保留ス

主ナル意見

(1) 岸根鼻砲臺、鶴原山堡壘、豪頭鼻電燈所、各敷
地殊ニ鶴原山堡壘敷地ハ那沙美水道ヲ俯瞰シ、重要ナ

此兵ニシテ民間ニ渡ルヲ好マス又將來兵要塞地帯
敷設ノ為メ該地域ハ地帯内ニ含マシムル豫定ナルニ依リ
一括シテ移管ヲ希望ス(兵鎮守府參謀)

(四) 兵器並備砲撤去ノ期曰ハ不明ナルモ當分使用權ヲ有シ
且ソ軍路ヲ殘置シテ將來ノ撤去ニ支障ナカラシムルヲ依
然陸軍ニ存置スルヲ希望ム

但シ全兵器撤去ノ後ハ移管スルモ可ナリ(臺本廠員)

(ハ)海軍トシテハ如何ナル條件ヲ附スルモ苦シカラス又軍路モ

破壊スルノ意圖ナシ(吳鎮守府参謀)

(ニ)大那沙美島砲臺及同交通路敷地ハ海軍省ニ移管スル

コトトシテ手續ヲナスコト但シ條件ヲ附スルコトハ海軍

ニ移管スル他ノモノト同シ(大正十五年五月十六日
陸軍省三原少佐電報)

(ホ) 大君ハ將來第五師團ニ兵演習地トシタキ土地ニシテ既ニ第

五師團ノ管理權トナリ居ル大君兵舎敷地ノ附近ニ部ヲ

第二師團經理部ノ移管ヲ望ム(第五師團經理部員)

大君低砦臺及全交通路敷地ハ附近ニ海軍電燈所アリ

戰時ニ要ナルヲ以テ括シテ海軍ニ移管スルコトヲ希望

ス(吳鎮守府參謀)

2. 宣漢砲臺及全交通路敷地並倉浦補助建設物及全交通路
敷地一部ハ内務省ニ

主ナル意見

(1) 倉浦ニ火藥庫ヲ有スルヲ以テ最近火藥庫ヨリテ曰

五十年以上ノ所迄ハ依然陸軍ノ土地トシテ管理セラレ

タシ兵器本廠員

3 前二項以外ノ敷地大河宇宮間軍用
鐵道敷地ヲ含ムハ第五郎團經理部ニ

4 以上國防用土地ノ處分ハ附表第一ノ如シ

5 防禦營造物(通信網ヲ除ク)ハ前各項ノ敷地ト同時ニ移管

官衙ニ移管スルヲ本旨トス

但シ特別ノモノヲ除ク其詳細ハ附表第三ニ依ル

主ナル意見

(イ) 大君地区ハ一部ノ兵舎既ニ第五師團經理部ニ移管

セリシモ稍々狭キヲ以テ大君ノ砲臺ノ建物ヲ移築ス

シタキ希望ヲ有ス(第五師團經理部ト員)

大君砲臺ノ建物ハ第五師團經理部ニ譲リ舊兼松砲

臺監守衛舎及空濱砲臺ノ監守衛舎並彈廠ト交換

ス(築城部本部ト員)

通信線、當分要地防衛、兵器格納所、海運材料格納所、
 間連絡並電信第二聯隊演習用等トシテ依然大部ハ陸
 軍ニ於テ保有三部ハ放棄ス又保有スルモノト雖モ一ク止ムヲ得
 サルニ至ラハ放棄ス

但シ元廣島灣要塞司令部似島、三高、邑ヶ浦間ハ永久ニ
 保有ス其處分附表第四ノ如シ

主ナル意見

(1) 廣島―呉―早瀬―高田間全部ヲ海軍ニ移管ヲ受

クルトハ其保續費ノタメ多額ノ經費ヲ要スルヲ以

テ研究ヲ要ス、爲シ得ルハ全部ヲ陸軍ニ保管シ其

一線ヲ海軍ニテ使用セシメテテキ希望ナリ(吳鎮守府参謀)

(四) 第五師團經理部トシテ通信線全部ノ移管ハ必要ナ

シ中間線(司令部―宇品―似島―三高線)―線ノミシ
 タシ(第五師團經理部各員)

ハ要塞司令部―吳間及要塞司令部―大野間ノ電

話線ハ電信第三聯隊演習用線路トシテ保管轉換

ヲ受ケテ差支ナレ然ル上六廣島―吳間―一條ヲ海軍ニ

提供スルモ差支ナレ

右線路ハ當聯隊ニ於テ保續ニカムヘキモ止ムヲ得サル

ニ至ラハ放棄スヘキコトアルヘキヲ以テ永久海軍ニ提供

スルコトハ斷言シ難シ(電信第二聯隊長)

(二) 宝瀨―色ヶ浦間及高田―早瀨―吳間ノ電話線ハ廢

棄スルカ又ハ警察用トシテ移管シテハ如何研査凡

セラレタシ(陸軍省軍務局課員)

分地帶標石標札並區域標石ハ大正十五年十月末日迄ニ埋場ニ

於テ破壊シ又ハ引倒シテ後海中又ハ谷地ニ投棄スルカ埋

填スルモノトス其撤去計畫附表第五ノ如シ

又雜船ハ一隻ヲ豐豫要塞司令部ニ他ヲ第五師團經理部

ニ移管スルモノトス其區分附表第六ノ如シ

ニ處理方法及期曰

前項處理方針ニ基キ被移管部隊ニ在リテハ附表第一乃至第四及第六ノ區分ニ依リ所定ノ手續ヲ行ハレ指令ヲ受クルハ各關係者立會、上大正十五年八月末日迄ニ現場ニ於テ引渡ヲ完了スルモノトス引継計畫ハ附表第七ノ如シ

三其他注意スヘキ件

一引継ニ要スル書類ハ附表第八ノ如シ

2 所管營造物附屬物件ノ處理ハ附表第九ノ如シ

3 内務省ヘノ土地ノ移管ハ廣島縣廳ト打合セヲナスモノトス

4 土地及所管營造物ノ移管手續ハ左ノ如シ

(1) 土地

(a) 第五師團(吳鎮守府)ヨリ協議書類ヲ築城部本部

長ニ(土地調書二通)添テ提出ス

(七) 第五師團(吳鎮守府)ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省

(海軍省)ニ規定ノ圖書ヲ添フ上申ス

但シ築城部本部長ノ同意書ハ築城部本部ヨリ陸

軍省(海軍省)ニ出ス等

(八) 陸軍省(海軍省)大藏省ニ交渉ノ上第五師團(吳鎮

守府)ニ指令ス

(四) 防禦營造物

(a) 築城部本部長ヨリ廣島灣要塞工兵部員ニ引渡指令

ヲ受ケ相互調印ノ上引渡ヲ完了ス

(a) 被移管部隊ハ廣島灣要塞司令官ニ協議書類

營造物調書三通ヲ添ヘテ出ス

(a) 要塞司令官ハ更ニ築城部本部長ニ意見ヲ添ヘ協議ス

營造物調書ニ通ヲ添フ

(c) 被移管部隊ヨリ管理換ノ手續ヲ陸軍省(海軍省)
ニ規定ノ書類ヲ添ヘ上申ス

但シ築城部本部長ノ意見書ハ築城部本部ヨリ陸軍
省(海軍省)ニ出ス旨

(d) 陸軍省(海軍省)ハ大蔵省ニ交渉シ上被移管部隊ニ

指令スルト同時ニ廣島灣要塞司令官ニ移管ノ件通

牒ス、要塞司令官ハ夫々被移管部隊ニ引渡スモノトス

ハ其他ノモノ

陸軍省所管國有財産取扱規定第四十一條ノ通り各

管轄者ヨリ正式ノ手續ヲナス

附表第一

國防用土地處分一覽表

大正十五年六月十日調

所用名	移管先	敷地面積坪	立	木竹	境界標	橋	要
室濱砲台及同交通路敷地	内務省	三四、六三五	二、一八		二五九		
包浦補助建設物及同交通路敷地	第五師團	一、三二四	一、九九五		一三三	包浦補助建設物及同交通路敷地	
舊集高砲台及同交通路敷地	第五師團	四九、二六〇	二、六一〇		七二	包浦補助建設物及同交通路敷地	
三高補助建設物敷地	第五師團	二〇七、一一九	四、五九八		九五		
大那沙美島砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、八四八	二、二五				
康頭鼻砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、〇三七五	一、四二八		一三		
鶴原山砲台及同交通路敷地	第五師團	六四、〇〇	五、〇七		一		
岸根鼻砲台及同交通路敷地	第五師團	一七、五六一	一、四六三		一九		
三高山砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、八四八	六八		七三		
大君低砲台及同交通路敷地	第五師團	六三、七九三	六、五六二	二、三三四	二八九		
早瀬砲台及同交通路敷地	第五師團	一、八八七	二八	二、〇	二〇		
高島砲台及同交通路敷地	第五師團	一五、二六九	四、八三	一、六六	二四三		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	二六、五〇四	九、二五	一、八六	一八六		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	一一、九五五	二、一〇	一一四	一一四		
休石砲台及同交通路敷地	第五師團	八、八六五	五、一四	三三	三三		
大空山砲台及同交通路敷地	第五師團	四四、一一八	三、三一四	二七八	二七八		
阿賀町物場敷地	第五師團	五〇		四			
和庄町補助建設物敷地	第五師團	四六、四〇	四、四九	二一	二一		
阿賀町砲台豫定地	第五師團	二九、一九二	三九	六七	六七		
長谷海底線陸揚場敷地	第五師團	三					
大迫海底線陸揚場敷地	第五師團	七					
明神海底線陸揚場敷地	第五師團	二					
大河間軍用鉄道敷地	第五師團	一、〇、五四	三	三三	三三		
備一、大野、似島南端、大洲、大君、早瀬、各海底線陸揚場敷地、無料借地	第五師團						
考三、室濱海底線室及那沙美海底線室敷地、永久借用スルモノトス	第五師團						

防禦營造物(建物)處分覽表

大正十五年六月十日調

[illegible]

防禦營造物(工作物)處分一覽表

大正十五年六月十日

[illegible]

附表第四

防禦營造物(通信線)處分(覽表)

大正十五年六月十日訓

線路(海底線及支線) 移管部隊使用 区分 保線担任部隊 指 要

司令部 大野間

電信 第二聯隊 電信第二聯隊

電信第二聯隊

大野 軍港 包瀬間

陸線 廣島海軍 警備司令部 康葉

海底線 物部 第三師團經理部 移管

司令部 似島 三高 包瀬間

第五師團經理部

廣島海軍 警備司令部 康葉 (安松格納間) 陸軍運輸部

第五師團經理部

司令部 吳間

電信 第二聯隊

廣島海軍 警備司令部 康葉 (安松格納間) 電信第二聯隊

電信第二聯隊

吳 警備司令部 高田間

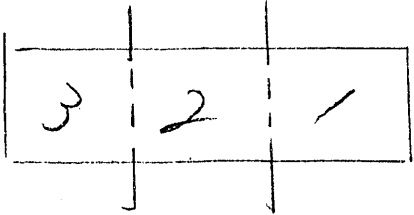

第五師團 陸線 廣島海軍 警備司令部 康葉

海底線 物部 第三師團經理部 移管

備考

一、廢棄スル線路 廣島縣廳ニ交渉上必要アレハ警備司令部電話線トシテ移管ス
二、若シ何レモ不用ナル廣島海軍司令部ニ於テ賣却処分ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>57年 9 月 1 日</p> <p>撮影立会者</p> <p>防衛研修所図書館 整理係長 杉浦基太郎 </p>	

アジア歴史資料センター

[illegible]

備考
一 本表標石、標札位置、就テ要塞地帶圖及地帶標石區域、標、標札敷地調書、依ルモ、
内地莫テリテ、建設當時ノ人夫ヲシテ案内セシム
二 指導監督者トシテ、残務整理人員中ヨリ尉官（下士）ヲ出シ得ルモノシテ計畫ス
三 各砲臺監守、監守區域内ニ在ル標石撤去及標札整理ハ、主シテ砲臺監守ヲシテ實施監督
セシム
四 難島及交通不便ナル地區ニテハ官船使用ヲ立前トシテ計畫セリ
五 標石破壊又ハ倒シタル海中又ハ谷地ニ投棄スルカ埋填スルモノトス
六 人夫二人ニ對シ石工玄翁ニ、鶴嘴一綱ハ玄翁板（豫備）ヲ携行セシム
七 宿泊欄中人夫ヲ宿泊セシメタル標石建築當時ノモノ一名、案内ヲ兼ねシムルモノ使用ス
八 本表往復時間中官船ニ依ルモノハ宇品ヲ起ス矣トス

附表第六

船舶處分一覽表

大正十五年六月十日

備考	雜船			種別	員數	長サ	幅	深サ	所在	移管區分
	一	二	三	一	二	三	四	五	六	七
一 本表ノ員數ハ國有財産ノモノヲ示ス 二 物品トシテ外ニ雜船一隻ヲ有ス	一	二	三	一	二	三	四	五	六	七
	二五〇	二六二	五〇	五〇	二六二	五〇	二六二	五〇	二六二	五〇
	一六	一三	一六	一三	一六	一三	一六	一三	一六	一三
	字	品	品	品	品	品	品	品	品	品
	第五師團經理部			豐豫要塞			廣島陸軍兵器廠			
	(廣島陸軍兵器廠)			(廣島陸軍兵器廠)			(廣島陸軍兵器廠)			

附表第七

土地建物移管引渡計畫

大正十五年六月十一日

所用名稱	移管先	引渡日次	摘要	海軍省				陸軍省				備考
				陸軍省	海軍省	陸軍省	海軍省	陸軍省	海軍省	陸軍省	海軍省	
室濱砲台及同交通路敷地	陸軍省	一 陸軍省 官 日帰	色ヶ浦迄官船陸行室濱ニ至リ 嚴島ヨリ汽車坂廣									考
色ヶ浦補助建設敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	往復官船色ヶ浦泊									
三高補助建設敷地	陸軍省											備
大那沙美砲台及同交通路敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	往復官船三高泊									
康野軍艦燈台及同交通路敷地	陸軍省											合
鶴原山砲台及同交通路敷地	陸軍省											
岸根軍砲台及同交通路敷地	陸軍省											計
三高山砲台及同交通路敷地	陸軍省											
大君低砲台及同交通路敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	往復官船早瀬泊									一
早瀬軍砲台及同交通路敷地	陸軍省											
高島砲台及同交通路敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	往復官船休石泊									二
休石砲台及同交通路敷地	陸軍省											
休石砲台及同交通路敷地	陸軍省											三
大空山砲台及同交通路敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	往復汽車陸行阿波泊									
阿波町物場敷地	陸軍省											四
和生町補助建設敷地	陸軍省											
阿賀町砲臺跡地	陸軍省	一 陸軍省 官 日帰	往復官船									五
長谷海底線陸揚場敷地	陸軍省											
大迫海底線陸揚場敷地	陸軍省	一 陸軍省 官 日帰	官船日帰 三高地区引渡帰路ヲ結スモトス 又通信線中三高一似島一司令部線モ 同シ									六
明神海底線陸揚場敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	半日	陸行									七
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	大野迄陸行 北浦前泊 汽車帰廣									八
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	吳迄陸行 吉浦泊 吉浦地方船帰廣									九
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	二 陸軍省 官 一泊	吳ヨリ汽車坂廣									一〇
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	一 陸軍省 官 一泊										一一
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省	一九五										一二
大河間軍用鉄道敷地	陸軍省											

附表第八

土地移管に伴う引継書類

大正十五年六月十日

名

稱

廣島品間軍用鐵道敷地収用及管理換書類	土地収用買収書類	地所ニ関スル承諾書	電柱敷地請書類	土地登記簿謄本綴	土地登記沿革収用土地明細圖	土地登記明細簿	土地登記済證綴	國有財産土地明細調書	各堡塁砲臺敷地内不利用土地利用計畫圖	同敷地内所在貸下地ノ圖合綴
備考	備									
一、本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス	一、本表書類、築城部本部ト協議済ノモノトス									
二、本書類、合冊シアルヲ以テ移管区分困難ナルモノアリ	二、各書類、合冊シアルヲ以テ移管区分困難ナルモノアリ									
三、本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス	三、本書、引継證ニ依リ授受スルモノトス									

防禦營造局附屬物件整理（覽表）
大正十五年六月十日誌

[illegible]

6580

[illegible]

解備材ノモリ金ム

考

其四 廳中備品及圖書

一 處理方針

廳中備品及圖書可成豐豫要案司令部ニ引継キ相當

修理ヲ加ヘタル後同廳ニ使用ニ充當スヘシト雖モ陸軍兵器

廠迄納兵器管理上必要物品ハ廣島陸軍兵器支廠ニ引継キ

其他不用品ハ廢品トシテ廢分ス

主ナル意見

處理方法及期日

第五師團經理部ニ引継クヘキ物品ハ概ネ不用品ニ屬スヘキヲ以
テ此際廢止ル處分ヲ手續ヲ了セラレタシ(第五師團經理部邊)

豐豫要塞司令部ニ引継ク物品ハ大正十五年八月十日頃ニ兵器其他

ト同時ニ第一次輸送ヲ實施シ速クニ加修ノ上供用ス

殘品殘路整理終了後第二次輸送ヲナシ前項ニ準シ處理ス

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ぐ物品ハ豫メ送証ヲ送附シ兵器引
継時期ニ於テ各現在位置ニ就キ対照引継キヲ實施ス

不用品ニ低級品ハ大正十五年七月末廃品慶分ラヌ

主ナル意見

廣島陸軍兵器支廠ニ引継ぐ物品ハ管理上必要ナル諸品

ナルヲ以テ良好且不足セサル様保管換方配慮アリタシ

尚物品種員数決定上可成送三通報アリタシ(廣島陸軍兵器支廠長)

三品目員数

別紙に録書及送記、如シ（別紙省略）

四所要録費

別紙に録書、如シ

尚豊隆西表基不足物品、新調費、可成同時、増額申請ヲ

シ、或シ合達セラルル如ク考慮ス

1980

五、其他

引継物品修理運搬上、便乗契約上、利ヲ考慮シ一部廢止

ニ於テ如修スルヲ可トス

其ニ 倉庫及物品倉庫

六、廢理方針

廳舎及物品倉庫ハ大正十五年八月一日閉鎖スヘキニ廣島灣

要塞司令部ニ於テ殘務整理ノ為メ引續キ使用スヘキヲ以テ殘

8980
務終了後第五師團經理部ニ返還ス

二 處理ノ方法及期日

残務整理委員ハ業務終了後廳舎及字品倉庫ノ引継書

ト共ニ第五師團經理部主任者立會返還ノ手續ヲナス

但ニ字品倉庫ハ兵器引継ハ狀況ヲ顧慮シ残務終了以前ニ関

係圖書ト共ニ返還スルコトアルヘシ

主ナル者ハ

人字品倉庫ハ後ノ使用ニ関シテハ陸軍運輸部ニ於テ

使用方ヲ希望ス(陸軍運輸部員)

2. 引継兵器管理ニ為メ人字品倉庫ハ後引継ヲ廣島

陸軍兵器支店ニ使用セシメラレタシ(兵器本廠員、廣島)

陸軍兵器支店員(廣島)

三 関係図書

別冊營繕關係面書、如左

四、廳舎及物品倉庫ハ引継後其使用ヲ希望スル部隊アルヲ以テ大要ヲ左ニ附記ス

一、廳舎及物品倉庫ハ共ニ引継兵器ノ管理兼ニ平素業務爲メ引継ト使用シタルモ止ムヲ得ス、廳舎ヲ他ニ使用セ

シメラル場合ハ同ノ物品倉庫ハ特ニ廣島兵器支廠ニ使

用セシメラレタシ(兵器本廠員廣島陸軍兵器支廠長)

2. 宇品倉庫の運輸部ニ使用セシメラレタシ(陸軍運輸部員)

3. 麿舎の電信第三聯隊ニ使用セシメラレタシ(電信第三聯

隊副官)

其六 地帯業務及庶務

(一) 要塞地帯業務

一 處理方針

陸軍ニ於テ大正十五年八月一日以後ニ互リ許可又ハ承認シタル
事項ニシテ新ニ設定スル海軍要塞地帯ニ屬スルモノハ其終、吳鎮
守府ニ於テ之ヲ繼承シ然ラサルモノハ陸軍省告示ニ布ト共ニ其
効力ヲ失フモノトス

二 處理方法

一 吳鎮守府ニ於テ繼承ヲ要スル陸軍省並廣島灣要塞司令
部ヨリ交付セル許可證及承認證ノ控ハ願書ト共ニ吳鎮守府
ニ列繼ノモノトス之ヲ爲メ吳鎮守府ニ成ルヲ連テ海軍要塞地
帶區域圖ヲ廣島灣要塞司令部ニ送付スルモノトス

二 前項以外ノ許可證及承認證ノ控並寫真帳ハ地帶法違反
ニ關スル綴ト共ニ目錄一通ヲ添ヘ大正十五年八月上旬陸軍省ニ

送附スルモノトス

3. 廣島藩ノ要塞地帶撤廢並海軍要塞地帶設定ノ告示ニ布

下共ニ吳鎮守府ハ廣島藩要塞司令部ヨリ繼承スヘキ事項

ニ関シ又廣島藩要塞司令部ハ不肖トナルヘキ許可證承認證

ノ及納ニ関シ各關係地方官衙及市町村役場ニ通知シ尚何

時ニ廣島藩要塞司令部ヨリ廣島藩要塞地帶撤廢並海

軍要塞地帶設定ノ旨關係兵隊整々署ニ通報スルモノ

(二) 御真影及勅語勅諭寫

御真影及陸軍省ヨリ交付タル勅語勅諭寫ハ目錄三通ヲ

添ヘ又第五師司令部ヨリ交付タル勅語勅諭寫ハ目錄

一通ヲ添ヘ共ニ大正十五年七月二十七日第五師司令部ニ返還ス

ルモノトス

(三) 下士以下ノ人事

の下士

今壹岐及豊後要塞司令部新設並廣島湾要塞司令部廢

止要領細則附表第一ニ依ル轉属ハ人名決定次第成ルヘク連リ

ニ第五師軍長ニ報告スルモノトス

又兵器本廠ト豊後要塞司令部ト相互ニ交換スヘキ下士一名ハ太

正十五年八月一日附兵器本廠ヨリ廣島湾要塞司令部へ及廣

島湾要塞司令部ヨリ兵器本廠へ各轉属スル如ク予ノ廣島

海軍要塞司令部ヨリ第五師長ニ命課換ヲ申出スルモノトス

(2) 傭人

馬丁ニハ其係豊原要塞司令部ニ繼續雇傭シ一ハ佐賀團ニ於テ

新ニ傭入スルモノトス

(3) 職工

大正十五年八月一日在ノ如ク處理スルモノトス

人普通職工一ハ豊原要塞司令部ニ引續キ雇傭シ定期職工ニ

並通職工一並海軍係轉兵器業務ニ属スル職工五(臨時職工一

ヲ含ム)ハ現給ノ俸額島陸軍兵器支廠ニ轉属セシメ其他ハ大

正十一年八月一日解聘スルモノトス

又並總要密司令部所要職工ニハ陸軍兵器本廠ヨリ現給ノ俸

轉属セシムモノトス

(四) 動員用陣中事務用品

第五師規定第四條ニ依リ所要數ヲ第五師中ニ整備シテ正

十五年八月十日迄ニ佐賀県ニ到着スル如ク廣島海軍要塞司令部
 残存整理者ニ於テ發送シヌ不用品ハ正十五年七月二十日迄ニ
 廣島海軍要塞司令部ヨリ第五師団經理部ニ引継クモノトス

(五) 機秘密書類

(一) 機要書類(重要ナル秘密書類ヲ含ム)ニシテ第五師団司令部

ノ機要書類(重要ナル秘密書類ヲ含ム)ニシテ第五師団司令部ヲ
 經由シテ配布ヲ受ケタルモノ及廣島海軍要塞司令部調製ニ係ル

大正十五年七月中ニ其ノ五師ノ長ニ保管轉換ノ上申ヲ
 為シ各部隊ヨリ直接廣島ヲ要塞司令部ニ配布ヲ受ケタルモ
 ハ今年八月中ニ廣島ヲ要塞司令部ヨリ豊祿要塞司令部
 ニ保管轉換ヲナスモノトス但シ是ノ鎮守府ヨリ配布ヲ受ケタル機密
 書類ハ今年八月中ニ且返納シ更ニ豊祿要塞司令部ニ受
 領ノ手續ヲナスモノトス

2. 前項以外ノ秘密書類ハ大正十五年八月中ニ豊祿要塞司令

1880

部ニ引継ヲナスモノトス

3. 廣島海軍要塞司令部調製機密書類ニシテ他部隊ニ配布シテ

ルモノハ残務整理終了迄一旦廣島海軍要塞司令部ニ返納

シ更ニ豊後要塞司令部ヨリ配布ノ手續ヲナスモノトス

(2) 廣島陸軍兵器支廠ニ必要ナルモノ

1. 機密書類(重要ナル機密書類ヲ含ム)大正十五年七月中ニ第

五師團長ニ保管轉換ノ上申ヲ為スモノトス

2. 前項以外、秘密書類ハ今年七月中ニ目錄ヲ附シ引継ヲナスモ

ノトス

(3) 不用ニ属スルモノ

1. 機密書類(重用ナル秘密書類ヲ含ム)ハ今年七月中ニ配布ヲ受

ケタル長官ニ返納スルモノトス

2. 前項以外、秘密書類ハ今年七月中ニ焼棄スルモノトス

(4) 京薄其他

機密書類(重要な機密書類を含む)保管部簿機密書類

類受領證綴並機密書類送証綴ハ目錄ト共ニ大正十五

年七月末日迄ニ第五師司令部ニ引継クモノトス

又前項以外ノ機密書類保管部簿及機密(密書類諸)製部

簿ハ豊豫要案司令部ニ引継クモノトス

(5) 機密地圖謄写ニ關スル書類

地方官公衙其他ニ於テ機密地圖ヲ謄写シタル部面及謄写ニ

関入一件書類ハ大正十五年七月中ニ第五師司令部ニ引
継クモトス

(六) 一般書類

豊岡要塞司令部ニ必要ナルモノハ該司令部ニ引継キ其他ノモノ
ニシテ軍隊内務書類保存期限ノ定メアルモノハ残務整理終了迄ニ
第五師司令部及第五師軍經理部ニ引継クモトス但し司令部
令部歴史要案記録及陣中日誌ハ大正十五年八月一日以後陸

9880

軍省(第五師系司令部經由)ニ送附スルモノトス

其々、經費増額并金錢事項

處理方針

新設及中止要スル臨時費ハ要塞整理費及其他、經常費

是等費用支弁トシ輸送費等、如ク合算支拂ヲ爲ス經費

ハ通合仕請ヲナシ増額申請ス

廣島海軍要塞司令部馬匹積立金ハ與陸軍要塞司令部ニ移

算スル如ク申請ス共、府金、府廳ニ除シ司令部適宜處分ス

二 處理方法及期日

經費 增額申請ハ大正十五年六月中ニ手續ヲ了スルコトニ着意

シ其以前ニアリテハ緊急急ナルモノアルヲ以テ契約打合終了後第貳次

ノ申請ヤナス

兵器其他物品苗書ノ輸送ハ陸軍運輸部ニ契約又ハ業務依

托ヲナスモ經費ハ支拂ハ廣島海要塞司令部ノ担任トシ増額申

諸君に
お詫言ふ

馬匹積立金、移算、大正十五年八月一日以後トシ共有金、廢廳ノ

際司令官、定ムル方決ニ據リ廢分ス

三金額

別紙調書、如シ

尚ホ申請ニ際シテハ明細書必要ナル金額ニ内訳書ヲ添付ス

軍 部 常 經					科 目	
第二項	彈藥費	二三四六〇〇〇	六四六〇〇〇	一七〇〇〇〇	令達額	所要額
第一項	武器費	五六五三〇〇〇	一七二一〇〇〇	三九三二〇〇〇	增(減)額	摘要
第五項	兵器及馬匹費	八六五七〇〇〇	二八三五〇〇〇	五八二二〇〇〇		
其他	流用制限費	一九〇〇〇〇〇	四三六〇〇〇	二四六〇〇〇		
第二十五項	接待費		六〇〇〇〇	六〇〇〇〇		
第二項	出張旅費	五〇〇〇〇〇	一七四三〇〇〇	一二四三〇〇〇		
第三項	雜給及雜費	二四〇〇〇〇〇	六六〇三〇〇〇	四三〇三〇〇〇		
其他	流用制限費	六六〇〇〇〇	一四四〇〇〇〇	七八〇〇〇〇		
第四項	防禦營造物修補	六二〇〇〇〇	一八〇七〇〇〇	一一八七〇〇〇		
第二項	廳費及修繕費	二二八〇〇〇〇	三二四七〇〇〇	一九六七〇〇〇		

大正十五年六月十一日

廣島海軍要塞司令部

納

科		目		金額		摘要	
経常費	廳費及修繕費			二八三八	〇〇〇		
	雜給及雜費			七二五九	〇〇〇		内訳明細書省署
	演習費			五〇〇	〇〇〇		兵器費ニシテ明細ハ關係書類ニ依ル
	兵器及馬込費			二二八九	〇〇〇		團平一被ニ〇〇小舟一二〇其他經常費
	輸送費			四〇〇〇	〇〇〇		團平一被ニ〇〇小舟一二〇其他經常費
臨時費	計 (軍事費)			一六八八六	〇〇〇		内訳明細書省署
合計				三四六〇六	〇〇〇		

経費増額調書

(第六師團關係)

大正十五年六月十日

廣島海軍要塞司令部

要

其八 其他

一、廣島湾要塞司令部ニ奉戴シアル御真影ハ大正十五年中ニ
第五師より陸軍省ニ奉還スルコト

二、廣島湾要塞地帯撤廢ノ告示アルヤ直チニ其旨陸軍省ヨリ

電報スルコト

三、廣島湾要塞残務期間ハ大正十五年十月三十一日迄トシ其
人員ハ部員一下士以下四又ハ五ト概定シアルモ之ヲ決定ハ廣

島湾要塞司令官ヨリ大正十五年七月一日迄ニ第五師を長
ニ上ニ第五師を長第六師を長ト協議決定、上陸軍大

臣ニ報告スルコト

附錄第三
第五編 第一一號

廣島湾要塞司令部廢止ニ関スル規定件達

廣 係 部 隊

廣島湾要塞司令部廢止ニ関スル規定件達

大正十五年六月十三日

第五師團長 岸 本 亦 太 郎

第一條 廣島湾要塞司令部廢止ニ関シテハ大正十五年軍令陸乙

第九號及陸密第一五七號壹岐及豐後豫要塞司令部新設並廣

島湾要塞司令部廢止要領及同細則以下軍ニ細則ト畧稱スニ據ル外本規定ニ

據ル

第二條 細則第二條、御真影(陸軍省ヨリ交付ヲ受ケル勅語、勅諭)

諭旨)ハ目錄三通ヲ添ヘ七月二十七日第五師屯司令部ニ奉還(返)

還)スルモノトス

第三條 廣島湾要塞司令官ハ細則第三條ノ下士ノ豫定轉属区分

ヲ七月一日迄ニ師屯長ニ報告スルモノトス又細則第五條ノ殘務整理期

間及殘留者官氏名ヲ七月一日迄ニ師屯長ニ申請認可ヲ受ケルモノトス

第四條 細則第七條ニ依リ師屯長管理動員用兵器及動員用陣

中事務用口等ニシテ豊豫要塞司令部ニ移管スヘキモノハ其口目員數

附録三

ヲ七月十日迄ニ師長報告スヘシ但シ動員用陣中事務用品中不
用ノモノハ七月二十日迄ニ目錄ヲ附シ師中経理部ニ引継クモノトス

第五條 師中管理ニ属スル官衙用兵器(将校乗馬具三脊)ハ第五師中
兵器部ヨリ借受ノ手續ヲナシ携行スルモノトス

第六條 機密書類(重要秘密書類ヲ含ム)中不_レ用ノモノニシテ師中司令
部ヲ經由セサルモノハ直接發行廳ニ其他ノモノハ七月末日迄ニ師中司令
部ニ送納シ細則第九條但書ノモノハ七月中ニ保管轉換ノ手續ヲ爲

スモノトス

第七條 細則第十條ニ依ル廳中備置書類其他「般書類等」ニシテ同

條ニ依リ各関係部隊ニ引継キタル殘餘ノモノハ目錄ヲ附シ成ルヘク連
 第五師軍司令部ニ引継クモノトス

第八條 細則第十三條ニ依ル經費中廣島湾要塞廢止ニ要スル經費
 及殘務整理ニ要スル經費ハ相當科目ノ支辨トシ令達豫算内ニ支
 辨シ難キモノハ六月末日迄ニ増額申請算出内譯書ニ通シ添ヘ
 ノ手續ヲナスモノトス

第九條 第五師軍經理部管轄ニ屬スル土地建造物ハ殘務整理終
 了迄ニ返還スルモノトス

第十條 廣島湾要塞司令部ハ廢止並殘務整理業務實施完了ハ
 其狀況報告書ニ通シ師軍長ニ呈出スルモノトス

8680

附錄第四

大正十五年六月三十日

豊饒要塞司令部新設及廣島灣要塞司令部廢止業務關之規定

豊豫要塞司令部新設及廣島湾要塞司令部廢止業務
 二關於規定ノ件
 司令部
 豊豫要塞司令部新設及廣島湾要塞廢止業務ニ關於規定
 本冊ノ通り定ム

大正十五年六月三十日

廣島湾要塞司令官 弘中 曉

豊豫要塞司令部新設及廣島灣要塞司令部廢止業務ニ関スル規定

第一 總則

一 新設及廢止業務ハ大正十五年軍令陸乙第九號及陸密第一五七號壹岐及

豊豫要塞司令部新設並廣島灣要塞司令部廢止要領及同細則並廢

止業務ニ関シテハ第五師團長 新設業務ニ関シテハ第六師團長ノ規定ニ依ル

據ル外ハ規定ニ據ルヘシ

二 新設及廢止業務ハ大正十五年六月十一、十二日行ヘル打合セ決議ニ基キ實施ス

へ若し之が決議事項ヲ変更スルノ要アルトキハ豫メ本職ノ認可ヲ受クヘシ

三、業務準備及實施ハ特ニ關係者トノ連絡ヲ緊密ニシ齟齬重複ナキ如クスヘシ

四、各主任者ハ成ルヘク七月中ニ諸般ノ手續ヲ完了シ以テ殘務整理業務ヲ極力減少セ

シムニ努メ且又殘務整理ニ任ス者ハ詳細ニ其ノ業務實施ニ支障ナキ如ク指示シ導クヘシ

五、本規定中ノ月日ハ凡テ大正十五年ノ月日トス

第二 經 理

六、新設業務廢止業務ニ要スル豫算ノ増額令達アル迄業務實施ハ年度令達豫算ニテ

支辨し得ルモノハ之ヲ實施ヲ防メト雖モ否ラサルモノハ本職ノ認可ヲ得タル後ニ非サレハ
實施スヘカラス

七、廢止業務實施ノ爲メ契約ヲ要スルモノハ成ルヘク七月中ニ契約ヲ完了スヘシ

八、殘務整理期間、經理業務ニ関シテハ第五師團經理部長、區署ヲ受クヘシ

第三 輸送

九、豐豫要塞司令部ニ轉出スヘキ者ハ單獨赴任スルモノトス其出發區分ハ別ニ定ム

本職ハ八月二日廣島出發赴任ス

十、副官八月一日豊豫要塞司令部ノ事務ヲ開始シ得ル如ク佐賀關ニ到着シ
諸準備ヲ行フヘシ

十一、豊豫要塞司令部ニ轉出スル末馬八月一日佐賀關ニ到着スル如ク副官ニ於テ
輸送ヲ計畫實施スヘシ尚其輸送ニ際シテハ率領者ヲ附スヘシ

十二、豊豫要塞ヲ携行スヘキ兵器其他諸物件ノ大部ハ城ルヘク同時ニ陸軍運輸部
ノ船舶ニ依リ輸送スルモトシ其ノ中品出帆ヲ八月八日ト豫定スシカ輸送ハ左ノ
如ク担任スヘシ之カ爲メ各主任者ハ担任者ト緊密ニ連絡シ翌週ニ於テ輸送

物件数量、日時、團長、有無等、前週水曜日迄各担任者ニ通知スル

陸上(廣島)ニ於テ輸送材料、整備	主計	殘務整理者 (工兵部員)
海上(廣島灣)ニ於テ輸送材料、整備	工兵部員	
守品ニ於テ集積區署	砲兵部員	
豐豫要塞ハノ發送	工兵部員	
豐豫要塞ノ揚陸	砲兵部員	
同右陸上輸送材料、整備	主計	

前項物件(豐豫)要塞ハ輸送方リテハ砲兵科ノ下士一ヲ掌領者ヲラシムヘシ

豐豫要塞携行スヘキ殘余ノモノ輸送ハ殘務整理者ニ於テ之ヲ輸送ヲ實施スヘシ

第四 殘務整理

5

十三、殘務整理期間八月一日以後十月十日迄トシ殘務整理爲メ殘留スヘキ者附
表ノ如シ

十四、工兵部員ハ殘務整理爲メ殘留スルモノヲ指揮シ第五師團長ノ區署ヲ
受テ殘務整理ニ任スヘシ

十五、工兵部員ハ殘務整理ニ任スル者内用済ナレル者ヲ第五師團長ノ認可ヲ得

タル上成ルヘク速ニ豐豫要塞司令部へ赴任セシムル如ク努ムヘシ

第五 報告

六、各主任官より本職ニ提出スルモノヲ定ム

種	類	提出期日	提出者	摘	要
各科日課豫定表	七月五日	各主任者	七月一日以後 八月一日迄ノ分		
残務期間日課豫定表	七月二十日	工兵部員	各主任者ハ各科ノ残務ニ係ルモノヲ 工兵部員ニ七月十五日迄ニ移シテ		
各科日課實施表	八月五日	各主任者	六月十日以後 八月一日迄ノ分		
残務期間日課實施表	残務終了後直々ニ	工兵部員			
狀況報告書資料	七月以後旬報	各主任者	残務期間ニ含ム		
残務期間狀況報告書	残務整理完了後ニ	工兵部員	残務期間ノ分		

十七、狀況報告書資料の廢止及新設業務毎區分し概略を件ヲ記述スルヲ要ス

一、準備ノ狀況

二、實施ノ狀況

三、將來ニ關スル意見

四、其他參考トナル事項及諸表

狀況報告書資料中附表類等ニテ將來變更ナキモノハ其都度半紙白紙ニ謄

寫上各拾部宛副官許ニ送付スルモノトス

8060

大豊豫要塞司令部事務開始ハ副官ハ直ニ其旨第六師團長及
本職ニ電報スヘシ

九工兵部員ハ殘務整理期間規定ヲ定メ七月二十五日迄ニ本職ニ提出スヘシ

附表

業務整理爲、殘留ス（キ）人名表

備考

- | | | | |
|----------|----|----|-----------------|
| 陸軍工兵大尉 | 坂本 | 赤木 | 樹 |
| 陸軍工兵曹長 | 井上 | 辨治 | |
| 陸軍砲兵曹長 | 関東 | 肇 | |
| 陸軍工兵曹長 | 迫奥 | 義尾 | |
| 陸軍工兵上等工長 | 鎌倉 | 金正 | 自八月一日
至八月十五日 |
| 陸軍砲兵上等工長 | 塩飽 | 栗夫 | 自八月一日
至八月十五日 |
- 一、本表外旅順要塞司令部に轉出スル下士三名ハ兵部員ハ區別ナ
受テ業務ニ服シ用済後赴任セルモノトス
- 二、兵部員外ハ業務整理ニ任セルモノハ業務終了セハ第五師團長に認
可ヲ得タル上豊後要塞（旅順）ニ入

附録第五

廣島灣要塞司令部廢止業務中殘務整理ニ關スル規定左ノ通り定ム

大正十五年八月一日

廣島灣要塞司令部殘務整理者 坂本 森樹

廣島灣要塞司令部廢止業務中殘務整理ニ關スル規定

一、殘務整理業務ハ豊豫要塞司令部新設及廣島灣要塞司令部廢止業務ニ關スル諸規定ニ據ル外本規定ニ據ルヘシ

二、殘務整理業務ハ大正十五年七月三十一日迄ニ實施シ得サリシ業務ノ整理ニ任スルモノトス

三、殘務整理ニ任スルモノノ人員並業務分擔區分別表ノ如ク定ム

四、各分擔者ハ業務實施ニ方リ特ニ各關係者ト緊密ニ連絡シ齟齬遺漏ナキヲ期スヘシ之カ爲メ各科殘務員ハ各主任者ヨリ業務實施ニ當リ支障ナキ如ク指示ヲ受ケ置

フシ

五、殘務整理間於ケル業務豫定ハ別ニ定ム

六、各分擔者ハ細部ニ関シテハ更ニ業務豫定表ヲ調製シ置キ之ニ其實施ヲ記入シ毎旬其原表ヲ提出スヘシ

又業務日誌ヲ備ヘ日日ノ業務實施狀況將來參考事項等ヲ記入シ置クヘシ

七、殘務整理ニ任スル者ノ出發日次ハ別ニ定ム

八、殘務整理間於ケル日直勤務ハ准士官下士ヲ通シ一名及小使一名宛宿直スルモノトス

別表

殘務整理人員並業務分擔區分表			
業務區分		擔任者	
摘要		摘	
底務科殘務	工曹長 井上 辨治	本部殘務整理間、底務主任	
砲兵科殘務	砲兵等工長 堀 龍 栗 肇	砲兵科殘務並兵器物品、搭載	
工兵科殘務	工兵等工長 鎌倉 金 正	工兵科殘務	
經理科殘務	木工長 迫 奥 義 尾	電燈器材、分解輸送	
備考		一	
一、經理科殘務整理主任、八第五師團經理部員援助サレタルトス			
二、砲兵等工長、八月十五日迄、工兵等工長、八月三十一日迄、殘留スルモノトス			
三、担任業務繁閑、工兵科業務ヲ實施セシム			
四、本表外、地帶標石撤去ノ為、旅順要塞司令部轉出スル、砲台監視ヲ一時使用スルモノトス			